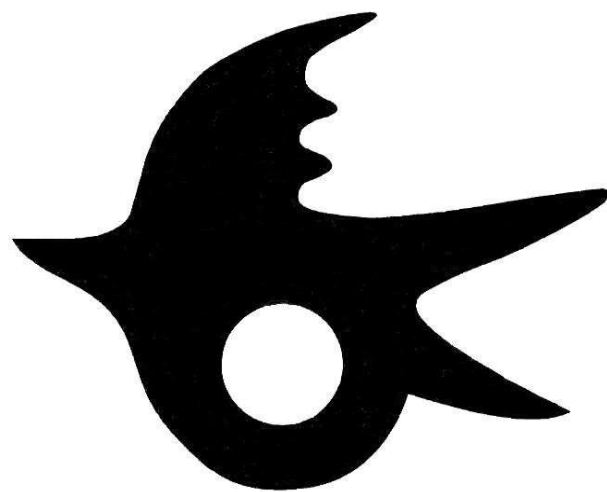


# 消 防 年 報

令 和 6 年 刊 行











長 岡 市 消 防 本 部







# ひと目でわかる長岡市の消防

令和6. 4. 1

組	消防予算	署 所	職員数	団員数
織				
概	令和6年度消防予算額	1本部、3署、9出張所	職員定数 334人	団員定員 3,700人
要	4,026,539千円		職員数 330人	団員数 3,166人

消	ポンプ車	特殊車両	救急車	消防水利
防				
車	ポンプ車 12台	救助工作車 4台	救急車 18台	消火栓 6,277か所
両	水槽付ポンプ車 9台	はしご車 2台		防火水槽 1,375か所
・		化学車 2台		
水				
利				

（災	火 災	救 急	救 助	119番受信件数
令				
害	総件数 57件	出動件数 13,001件	出動件数 152件	受信件数 17,951件
和	建物火災 39件	搬送人員 11,745人	救助人員 87人	
5	林野火災 2件			
件	車両火災 7件			
年	その他の火災 9件			
数				
中				
）				
等				

予	防火対象物状況	危険物施設	防火指導状況	自主防災組織状況
防				
関	対象物数 10,515件	施設数 952件	実施回数 287回	結成組織数 836組織
係	防火管理者選任率 94.7%		参加人員 29,666人	

## はじめに

- (1) 本書は、長岡市消防の全般にわたる統計資料を収録したものです。
- (2) 各統計表の「年」とあるものは暦年（1月から12月）、「年度」とあるものは会計年度（4月から翌年3月）、「令和 6. 4. 1」とあるものは令和 6 年 4 月 1 日現在を表すものです。
- (3) 各統計表の数値は、原則として小数点以下第二位を四捨五入しています。

## 市町村合併について

長岡市は、平成元年 4 月 1 日に越路町の常備消防事務（消防団及び水利事務を除く。）を受託、平成 17 年 4 月 1 日には、中之島町、越路町、三島町、山古志村及び小国町と合併し、和島村及び与板町の常備消防事務（消防団及び水利事務を除く。）を受託しました。平成 18 年 1 月 1 日には、和島村、寺泊町、栃尾市及び与板町と、平成 22 年 3 月 31 日には川口町と合併して現在の長岡市が誕生しました。なお、川口地域の常備消防事務（消防団及び水利事務を除く。）は、小千谷市に事務委託しています。

## 消防団の統合について

長岡市の消防団は平成 20 年 4 月 1 日に 10 団体制の消防団を 1 団に統合し、平成 22 年 3 月 31 日には川口町との合併により川口方面隊 5 個分団が統合されました。

令和 6 年 4 月 1 日現在、1 団本部、15 方面隊、76 個分団体制となっています。

# 目 次

	ページ
1 長岡市の概要及び位置・地勢	1
2 長岡市消防の沿革	2
[ 総 務 関 係 ]	
1 長岡市消防本部・消防署管轄区域図	16
2 長岡市消防本部機構図	17
3 消防職員配置状況	19
4 消防職員勤続年数表	21
5 消防職員年齢表	21
6 年度別消防決算状況	22
7 消防予算の人口・世帯に対する割合	22
8 歳出予算内訳	23
9 令和5年度の主な施設整備状況	24
10 消防庁舎現況	25
[ 予 防 関 係 ]	
1 防火対象物数及び防火管理者の選任状況	26
2 中高層建築物棟数	27
3 防火指導・予防広報状況	28
4 立入検査実施状況	29
5 防火訪問指導実施状況	29
6 幼年・少年・女性消防クラブ結成状況	29
7 自主防災組織結成状況	30
8 煙火消費申請状況	30
9 防火・防災管理講習実施状況	30
10 音楽隊の編成	31
11 音楽隊の活動状況	31
12 月別建築同意取扱件数	32
13 建築同意取扱件数の推移	32
14 用途・工事別建築同意等取扱件数	33

15	月別消防用設備等設置届出受理件数	34
16	類別危険物施設数	35
17	月別危険物事務取扱件数	36
18	危険物施設数の推移	36
19	火災概況	37
20	月別出火件数	38
21	月別損害額	38
22	火災種別構成比	39
23	建物用途別構成比	39
24	出火原因	40
25	時間別出火件数	40
26	初期消火を行った件数	41
27	初期消火の方法	41
28	曜日別出火件数	42
29	覚知別出火件数	42
30	年別出火原因状況	43
31	火災件数の推移	44
32	火災による死者の推移	44
33	火災状況の推移	45

### [ 警 防 関 係 ]

1	災害出動状況	46
2	事故種別救助活動状況	46
3	研修・訓練状況	47
4	救急活動状況	48
5	救急出動の推移	48
6	事故種別救急出動状況	49
7	事故種別救急出動状況の構成比	49
8	月別救急出動状況	50

9	曜日別救急出動状況	50
10	時間帯別事故種別救急出動状況	51
11	救急隊員の行った応急処置状況	51
12	疾病と負傷の傷病程度状況	52
13	診療科目別状況	52
14	応急手当講習指導実施状況	53
15	高速自動車国道の救急出動状況	53
16	消防通信系統図	54
17	消防通信施設（有線系）	55
18	消防通信施設（無線系）	56
19	119番回線による火災・救急等受信回数	57
20	消防自動車等配置及び車齢状況	58
21	消防自動車等性能現況	59
22	消火薬剤備蓄状況	61
23	救助工作車装備品	62
24	消防ポンプ自動車装備品一覧表	63
25	消防水利状況	65

### [ 消防団関係 ]

1	長岡市消防団管轄区域図	67
2	長岡市消防団組織図	68
3	消防団員の年額報酬及び出動報酬	69
4	消防団の出動状況	70
5	消防団員の階級別年齢表	71
6	消防団員の職業構成及び就業形態別の状況	72
7	消防団機械施設一覧表	72

# 1 長岡市の概要及び位置・地勢

長岡市は、新潟県のほぼ中央部に位置し、日本一の長さで流水量を誇る信濃川が縦断し、その両岸に肥沃な沖積平野が広がっている。その東西には、東山連峰と西山丘陵がそれぞれ連なっている。

市の東部は、山間地の急傾斜地帯を形成し、越後山脈の守門岳がそびえ立つ一方で、日本海にも面し、南北に約16kmの海岸線を有する。

このように、山岳から丘陵、平野、海岸に至る変化に富んだ地勢が特徴的であり、信濃川とその支流を軸とした豊かな自然環境に恵まれた都市となっている。

気候は、夏は高温多湿で、冬は季節風が強く降雪がある日本海側特有の気候傾向がみられ、平野部や海岸、山沿いなど地勢の多様性により、市内でも降雪・積雪量・気温などで地域性がみられる。特に山間部は県内でも有数の豪雪地帯となっている。

また、長岡市は幕末の戊辰戦争と第二次世界大戦の空襲で、二度にわたり焦土と化し、そのたびに市民の不屈の努力によって立ち上がり、「米百俵」の精神を基に人材を育て、復興を成し遂げてきた。表紙に掲げた市章は、魅力ある地方中核都市として限りなく発展する本市を、不撓不屈の不死鳥の姿に託して表現したものである。

さらに、平成16年の7・13水害、新潟県中越大震災によっても甚大な被害を受けたが、広く全国から御支援をいただき、更なる発展を遂げた。

現在は、市民一人ひとりの知恵と力を結集した「市民力」と、各地域の異なる個性が刺激しあって活力を高める「地域力」を活かし、「市民協働」の新しいまちづくりを進めている。

【位置】	東経 138 度 38 分 35 秒～139 度 7 分 28 秒
	北緯 37 度 10 分 35 秒～ 37 度 42 分 37 秒
【広ぼう】	東西 42.6 km      南北 59.3 km
【面積】	891.05 km <sup>2</sup>
【人口】	256,731 人
【世帯数】	110,006 世帯





## 2 長岡市消防の沿革

年・月	記 事
明治 22	長岡本町、長岡町、千手町、草生津村、王内村、新町の6町村は、それぞれ独立した自治体を形成し、消防組を有していた。
34. 11	6町村は合併して長岡町となる。
35. 9	それぞれの消防組が合併して長岡町消防組として公設認可
39. 4	市制施行（市域面積 9.22 k m <sup>2</sup> 人口 33,702 人）消防組織 9 部制 （組頭 1 人、部頭 9 人、小頭 9 人、消防手 382 人、計 401 人、腕用ポンプ 9 台）
42	消防組織 10 部制：組頭 1 人、部頭 10 人、小頭 10 人、消防手 382 人、計 403 人 施設装備：手引蒸気ポンプ 2 台、腕用ポンプ 8 台
大正 9. 7	5 月に阪之上小学校から出火し、付近 80 余戸を焼失したことを契機にガソリンポンプ（18 馬力）1 台を購入する。 また、ガソリンポンプ（12 馬力、14 馬力、18 馬力）3 台を北越新報社 1 万号記念事業として受贈し、消防組織を 13 部制に改める。
13. 5	ガソリンポンプ（14 馬力）1 台を消防後援団体から受贈
7	消防ポンプ自動車（ベンツ 32 馬力）1 台を購入、常備部を設置 13 部制：組頭 1 人、部頭 13 人、小頭 13 人、消防手 295 人（うち常備部 8 人）、計 322 人 施設装備：消防ポンプ自動車 1 台、ガソリンポンプ 5 台、蒸気ポンプ 2 台、腕用ポンプ 5 台
14	ガソリンポンプ 1 台購入
15. 8	上水道敷設消火栓 570 箇所を設置 ガソリンポンプ（10 馬力）4 台を購入。各部に 1 台ずつ配置し、更に手引水管車 15 班を編成し、各部に配属
昭和 2. 4	13 部制：組頭 1 人、部頭 13 人、小頭 13 人、消防手 267 人（うち常備部 8 人）、計 294 人 施設装備：消防ポンプ自動車 1 台、ガソリンポンプ 10 台、蒸気ポンプ 2 台
5. 8	消防ポンプ自動車（東京ガス電気工業製 35 馬力）1 台を購入。常備部に配置し、常備員も 13 人とする。
6. 8	消防ポンプ自動車（日本機械製 27 馬力）1 台を購入 13 部制：組頭 1 人、部頭 13 人（1 人）、小頭 13 人（1 人）、消防手 280 人（20 人）、計 307 人（ ）内は、常備部の数 施設装備：消防ポンプ自動車 3 台、ガソリンポンプ 10 台、蒸気ポンプ 2 台
14. 4	警防団令施行により、消防組は「警防団」と改組 警防団は、警防団本部、常備消防部及び 8 個分団制とし、警防団本部は、市役所内に置き、団長、副団長ほか本部員 25 人で編成。各分団は、消防部、警報灯管部、交通整理部、警護部、防毒救護部、配給避難部の 6 部を置き、警防団員の定員を 1,260 人と定める。
20. 8	終戦直後の消防組織 （団長 1 人、副団長 2 人、分団長 8 人、副分団長 16 人、部長 49 人、副部長 49

昭和 20. 8	人、班長 107 人、副班長 13 人、警防員 1,015 人、計 1,260 人) (消防ポンプ自動車 5 台、ガソリンポンプ 14 台、蒸気ポンプ 2 台) 8 月 1 日、戦災により市内は焦土と化し、警防団員は 20 人殉職、機械器具も消防ポンプ自動車 4 台、ガソリンポンプ 7 台 (うち 3 台は破損) を残して焼失する。 8 月 15 日 終戦。警防団も消防部 (8 分団制) を残して解散する。
21. 6	13 分団制 (常備部と 12 個分団) に改組する。 (団長 1 人、副団長 2 人、分団長 13 人、副分団長 13 人、班長 40 人、警防員 391 人、計 460 人)
22. 4	消防団令公布 (即日施行) により、警防団は「消防団」と改組する。
23. 8	消防団条例施行により「長岡市消防団」と改組する。 (団長 1 人、副団長 2 人、分団長 13 人 (1 人)、副分団長 12 人 (1 人)、班長 40 人 (4 人)、団員 391 人 (31 人)、計 459 人 ( ) 内は常備部の数)
24. 6	長岡市火災予防条例及び長岡市危険物取締条例施行
25. 4	消防本部・消防署 (総務係、予防係、警防係、機械係) を設置。職員定数 55 人で発足し、消防庁舎を渡里町に建設 (鉄筋コンクリート一部木造モルタル造、面積 453.2 m <sup>2</sup> 、望楼高さ 30.3 m) (職員数: 消防長 (助役兼務) 1 人、消防署長 1 人、消防司令 1 人、消防司令補 2 人、消防士長 6 人、消防士 21 人、計 32 人 (5 月には 41 人となる。)) (施設数: 消防ポンプ自動車 6 台、手引ポンプ 1 台)
12	栖吉村合併 (市域面積 54.67 k m <sup>2</sup> 人口 70,794 人)
26. 1	富曾亀村合併 (市域面積 61.97 k m <sup>2</sup> 人口 73,897 人)
6	消防署東分遣所開設
27. 2	消防団の向上を図る目的で、副分団長以上で構成する「消防団親和会」を設立
5	新潟県消防祭 (現在の消防大会) 開催
10	消防長の助役兼務が解かれ、消防長兼署長となる。
28. 11	中部消防応援協定締結
29. 1	消防職員定数 70 人
2	上川西村合併 (市域面積 72.77 k m <sup>2</sup> 人口 77,507 人)
3	宮内町合併 (市域面積 95.48 k m <sup>2</sup> 人口 90,291 人) 消防署北分遣所開設
5	深才村合併 (市域面積 112.36 k m <sup>2</sup> 人口 94,808 人)
9	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を日本損害保険協会から受贈
10	長岡市危険物安全協会設立
11	日越村、王寺川村、十日町村、山本村、黒条村、新組村、福戸村、下川西村及び六日市村の一部合併 (市域面積 200.14 k m <sup>2</sup> 人口 122,092 人)
30. 4	消防職員定数 85 人 (消防長兼署長 1 人、消防司令 2 人、消防司令補 4 人、消防士長 14 人、消防士 63 人、その他職員 1 人) (消防ポンプ自動車 6 台、水槽付消防ポンプ自動車 3 台) 消防団員定員 1,356 人 (団長 1 人、副団長 3 人、分団長 34 人、副分団長 36 人、部長 109 人、副部長 108 人、班長 215 人、団員 1,850 人)

昭和 30. 4	(消防ポンプ自動車 1 台、三輪消防ポンプ自動車 4 台、手引動力ポンプ 66 台、小型動力ポンプ 48 台) 消防署宮内分遣所開設
31. 3	消防本部及び消防団が国家消防本部長（現消防庁長官）から表彰旗を受賞
32. 10	関原町合併（市域面積 223. 67 k m <sup>2</sup> 人口 137, 655 人） 消防団員定員 2, 521 人
33. 7	台風 21 号及び 9 月の台風 22 号の影響で信濃川が増水し、長期にわたり浸水被害を受ける。床上浸水 1, 733 戸、床下浸水 3, 889 戸
34. 4	消防団装備を重装備から軽装備に変更し、消防団員定員を 2, 310 人に減ずる。
9	長岡市危険物取締条例廃止
35. 5	新潟県危険物安全協会が設立され、長岡市危険物安全協会もこれに加入
6	喜多町地内の帝国石油(株)西長岡 R 3 号井（ガス井戸）火災（10 日間燃焼継続）
9	二和村合併（市域面積 259. 92 k m <sup>2</sup> 人口 143, 604 人） 消防団員定員 2, 549 人 (団長 1 人、副団長 3 人、分団長 37 人、副分団長 39 人、部長 122 人、副部長 121 人、班長 251 人、団員 1, 975 人)
12	異常豪雪となり、1 日最大降雪量 1. 25m、最深積雪量 2. 17m、死者 4 人、家屋半壊 930 戸等の被害を受ける。
36. 2	長岡地震。2 日午前 3 時 30 分地震発生。死者 5 人、重傷者 30 人、家屋全壊 257 戸、半壊 493 戸等の被害を受ける。
6	台風 6 号北上の影響により、信濃川が増水し、堤防決壊。床上浸水 42 戸、床下浸水 1, 271 戸等の被害を受ける。
8	台風 10 号及び前線の影響による集中豪雨で、床上浸水 1, 060 戸等の被害を受ける。 台風 15 号くずれの集中豪雨により、家屋全壊 13 戸、半壊 23 戸、床上浸水 3, 496 戸、床下浸水 6, 528 戸等の被害を受ける。
9	台風 18 号（第 2 室戸台風）の影響により、死者 2 人、重傷者 20 人、家屋全壊 714 戸、半壊 1, 882 戸、小壊 14, 187 戸等の被害を受ける。
11	消防本部に課（総務課、警防課）制を採用
37. 3	消防団が建設大臣から 36 年 6 月の水害防止の功労により、表彰状を受賞
7	救急自動車 1 台を長岡ロータリークラブ及び長岡東ロータリークラブから受贈
8	救急業務を開始
38. 1	38 年豪雪。1 日最大降雪量 65 cm、最深積雪量 3. 18m、家屋全壊 10 戸、半壊 9 戸、床上浸水 1 戸、床下浸水 14 戸等の被害を受ける。
7	消防職員定数 94 人
39. 4	長岡市消防団条例を全面改正 消防団員定員 2, 549 人 (団長 1 人、副団長 3 人、分団長 76 人、部長 244 人、班長 250 人、団員 1, 975 人) 従前の副分団長、副部長をなくし、8 階級制を 6 階級制とし、新たに団本部、教育主幹、技術部長、訓練部長、庶務部長及び各副部長等の職制を設ける。
6	新潟地震。16 日午後 1 時 02 分地震発生 震度 5、重傷者 2 人、家屋全壊 3 戸、半壊 104 戸、小壊 785 戸等の被害を受ける。

昭和 39. 7	梅雨前線豪雨により、床上浸水 101 戸、床下浸水 2,175 戸等の被害を受ける。
8	新潟県消防大会開催（会場：南中学校）
10	屈折はしご付消防ポンプ自動車 1 台購入。市民から 6,126 千円の寄附金が集まる。 消防ポンプ自動車 1 台を日本損害保険協会から受贈
40. 3	消防職員定数 101 人
4	消防団員定員 2,549 人 （団長 1 人、副団長 3 人、分団長 38 人、副分団長 38 人、部長 244 人、班長 250 人、団員 1,975 人） 7 階級制とする。
8	救急自動車 1 台を長岡ライオンズクラブから受贈 防災工作車 1 台を新潟県から譲与される。
12	信濃川水防団解散
41. 3	化学消防ポンプ自動車 1 台購入
42. 3	消防職員定数 103 人 （消防署施設：消防ポンプ自動車 6 台、水槽付消防ポンプ自動車 2 台、屈折はしご付消防ポンプ自動車 1 台、化学消防ポンプ自動車 1 台、防災工作車 1 台、救急自動車 2 台） （消防団施設：消防ポンプ自動車 2 台、三輪消防ポンプ自動車 1 台、手引動力ポンプ 40 台、小型動力ポンプ 125 台）
8	集中豪雨により中小河川が氾濫し、床上浸水 42 戸、床下浸水 1,770 戸等の被害を受ける。
10	救急自動車購入資金として、1,500 千円を長岡悠久ライオンズクラブから受贈
11	金管、木管、打楽器一式を長岡ライオンズクラブから受贈 消防音楽隊を設置。隊員 30 人で発足
43. 1	43 年豪雪。1 日最大降雪量 45cm、最深積雪量 2.4m、死者 3 人、家屋全壊 12 戸、半壊 1 戸、床上浸水 17 戸、床下浸水 104 戸等の被害を受ける。 消防団再編成計画を決定（5 か年計画） （34 個分団を 5 方面隊 24 個分団に編成、団員 2,549 人を段階的に 1,997 人に削減、手引動力ポンプを小型動力ポンプに切替える計画）
3	消防職員定数 106 人
10	長岡市消防団条例を改正 （消防団員定員を 2,549 人から 2,399 人に改め、消防団の職に、方面隊長及び方面副隊長を加える。）
12	44 年豪雪。1 日最大降雪量 69 cm、最深積雪量 1.86m、重傷者 2 人、家屋全壊 15 戸、半壊 5 戸、床上浸水 2 戸、床下浸水 10 戸等の被害を受ける。
44. 3	消防職員定数 109 人
8	集中豪雨により、洩海川の堤防が決壊し、死者 1 人、床下浸水 139 戸等の被害を受ける。
45. 3	消防職員定数 115 人
5	長岡地区消防相互応援協定締結
10	消防本部・消防署庁舎を、渡里町から西千手 1 丁目に移転新築
46. 10	長岡市水防団条例廃止（栖吉川水防団解散）消防機関で水防業務を行うこととなる。

昭和 47. 7	新潟県魚沼地方の豪雨により信濃川が増水し、大川原堤防が 150m 決壊する。
9	消防団が内閣総理大臣から信濃川の破堤防止の功労により表彰状を受賞
10	越路町と救急業務応援協定締結
48. 3	消防職員定数 122 人
8	集中豪雨により床上浸水 109 戸、床下浸水 2,741 戸等の被害を受ける。
10	消防副士長制度を採用
	消防団再編成計画最終年
	(消防団員定員 1,952 人、消防ポンプ自動車 3 台、小型動力ポンプ 167 台)
11	化学消防ポンプ自動車 1 台を日本損害保険協会から受贈
12	48 年豪雪。 1 日最大降雪量 75cm、最深積雪量 2.35m、家屋全壊 3 戸、床下浸水 6 戸等の被害を受ける。
49. 4	消防長の消防署長兼務を解き、専任消防署長を置く。
50. 4	消防本部・消防署の組織変更。警防課(予防係、警防係)を改め、予防課(予防係、危険物係)とし、警防事務を消防署で所掌する。
51. 5	救急自動車 1 台を住友生命保険相互会社から受贈
8	38m 級はしご付消防ポンプ自動車 1 台購入。市民から 12,535 千円の寄附金が集まる。
52. 7	消防職員定数 140 人
53. 6	梅雨前線豪雨により信濃川が増水、中小河川が氾濫し、家屋全壊 1 戸、床上浸水 117 戸等の被害を受ける。
9	消防署西出張所開設。消防隊兼救急隊配置で業務開始
	北陸自動車道供用開始
	高速自動車道相互応援協定締結
54. 8	消防署西出張所に専任救急隊配置
10	消防団近代化計画について、内容を一部変更して完了
	(消防団員定員 1,605 人、消防ポンプ自動車 4 台、小型動力ポンプ付積載車 18 台、小型動力ポンプ 98 台、消火栓隊 6 隊)
55. 12	濁沢地すべり災害発生。面積 9 ha、土量 90 万 m <sup>3</sup> 、家屋全壊 32 戸、床上浸水 16 戸等の被害を受ける。
56. 7	消防団が消防庁長官から濁沢町地すべり災害の功労により、表彰状を受賞
9	消防団が内閣総理大臣から濁沢町地すべり災害の功労により、表彰状を受賞
12	消防署北分遣所を老朽狭あいのため新築
57. 12	消防署東分遣所を老朽狭あいのため、学校町 1 丁目から川崎町に移転新築
58. 3	消防職員定数 150 人
4	消防団ポンプの機動化促進のため、積載車の増強整備と消防団に予防班長制度を新設
10	消防訓練塔を消防署東分遣所敷地内に新設
59. 5	消防署の組織変更。「救急係」を新設
	蓬平地すべり災害。面積 3 ha、土量 50 万 m <sup>3</sup> 、家屋全壊 6 戸、半壊 1 戸等の被害を受ける。
12	消防署宮内分遣所を老朽狭あいのため、宮内 1 丁目から曲新町に移転新築
	軽四輪査察広報車 2 台を長岡青年会議所から受贈

昭和 59. 12	60 年豪雪。1 日最大降雪量 77 cm、最深積雪量 1.88m、死者 7 人、重傷者 23 人、床上浸水 2 戸、床下浸水 15 戸等の被害を受ける。
60. 4	消防団が消防庁長官から蓬平町地すべり災害の功勞により、表彰状を受賞
	専任の消防救助分隊を設置
	新保保育園に幼年消防クラブ（124 人）結成
7	軽四輪査察広報車 1 台を蒼紫ライオンズクラブから受贈
10	消防団員定員 1,600 人
61. 1	61 年豪雪。1 日最大降雪量 1.05m、雪量 2.25m、死者 3 人、重傷者 11 人の被害を受ける。
5	恵和保育園めぐみ幼年消防クラブ（90 人）結成
	長生保育園幼年消防クラブ（120 人）結成
8	新潟県消防大会開催（会場：長岡市立劇場、長岡工業高校）
	小型ポンプ操法競技の部で長岡市消防団（第 9 分団）が優勝
	小型動力ポンプ付積載車 1 台を日本消防協会から受贈
10	長岡市消防団（第 9 分団）が新潟県代表として全国消防操法大会（横浜市）に出場
62. 3	大島保育園幼年消防クラブ（150 人）結成
9	救急自動車 1 台を北越銀行・長陵交通安全協会から受贈
12	長岡市立全保育所（28 所）幼年消防クラブ（2,245 人）結成
63. 4	4 週 6 休制の実施
	西部保育所幼年消防クラブ（51 人）結成
7	7.10 梅雨前線豪雨災害。累計雨量 162 mm、土砂崩れ 13 箇所、床上・床下浸水
46 棟、田畑冠水 179.4ha、河川決壊 18 河川等の被害を受ける。	
8	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で長岡市消防団（第 18 分団）が優勝
9	消防司令車 1 台を長岡柏ライオンズクラブから受贈
平成元. 2	25m 級屈折はしご付消防ポンプ自動車 1 台購入
4	消防職員定数 172 人 （消防監 1 人、消防司令長 3 人、消防司令 10 人、消防司令補 12 人、消防士長 36 人、消防副士長 61 人、消防士 48 人、消防事務吏員 1 人） 消防本部、消防署の組織変更 （総務課「車両整備係」を消防署に組織替えし「機械装備係」に名称変更。総務課に「職員係」、消防署に「予防調査係」及び「越路出張所開設準備室」を新設する機構改革を実施） 越路町の常備消防事務を受託
8	無線増波（消防波 1 波、救急波 1 波）
9	新潟県長岡地域防災訓練を千秋が原において実施
10	消防署越路出張所を開設。消防隊配置 消防署北分遣所を北出張所とし、救急隊配置
12	化学消防ポンプ自動車 1 台購入
2. 1	新潟県広域消防相互応援協定締結
4	消防署越路出張所に救急隊を配置
10	救助工作車 1 台購入 総合気象観測装置購入

平成 3.	2	消防団が(財)日本消防協会長から特別表彰「まとい」を受賞
	4	消防職員定数 176 人
		救急自動車 1 台を(株)遠藤鋳造所から受贈
	8	指令台に地図検索装置導入
		救急自動車 1 台を日本赤十字社から配置
4.	4	消防職員定数 190 人
		緊急通報システム稼動
	8	日本消防協会防災車両・資器材交付式挙行(司令車 1 台を日本消防協会から受贈)
	11	救急救命士誕生
5.	4	消防音楽隊定数 33 人
		北越製紙(株)長岡工場火災。焼損面積約 5,400 m <sup>2</sup>
	10	第 40 回全国消防長会救急委員会開催(67 名出席)
	12	高規格救急車の運用開始(長岡消防署)
6.	4	完全週休二日制の実施
		消防団体制見直し事業スタート(軽積載車の導入等小型動力ポンプの機動化)
		通信指令係を 2 係に組織変更
	10	消防団員定員 1,490 人
7.	1	阪神淡路大震災被災地へ応援救急隊派遣(長岡赤十字病院救護班(2 名)及び応援救急隊(3 名))
	3	40m 級はしご付消防ポンプ自動車 1 台購入
	5	消防本部が消防庁長官から阪神・淡路大震災の功労により、感謝状を受賞
	7	平成 7 年 7 月水害。累計雨量 164 mm、土砂崩れ 20 か所、床上・床下浸水 302 棟等の被害を受ける。
	8	8 月豪雨。累計雨量 224 mm、土砂崩れ 27 か所、床上・床下浸水 1,633 棟、家屋全壊による死者 1 名、半壊による負傷者 2 名等の被害を受ける。 新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で長岡市消防団(第 16 分団)が優勝
	9	緊急消防援助隊へ登録
8.	1	ポンプ付救助工作車 1 台購入(東分遣所)
	3	災害対応特殊救急自動車(高規格救急車) 1 台購入(北出張所)
	4	消防職員定数 195 人
		大規模災害消防応援実施計画に基づく新潟県応援出動計画及び受援計画の運用開始
	5	市立中央図書館駐車場(学校町 1 丁目)に飲料水兼用大型防火水槽(容量 100 m <sup>3</sup> )を竣工
	12	「12. 6 蒲原沢土石流災害」に応援出動(指揮隊 2 人、救助隊 1 隊 5 人、救急隊 1 隊 4 人、支援隊 2 隊 10 人等)
9.	3	大島西公園(大島本町 5 丁目)に飲料水兼用大型防火水槽(容量 100 m <sup>3</sup> )を竣工
		高度救助用資機材を配置
	4	消防緊急情報システム稼動
		消防長の階級を消防正監に昇格
		消防本部が消防庁長官から蒲原沢土石流災害の功労により、感謝状を受賞
	7	北海道・東北ブロック緊急消防援助隊合同訓練に参加(救助隊、救急隊)

平成 9. 8	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で長岡市消防団（第 16 分団）が優勝
12	高規格救急車 1 台購入（越路出張所）
10. 4	消防緊急情報システム（OA 化）稼動
6	防災トラック 1 台購入
8	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で長岡市消防団（第 18 分団）が優勝
10	消防団員定員 1,400 人
	昨年度新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で優勝した長岡市消防団（第 16 分団）が、新潟県代表として全国消防操法大会（横浜市）に出場
12	消防音楽隊創設 30 周年記念演奏会を開催（長岡リリックホール）
11. 4	消防本部、消防署の組織変更
	（消防署「予防調査係」を消防本部予防課に組織替えし、予防課の「指導係」、「予防企画係」の 2 係体制を「指導係」、「予防係」、「審査係」の 3 係体制とする。）
8	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で長岡市消防団（第 16 分団）が優勝
	全国消防長会東北支部常任理事会、消防署長会議を開催（東北 7 県 100 名出席）
10	長岡市消防署越路出張所開設 10 周年記念式典開催（越路町）
12. 3	ポンプ付救助工作車 1 台購入（西出張所）
	査察広報車（ジープ型）1 台を（財）日本消防協会から受贈
4	消防署の組織変更
	（消防署の「通信指令第一係」及び「通信指令第二係」を「指令室」に組織替えし、指令室に「指令第一係」及び「指令第二係」を置く。）
8	無線増波（消防団波）
10	長岡市消防本部・消防署開設 50 周年記念式典及び演奏会を開催（長岡市立劇場）
12	消防本部旗を長岡消防友の会（職員 OB 会）から受贈
13. 1	高規格救急車 1 台購入（専任救急隊全隊に高規格救急車配備となる。）
12	長岡市防災ヘリポート開設
14. 2	水槽付消防ポンプ自動車 1 台を（社）日本損害保険協会から受贈
	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入（宮内分遣所）
	消防団が消防団親和会から消防団親和会創立 50 周年を記念した扁額「常在戦場」を受贈
10	全国消防長会東北支部消防実務講習会開催（東北 7 県 164 名出席）
	消防団見直し検討委員会を設け、消防団体制の見直しを図る。（車両、施設の適正配置、貸与品等の見直し）
15. 8	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で長岡市消防団（第 21 分団）が優勝
9	新潟メディカルコントロール協議会設立
10	消防団員定員 1,360 人
16. 1	中越地域メディカルコントロール協議会設立
3	独立行政法人消防研究所と、火災調査協力員に関する協定締結
4	緊急消防援助隊に都道府県隊指揮隊代行として登録
7	7.13 水害。異常発達した梅雨前線が停滞したことより、13 日総雨量 225.0 mm、家屋全壊 9 棟、流出 1 棟、半壊 41 棟、一部損壊 3 棟、床上・床下浸水 1,689 棟等の被害を受ける。（※被害は、合併前の数値）
	「7.13 水害」で被災した中之島町に応援出動（ボート部隊 1 隊 5 人）



平成 16. 10	新潟県中越大震災。23 日午後 5 時 56 分地震発生 最大震度 6 弱の地震により、住家全壊 927 棟、大規模半壊 919 棟、半壊 4,954 棟、死者 12 人、負傷者 2,108 人等の被害を受ける。(※被害は、合併前の数値)
11	消防本部指揮隊が妙見町土砂崩れ現場の功勞により、総務大臣から感謝状を、消防庁長官から表彰状を受賞
17. 1	緊急連絡車 1 台を長岡悠久ライオンズクラブから受贈 消防団が国土交通大臣から平成 16 年新潟・福島豪雨の功勞により、水防功勞者表彰を受賞
2	19 年ぶりの豪雪となる。一日最大降雪量 55 cm、最深積雪量 1.25m 高規格救急車 1 台購入 (関原出張所) 消防団が消防庁長官から平成 16 年新潟県中越地震の功勞により、防災功勞者表彰を受賞
4	中之島町、越路町、三島町、山古志村及び小国町と市町村合併し、与板町及び和島村の常備消防事務を受託する。 常備消防は 1 本部、2 署、8 出張所 (分遣所を出張所に改める。) 体制に、消防団は、6 団体制となる。(市域面積 525.89 k m <sup>2</sup> 人口 234,822 人) 消防職員定数 265 人、消防団員定員 (6 団合計) 2,963 人
5	中之島消防団が全国水防管理団体連合会から平成 16 年新潟・福島豪雨の功勞により、水防功勞者表彰を受賞
6	6 月 28 日豪雨災害。総雨量 207.5mm、土砂災害等 13 か所、床上・床下浸水 15 棟の被害を受ける。
8	新潟県消防大会小型ポンプ操法の部で長岡消防団 (第 16 分団) 優勝、越路消防団 (第 4 分団) 準優勝 8 月 13 日豪雨災害。総雨量 100.5mm、床上・床下浸水 185 棟の被害を受ける。 高規格救急車 1 台購入 (新町出張所)
9	長岡消防団、中之島消防団及び山古志消防団が内閣総理大臣から平成 16 年新潟・福島豪雨及び平成 16 年新潟県中越地震の功勞により、防災功勞者表彰を受賞
10	消防司令車 1 台購入
11	緊急連絡車 2 台配備 (中之島出張所及び小国出張所)
18. 1	和島村、寺泊町、栃尾市及び与板町と市町村合併。常備消防は 1 本部、3 署、9 出張所体制に、消防団は 10 団体制となる。(市域面積 840.88 k m <sup>2</sup> 人口 282,214 人) 平成 18 年豪雪。一日最大降雪量 65cm、最深積雪量 310cm 消防職員定数 330 人、消防団員定員 (10 団合計) 4,223 人
3	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入 (川崎出張所)
4	消防本部の組織変更。「警防課」を新設
7	煙火消費に係る許可権限が新潟県から移譲される。
8	新潟県消防大会開催 (会場：長岡市立劇場、長岡工業高校) 小型ポンプ操法競技の部で長岡消防団 (第 16 分団) 優勝、長岡消防団 (第 21 分団) 準優勝
	予防広報車 1 台を日本宝くじ協会から受贈
10	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で優勝した長岡消防団 (第 16 分団) が

平成 18. 10	新潟県代表として全国消防操法大会（兵庫県三木市）へ出場
11	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入（新町出張所）
	災害対応特殊救急自動車（高規格救急車）1 台購入（与板消防署）
19. 3	寺泊町と市町村合併を契機に南部地区消防応援協定から脱会
7	新潟県中越沖地震。16 日午前 10 時 13 分地震発生
	最大震度 6 強を小国地域で記録。住家家屋全壊 10 棟、大規模半壊 25 棟、半壊 434 棟、負傷者 243 人等の被害を受ける。
	「新潟県中越沖地震」に新潟県広域消防相互応援協定に基づき出動（消火隊 1 隊 5 人、救助隊 1 隊 5 人、救急隊 2 隊 8 人、後方支援隊 1 隊 5 人、合計 5 隊 23 人）
	派遣期間：7 月 16 日から 7 月 28 日まで
	派遣場所：新潟県柏崎市
	派遣人員：消火隊 11 隊 60 人、救助隊 11 隊 60 人、救急隊 14 隊 45 人、後方支援隊 3 隊 11 人、合計 39 隊 176 人
8	新潟県消防大会小型ポンプ操法の部で栃尾消防団（第 3 分団）優勝
11	災害対応特殊救急自動車（高規格救急車）1 台購入（小国出張所）
20. 3	消防団指揮車（ジープ型）1 台を（財）日本消防協会から受贈
	消防ポンプ自動車 1 台購入（山古志出張所）
	消防団協力事業所表示制度を導入
4	市町村合併以来、10 団体制で活動していた消防団が 1 団に統合
	（1 団本部、14 方面隊、74 個分団、消防団員定員 4,223 人、実員 4,014 人）
6	「岩手・宮城内陸地震」に緊急消防援助隊出動（救助隊 1 隊 5 人、救急隊 1 隊 4 人、後方支援隊 1 隊 5 人、合計 3 隊 14 人）
8	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で長岡西部方面隊（第 21 分団）優勝、長岡北部方面隊（第 13 分団）準優勝
11	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車 1 台購入（栃尾消防署）
12	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入（関原出張所）
21. 3	高規格救急車 1 台購入（山古志出張所）
4	長岡消防署川崎出張所を土地区画整理事業に伴い、川崎町から沖田 1 丁目に移転新築（鉄骨造 2 階建、延床面積 756.44 m <sup>2</sup> ）
8	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で長岡西部方面隊（第 21 分団）優勝、長岡北部方面隊（第 15 分団）準優勝
	ポンプ車操法競技の部で長岡西部方面隊（第 22 分団）準優勝
11	消防ポンプ自動車 1 台購入（越路出張所）
12	高規格救急車 1 台購入（栃尾消防署）
22. 3	指揮隊車 1 台購入（長岡消防署）
	消防団救助資機材搭載型車両（普通積載車）1 台を総務省から無償貸付配備
	川口町と市町村合併し、川口地域の常備消防事務は小千谷市消防本部へ委託する。（市域面積 891.06 k m <sup>2</sup> 人口 283,280 人）
	消防団（1 団本部、15 方面隊、79 個分団、消防団員定員 4,400 人、実員 4,217 人）
4	消防庁舎（消防本部・長岡消防署・長岡市消防団）を、西千手 1 丁目から千歳 1 丁目（防災シビックコア地区）に移転新築（鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 4 階建、

平成 22.	4	延床面積 7,383.03 m <sup>2</sup> 高機能消防指令センター稼働 消防本部及び長岡消防署の組織変更 〔 総務課の係体制を「職員係」「財務係」「消防団係」に、予防課の係体制を「予防保安係」「審査係」に、警防課の係体制を「施設装備係」「警防係」「救急管理係」に改組。長岡消防署に「予防係」を設置 〕 消防職員（定数 330 人、実員 326 人）
	7	高規格救急車 1 台購入（越路出張所）
	12	高規格救急車 1 台購入（寺泊出張所）
23.	1	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入（越路出張所）
	3	「東日本大震災」に緊急消防援助隊出動（指揮隊 1 隊 5 人、消火隊 1 隊 5 人、救助隊 1 隊 5 人、救急隊 1 隊 4 人、後方支援隊 1 隊 4 人、合計 5 隊 23 人） 派遣期間：3 月 11 日から 5 月 7 日まで 派遣場所：宮城県石巻市 派遣人員：指揮隊 6 隊 30 人、消火隊 6 隊 30 人、救助隊 16 隊 72 人、救急隊 18 隊 61 人、後方支援隊 16 隊 40 人、合計 62 隊 233 人（延べ 932 人）
	7	平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨。総雨量 550mm、家屋全壊 4 棟、半壊 36 棟、一部損壊 2 棟、床上・床下浸水 2,150 棟等の被害を受ける。 「平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨」に新潟県広域消防相互応援協定に基づき出動 派遣期間：7 月 29 日 派遣場所：新潟県三条市 派遣人員：消火隊 1 隊 4 人、救助隊 1 隊 5 人、合計 2 隊 9 人（延べ 18 人）
	10	消防団本部に女性消防団員 24 人採用 消防本部が全国消防長会から東日本大震災に係る緊急消防援助隊の出動の功勞により、消防活動功勞者表彰を受賞
	11	消防本部が総務大臣から東日本大震災に係る緊急消防援助隊の出動の功勞により、総務大臣表彰を受賞
	12	高規格救急車 1 台購入（長岡消防署）
24.	3	救助工作車Ⅲ型 1 台購入（長岡消防署）
	5	「八箇峠トンネル爆発事故」に新潟県広域消防相互応援協定に基づき出動（指揮隊 1 隊 2 人、救助隊 2 隊 9 人、合計 3 隊 11 人） 派遣期間：5 月 24 日から 5 月 27 日まで 派遣場所：新潟県南魚沼市 派遣人員：指揮隊 3 隊 6 人、救助隊 6 隊 27 人、合計 9 隊 33 人（延べ 44 人）
	11	高規格救急車 1 台購入（関原出張所）
25.	1	ポンプ付救助工作車Ⅱ型 1 台購入（与板消防署）
	4	消防本部の組織変更 （警防課の「救急管理係」を「救急管理室」に改組）
	7	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で栃尾方面隊（第 3 分団）優勝、ポンプ車操法競技の部で長岡川西方面隊（第 16 分団）準優勝 平成 25 年 7 月・8 月豪雨。総雨量 289mm、家屋全壊 3 棟、半壊 37 棟、一部損壊 30 棟、床上・床下浸水 1,289 棟、死者 1 名、負傷者 4 名等の被害を受ける。

平成 25. 11	高規格救急車 1 台購入（中之島出張所）
26. 1	災害対応特殊化学消防ポンプ自動車 1 台購入（長岡消防署）
3	災害対応特殊消防ポンプ自動車 1 台購入（宮内出張所）
	消防救急デジタル無線基地局 5 か所整備
4	与板消防署寺泊出張所を老朽狭あいのため、寺泊大町から寺泊烏帽子平に移転新築（鉄骨造 2 階建、延床面積 999.42 m <sup>2</sup> ）
	寺泊防災ヘリポート開設
5	長岡危険物安全協会設立 60 周年祝賀会を実施
6	消防団の装備の充実強化、消防団員確保対策等の諸課題の解決を図るため、検討委員会を設置（装備の増強、処遇改善、消防団員の確保対策）
7	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で長岡北部方面隊（第 15 分団）優勝、ポンプ車操法競技の部で長岡川西方面隊（第 16 分団）優勝
	ボートトレーラー 1 台購入（寺泊出張所）
11	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で優勝した長岡北部方面隊（第 15 分団）が新潟県代表として全国消防操法大会（東京都江東区）へ出場
	高規格救急車 1 台購入（新町出張所）
12	資機材搬送車 1 台購入（長岡消防署）
27. 1	消防救急デジタル無線運用開始（消防本部及び各消防署）
3	ポンプ付救助工作車Ⅱ型 1 台購入（栃尾消防署）
4	消防団充実強化事業開始（装備品の充実強化、消防団員確保対策の推進）
7	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で長岡北部方面隊（第 15 分団）優勝
9	「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨」に緊急消防援助隊新潟県大隊として出動 派遣期間：9 月 13 日から 9 月 15 日まで 派遣場所：茨城県常総市 派遣人員：救助隊 1 隊 5 人
10	高規格救急車 1 台購入（与板消防署）
12	消防救急デジタル無線運用開始（消防団）
28. 1	消防本部が消防庁長官から平成 27 年 9 月関東・東北豪雨に係る緊急消防援助隊の出動の功労により、表賞状を受賞
2	屈折はしご付消防自動車 1 台購入（長岡消防署）
10	高規格救急車 2 台購入（山古志出張所、小国出張所）
	消防司令車 1 台購入（消防本部）
12	「糸魚川市大規模火災」に新潟県広域消防相互応援協定に基づき出動（消火隊 2 隊 9 人） 派遣期間：12 月 22 日から 12 月 23 日まで 派遣場所：新潟県糸魚川市 派遣人員：消火隊 4 隊 18 人
29. 1	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入（寺泊出張所）
4	宮内出張所に救急自動車を配置し、消防救急兼務体制の運用開始 消防本部の組織変更 （予防課に「査察指導室」を設置）
6	消防団本部に学生消防隊 35 人採用

平成 29.	6	総務課連絡車 1 台購入 (消防本部)
	10	高規格救急車 1 台購入 (宮内出張所)
		消防団充実強化事業 (3 か年計画) による装備品の配備等を完了 (装備品の充実強化、処遇改善、消防団員確保対策の推進)
	12	消防団防災活動車 (軽バン型) 1 台を (公財) 日本消防協会から受贈
30.	1	消防ポンプ自動車 1 台購入 (与板消防署)
	2	消防ポンプ自動車 1 台購入 (新町出張所)
	7	新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で長岡川西方面隊 (第 19 分団) 優勝、ポンプ車操法競技の部で長岡川西方面隊 (第 16 分団) 優勝
	10	高規格救急車 1 台購入 (栃尾消防署)
		新潟県消防大会小型ポンプ操法競技の部で優勝した長岡川西方面隊 (第 19 分団) が新潟県代表として全国消防操法大会 (富山県富山市) へ出場
		消防団組織等の再編及び訓練等の平準化などによる消防団員の負担軽減等を検討するため、長岡市消防団組織等適正化検討委員会を設置
	12	消防音楽隊創設 50 周年記念演奏会を開催 (長岡市立劇場)
31.	2	ポンプ付救助工作車 II 型 1 台購入 (川崎出張所)
	4	消防職員定数 334 人
		「新潟県消防広域化等に関する推進計画」に基づき指令業務について連携・協力を推進する中越地域の 5 消防本部による消防指令業務の共同運用検討会を開催
令和元.	6	与板消防署中之島出張所を老朽狭あいのため、中之島地内に移転新築 (鉄骨造 2 階建、延床面積 564.00 m <sup>2</sup> ) し、消防救急兼務体制とするため消防ポンプ自動車 1 台配置及び職員増員
	7	無人航空機 (ドローン) 2 機購入
	8	新潟県消防大会ポンプ車操法競技の部で長岡川西方面隊 (第 16 分団) 優勝
	10	「令和元年台風第 19 号」に緊急消防援助隊新潟県大隊として出動
		派遣期間: 10 月 13 日から 10 月 15 日まで
		派遣場所: 長野県長野市
		派遣人員: 指揮隊 1 隊 4 人、消防隊 1 隊 4 人、救助隊 1 隊 4 人、合計 3 隊 12 人
	12	ポンプ付救助工作車 II 型 1 台購入 (関原出張所)
		消防指令業務の共同運用検討会 (計 4 回) を重ねた結果、各消防本部の財政状況や人員負担を鑑み、現状での共同化は困難との結論に至る。
	2.	2
		高規格救急車 1 台購入 (越路出張所)
		消防本部が消防庁長官から令和元年台風第 19 号に係る緊急消防援助隊の出動の功勞により、表賞状を受賞
	3	新型コロナウイルス感染症に係る業務継続体制の検討を実施
	4	重機及び重機搬送車を総務省消防庁から貸与される。
		新型コロナウイルス感染症拡大防止措置等を施した感染者搬送専用救急車を配備
	10	全国消防長会東北支部救急実務講習会開催 (東北 7 県 155 名出席)
	12	栃尾防災ヘリポート開設
		消防音楽隊定期演奏会を開催 (長岡市立劇場)
3.	1	高規格救急車 1 台購入 (長岡消防署)

令和 3.	1	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入（中之島出張所） 雪害対策本部設置による警戒態勢強化のため、令和 3 年消防出初式を中止
	2	消防ポンプ自動車 1 台購入（小国出張所）
	3	長岡消防署関原出張所を耐震・大規模改修工事に伴い増築（鉄筋コンクリート造 2 階建、延床面積 575.97 m <sup>2</sup> ） 新型コロナウイルス感染症の対策強化として、オゾンによる除染システムを各消防署に配備
	4	消防本部及び消防署の組織変更 〔 警防課指令室、与板消防署、栃尾消防署、長岡消防署関原出張所、新町出張所、越路出張所及び与板消防署寺泊出張所の係体制を廃止し、班体制へ改組 〕
	10	消防団組織等適正化検討委員会の検討結果に基づき、消防団員の定数改正 消防団定員 3,700 人
4.	1	消防ポンプ自動車 1 台購入（寺泊出張所） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 4 年消防出初式の規模を縮小し、式典のみ実施
	3	高規格救急車 1 台購入（寺泊出張所） 長岡市消防本部組織等再編検討委員会の協議結果として、「長岡市消防本部消防力中長期整備計画（令和 4 年度～令和 13 年度）」を策定
	4	長岡市消防団組織等適正化検討委員会の検討結果に基づく部の再編、消防団施設の適正配置、機械器具の機動化、訓練及び予防広報の平準化等の施行
	12	消防音楽隊第 2 回定期演奏会を開催（長岡市立劇場）
5.	3	高規格救急車 1 台購入（関原出張所） 水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入（与板消防署）
	4	消防本部の組織変更 〔 予防課「査察指導室」を、「査察調査室」に名称変更し、火災調査担当及び 査察指導担当の 2 班体制に改組 〕
6.	1	「能登半島地震」に緊急消防援助隊出動（指揮隊 1 隊 5 人、消火隊 1 隊 5 人、救助隊 1 隊 5 人、救急隊 1 隊 4 人、重機隊 1 隊 4 人、後方支援隊 1 隊 4 人、合計 6 隊 27 人） 派遣期間：1 月 1 日から 1 月 15 日 派遣場所：石川県鳳珠郡能登町 派遣人員：指揮隊 4 隊 20 人、消火隊 4 隊 20 人、救助隊 4 隊 20 人、救急隊 4 隊 16 人、重機隊 4 隊 16 人、後方支援隊 4 隊 16 人、合計 24 隊 108 人（延べ 872 人）
	2	指揮車 1 台購入（長岡消防署）
	3	高機能消防指令システム更新整備 高規格救急車 2 台購入（長岡消防署） 資機材搬送車 1 台購入（長岡消防署）

# 総務関係





# 1 長岡市消防本部・消防署管轄区域図

令和 6. 4. 1

管轄面積 841.02 km<sup>2</sup>  
 管轄人口 252,932 人  
 管轄世帯数 108,551 世帯



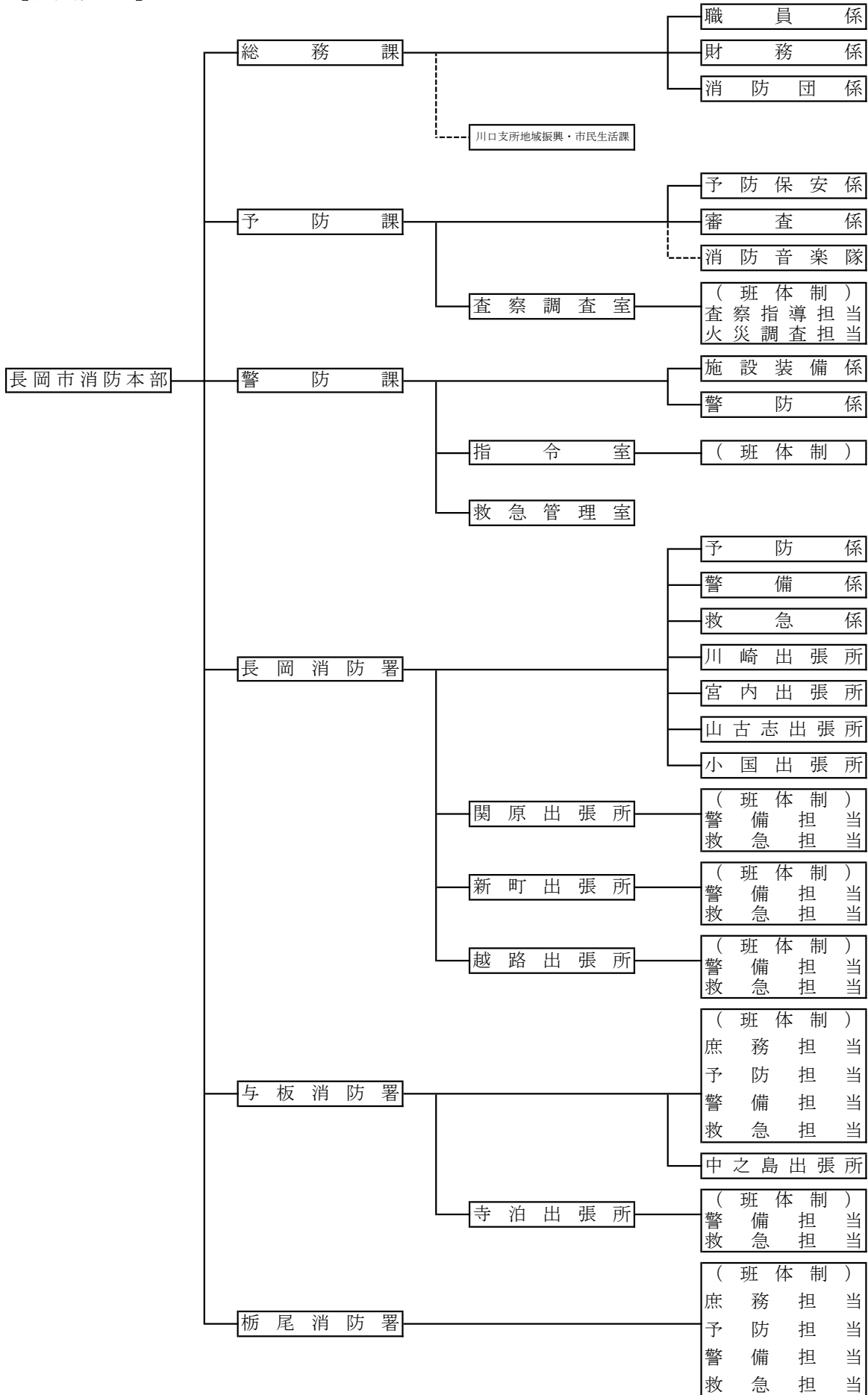
川口地域の常備消防の業務は、小千谷市へ事務委託しており、小千谷市消防本部の管轄です。

消防署	管轄区域
長岡消防署	長岡地域
	越路地域
	山古志地域
	小国地域
与板消防署	中之島地域
	三島地域
	和島地域
	寺泊地域
栃尾消防署	与板地域
	栃尾地域

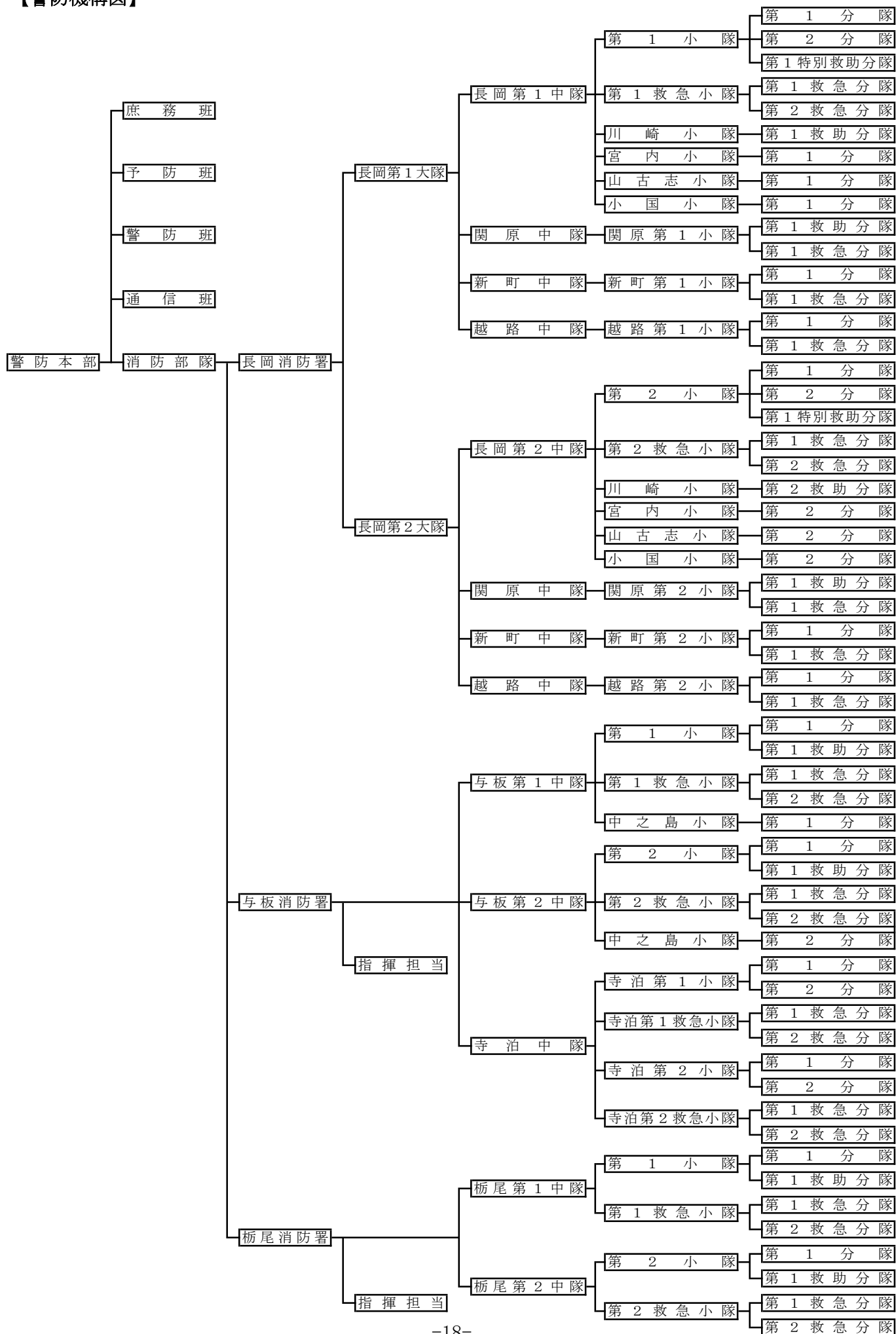
## 2 長岡市消防本部機構図

令和6. 4. 1

### 【行政機構図】



【警防機構図】



### 3 消防職員配置状況

令和6. 4. 1

階 級 区 分	総 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
条 例 定 数	334	—	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>実 員 総 数</b>	<b>330</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>8</b>	<b>31</b>	<b>87</b>	<b>91</b>	<b>50</b>	<b>60</b>	<b>1</b>
消 防 長	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
次 長	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
総 務 課	28	—	—	1	2	8	4	6	6	1
課 長	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
課 長 補 佐	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
総 括 副 主 幹	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
職 員 係	7	—	—	—	—	2	2	2	—	1
財 務 係	6	—	—	—	—	2	2	2	—	—
消 防 団 係	3	—	—	—	—	2	—	—	1	—
総 務 課 付	9	—	—	—	—	2	—	2	5	—
予 防 課	25	—	—	1	3	8	5	7	1	—
課 長	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
課 長 補 佐	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
予 防 保 安 係	6	—	—	—	—	2	2	2	—	—
審 査 係	8	—	—	—	—	2	2	3	1	—
※1 音 楽 隊	[33]	—	—	—	—	[8]	[13]	[7]	[5]	—
査 察 調 査 室	9	—	—	—	2	4	1	2	—	—
室 長	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
総 括 副 主 幹	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
室 員	7	—	—	—	—	4	1	2	—	—
警 防 課	37	—	—	2	4	14	14	1	2	—
課 長	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
指令担当課長	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
課 長 補 佐	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
総 括 副 主 幹	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
施 設 装 備 係	6	—	—	—	—	3	2	1	—	—
警 防 係	6	—	—	—	—	2	3	—	1	—
指 令 室	15	—	—	—	1	6	8	—	—	—
総 括 副 主 幹	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
室 員	14	—	—	—	—	6	8	—	—	—
救 急 管 理 室	6	—	—	—	1	3	1	—	1	—
室 長	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
室 員	5	—	—	—	—	3	1	—	1	—
長 岡 消 防 署	129	—	—	2	11	34	37	17	28	—
※2 消 防 署 長	[1]	—	[1]	—	—	—	—	—	—	—
特 命 主 幹	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—
消 防 署 長 補 佐	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
総 括 副 主 幹	3	—	—	—	3	—	—	—	—	—
予 防 係	5	—	—	—	—	2	1	1	1	—
警 備 係	5	—	—	—	—	4	—	—	1	—
救 急 係	4	—	—	—	—	1	2	1	—	—

階級 区分	総数	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	事 務
		正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	吏 員	
川崎出張所	12	—	—	—	—	3	4	1	4	—	—
宮内出張所	12	—	—	—	—	2	6	2	2	—	—
山古志出張所	8	—	—	—	—	5	3	—	—	—	—
小国出張所	12	—	—	—	—	3	5	2	2	—	—
関原出張所	22	—	—	—	2	4	5	3	8	—	—
出張所長	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
総括副主幹	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
所 員	20	—	—	—	—	4	5	3	8	—	—
新町出張所	22	—	—	—	2	4	7	2	7	—	—
出張所長	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
総括副主幹	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
所 員	20	—	—	—	—	4	7	2	7	—	—
越路出張所	21	—	—	—	3	6	4	5	3	—	—
出張所長	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
総括副主幹	2	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
所 員	18	—	—	—	—	6	4	5	3	—	—
与板消防署	72	—	—	1	7	15	22	10	17	—	—
消防署長	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
消防署長補佐	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
総括副主幹	4	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—
署 員	32	—	—	—	—	8	12	3	9	—	—
中之島出張所	12	—	—	—	—	3	3	3	3	—	—
寺泊出張所	22	—	—	—	2	4	7	4	5	—	—
出張所長	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
総括副主幹	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
所 員	20	—	—	—	—	4	7	4	5	—	—
栃尾消防署	37	—	—	1	4	8	9	9	6	—	—
消防署長	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
消防署長補佐	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
総括副主幹	3	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—
署 員	32	—	—	—	—	8	9	9	6	—	—

※1 音楽隊は兼職

※2 次長事務取扱

※3 総数は再任用短時間勤務職員（8名）を含まない。

## 4 消防職員勤続年数表

令和6. 4. 1

階級 勤続年数	総数	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司 令	消防 司令補	消防 士 長	消防 副士長	消防士	事務 吏員
<b>総 数</b>	<b>330</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>8</b>	<b>31</b>	<b>87</b>	<b>91</b>	<b>50</b>	<b>60</b>	<b>1</b>
5 年 未 満	62	-	-	-	-	-	-	16	46	-
5年以上10年未満	44	-	-	-	-	-	8	22	14	-
10年以上15年未満	41	-	-	-	-	3	26	12	-	-
15年以上20年未満	44	-	-	-	-	17	27	-	-	-
20年以上25年未満	30	-	-	-	2	21	7	-	-	-
25年以上30年未満	29	-	-	1	4	16	7	-	-	1
30 年 以 上	80	1	1	7	25	30	16	-	-	-
平均勤続年数	17.9	35.0	35.0	35.6	33.1	25.9	18.9	6.7	2.6	28.0

※ 総数は再任用短時間勤務職員（8名）を含まない。

## 5 消防職員年齢表

令和6. 4. 1

階級 年 齢	総数	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司 令	消防 司令補	消防 士 長	消防 副士長	消防士	事務 吏員
<b>総 数</b>	<b>330</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>8</b>	<b>31</b>	<b>87</b>	<b>91</b>	<b>50</b>	<b>60</b>	<b>1</b>
20 歳 以 下	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-
21歳以上25歳以下	54	-	-	-	-	-	-	5	49	-
26歳以上30歳以下	48	-	-	-	-	-	4	38	6	-
31歳以上35歳以下	39	-	-	-	-	-	32	7	-	-
36歳以上40歳以下	41	-	-	-	-	17	24	-	-	-
41歳以上45歳以下	33	-	-	-	-	25	8	-	-	-
46歳以上50歳以下	38	-	-	-	7	18	12	-	-	1
51歳以上55歳以下	40	-	-	4	14	15	7	-	-	-
56歳以上60歳以下	32	1	1	4	10	12	4	-	-	-
平均年 齢	38.6	57.0	59.0	55.6	53.5	46.8	39.8	28.1	22.9	50.0

※ 総数は再任用短時間勤務職員（8名）を含まない。

## 6 年度別消防決算状況

歳 入 (市債を除く)

(単位:千円)

区分 年度	合 計	国県支出金	負 担 金 (他市町村から)	使用料及び 手 数 料	雑 入
元	54,351	716	25,359	3,879	24,397
2	28,260	0	0	2,968	25,292
3	38,218	0	8,823	3,928	25,467
4	26,104	76	0	3,874	22,154
5	38,277	8,488	0	3,518	26,271

歳 出

(単位:千円)

区分 年度	長岡市一般 会計決算額	消防関係 決算額	比率 %	消 防 費			
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	水防費等 (消防所管分)
元	129,048,622	4,073,100	3.2	2,953,869	330,526	783,023	5,682
2	150,786,498	3,937,488	2.6	2,819,040	272,561	836,513	9,374
3	139,846,916	3,608,779	2.6	2,812,348	273,477	515,473	7,481
4	141,660,188	3,717,667	2.6	2,850,145	283,045	571,683	12,794
5	138,020,047	3,906,508	2.8	2,910,446	296,070	694,551	5,441

※ 令和5年度決算額については、予定額です。

## 7 消防予算の人口・世帯に対する割合

(単位:円)

区分 年度	人 口 に 対 す る 割 合					世 帯 に 対 す る 割 合				
	消 防 関 係 決 算 額	内 訳				消 防 関 係 決 算 額	内 訳			
		常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	水 防 費 等 (消防所管分)		常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費	水 防 費 等 (消防所管分)
元	15,218	11,037	1,235	2,925	21	37,591	27,262	3,050	7,227	52
2	14,849	10,631	1,028	3,155	35	36,140	25,874	2,502	7,678	86
3	13,754	10,718	1,043	1,965	29	33,044	25,752	2,504	4,720	68
4	14,306	10,968	1,089	2,200	49	33,862	25,961	2,578	5,207	116
5	15,216	11,337	1,153	2,705	21	35,511	26,457	2,691	6,314	49

※ 令和5年度、人口は256,731人とし、世帯は110,006世帯として算定した。

(令和6年4月1日現在、川口地域を含む)

## 8 歳出予算内訳

(単位：千円)

科目	年度	5		6	
		当初予算額	前年度比較	当初予算額	前年度比較
<b>(9款) 消 防 費</b>		<b>4,337,385</b>	<b>△ 392,779</b>	<b>4,026,539</b>	<b>△ 310,846</b>
<b>(1項) 消 防 費</b>		<b>4,337,385</b>	<b>△ 392,779</b>	<b>4,026,539</b>	<b>△ 310,846</b>
<b>(1目) 常 備 消 防 費</b>		<b>2,953,054</b>	<b>70,635</b>	<b>3,001,846</b>	<b>48,792</b>
報 酬		12,439	562	15,654	3,215
給 員 手 当		1,265,137	13,703	1,277,501	12,364
職 共 済 費		992,995	42,593	1,014,033	21,038
報 旅 費		456,641	2,920	466,724	10,083
交 際 費		1,730	41	1,745	15
交 需 費		8,779	1,212	8,058	△ 721
役 用 費		20	0	20	0
委 務 費		70,243	11,185	72,930	2,687
委 託 料		4,575	223	4,574	△ 1
使 用 料 及 び 賃 借 料		106,887	3,596	99,661	△ 7,226
原 材 料 費		15,913	501	16,507	594
備 品 購 入 費		90	0	90	0
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金		7,635	△ 6,211	14,185	6,550
補 償 補 填 及 び 賠 償 金		9,932	310	10,126	194
公 課 費		11	0	11	0
		27	0	27	0
<b>(2目) 非 常 備 消 防 費</b>		<b>348,747</b>	<b>△ 572</b>	<b>342,377</b>	<b>△ 6,370</b>
報 酬		232,892	2,730	226,101	△ 6,791
共 済 費		92,246	△ 81	92,193	△ 53
報 旅 費		5,427	△ 50	5,291	△ 136
交 際 費		102	△ 11	533	431
交 需 費		150	0	150	0
役 用 費		14,679	△ 2,914	11,806	△ 2,873
委 務 費		562	△ 179	561	△ 1
委 託 料		200	200	0	△ 200
使 用 料 及 び 賃 借 料		506	△ 274	702	196
備 品 購 入 費		264	6	3,312	3,048
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金		1,719	1	1,728	9
<b>(3目) 消 防 施 設 費</b>		<b>1,019,762</b>	<b>△ 462,723</b>	<b>660,368</b>	<b>△ 359,394</b>
旅 費		74	20	35	△ 39
需 役 用 費		116,072	18,871	118,358	2,286
委 託 料		29,368	645	29,928	560
使 用 料 及 び 賃 借 料		109,140	△ 20,332	121,356	12,216
工 事 請 負 費		24,239	△ 28,959	19,625	△ 4,614
原 材 料 費		445,055	△ 508,545	221,272	△ 223,783
公 有 財 産 購 入 費		940	600	340	△ 600
備 品 購 入 費		45,523	45,523	0	△ 45,523
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金		188,789	25,793	69,259	△ 119,530
補 償 補 填 及 び 賠 償 金		56,593	3,767	76,393	19,800
公 課 費		165	165	0	△ 165
		3,804	△ 271	3,802	△ 2
<b>(4目) 水 防 費</b>		<b>3,780</b>	<b>△ 268</b>	<b>3,038</b>	<b>△ 742</b>
報 酬		3,289	△ 283	2,530	△ 759
報 償 費		36	0	36	0
需 役 用 費		400	0	400	0
使 用 料 及 び 賃 借 料		0	0	6	6
原 材 料 費		55	15	66	11
<b>(5目) 災 害 対 策 費</b>		<b>977</b>	<b>208</b>	<b>9,981</b>	<b>9,004</b>
需 役 用 費		657	647	132	△ 525
使 用 料 及 び 賃 借 料		320	0	320	0
備 品 購 入 費		0	△ 439	9,529	9,529
<b>(6目) 除 雪 対 策 費</b>		<b>11,065</b>	<b>△ 59</b>	<b>8,929</b>	<b>△ 2,136</b>
報 酬		6,065	△ 59	5,329	△ 736
職 員 手 当 等 費		3,000	0	2,000	△ 1,000
需 役 用 費		1,000	0	800	△ 200
委 託 料		1,000	0	800	△ 200

※ 消防本部分のみ計上



## 9 令和5年度の主な施設整備状況

(単位：千円)

事業名	事業費	財 源 内 訳				事業概要
		国・県支出金	市 債	一般財源	その他の財源	
指揮車整備	4,735	0	3,500	1,235	0	1台 長岡指揮2 長岡消防署に配置
高規格救急自動車 救急資機材等整備	66,605	0	61,600	5,005	0	2台 長岡救急2 本部救急1 長岡消防署に配置
資機材搬送車整備	20,900	0	20,900	0	0	1台 長岡支援1 長岡消防署に配置
画像探索機I型整備 地中音響探知機整備	14,520	0	14,500	20	0	長岡消防署に配置
小型動力ポンプ付 軽積載車整備	30,089	0	29,300	789	0	5台 長岡北部、越路、 中之島、小国、 川口方面隊に配置
軽積載車（小型動力 ポンプなし）整備	4,908	0	4,700	208	0	1台 越路方面隊に配置
小型動力ポンプ整備	9,130	0	8,900	230	0	5台 長岡中央、長岡北部、 長岡西部、長岡川西、 中之島方面隊に配置
耐震性防火水槽整備	16,696	0	16,600	96	0	1基 寺泊花立
消火栓整備	20,403	0	19,800	603	0	9基 堺町、逆谷、城之丘、 島崎、寺泊年友、寺泊 万善寺、文納、小向、 平2丁目地内
高機能消防指令 システム整備	878,561	103,178	723,600	51,783	0	
<b>計</b>	<b>1,066,547</b>	<b>103,178</b>	<b>903,400</b>	<b>59,969</b>	<b>0</b>	

## 10 消防庁舎現況

令和 6. 4. 1

区分 名称	位置	構造	設置 年月日	建築 年月日	面積 (㎡)		
					敷地面積	建築面積	延面積
消防庁舎 (消防本部 長岡消防署 消防団)	千歳1丁目 3番100号	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 4階建て	昭和 25. 4. 1	平成 22. 3. 31	8,640.82	2,784.93	7,383.03
関原出張所	関原南2丁目 4095番地	鉄筋コンクリート造 2階建て	昭和 53. 9. 20	昭和 53. 9. 9	1,440.07	303.20	575.97
新町出張所	西新町2丁目 7番27号	鉄骨造 2階建て	昭和 29. 3. 24	昭和 56.12. 3	684.37	306.02	449.96
越路出張所	浦715番地	鉄骨造 2階建て	平成 元.10. 1	平成 元. 9. 14	3,102.79	519.28	735.28
川崎出張所	沖田1丁目 8番地	鉄骨造 2階建て	昭和 26. 6. 4	平成 21. 3. 31	3,517.49	521.74	756.44
宮内出張所	曲新町 549番地1	鉄骨造 2階建て	昭和 30. 4. 19	昭和 59.12. 4	893.67	191.90	279.30
山古志出張所	山古志竹沢 乙371番地2	鉄筋コンクリート造 2階建て	昭和 63.10. 1	昭和 63.11.28	608.00	163.49	259.49
小国出張所	小国町法坂 724番地1	鉄骨造平屋建て	昭和 55. 4. 1	昭和 54.12.27	979.00	265.33	250.67
与板消防署	与板町本与板 3731番地	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建て	昭和 51. 4. 1	昭和 51.11.30	5,183.00	565.50	1,032.34
中之島出張所	中之島 4160番地5	鉄骨造 2階建て	昭和 53. 9. 1	令和 元. 5. 24	898.37	345.63	564.00
寺泊出張所	寺泊烏帽子平 1977番地8	鉄骨造 2階建て	昭和 42.11. 1	平成 26. 3. 13	5,209.81	674.18	999.42
栃尾消防署	栃尾大町 2番11号	鉄骨コンクリート造一部鉄骨造 3階建て	昭和 38. 4. 1	昭和 44. 3. 20	716.82	338.64	851.51

※令和3年3月関原出張所を耐震・大規模改修工事に伴い増築

予 防 関 係



# 1 防火対象物数及び防火管理者の選任状況

令和6. 4. 1

政令別表第一区分		区 分	防火対象物数 (棟単位)	防火管理者の選任状況 (敷地単位)		
				選任義務 対象物数	選任届出済 対象物数	選任率 (%)
<b>総 数</b>			<b>10,515</b>	<b>2,541</b>	<b>2,407</b>	<b>94.7%</b>
1	イ	劇場・映画館等	13	7	7	100.0%
	ロ	公会堂・集会場	333	313	310	99.0%
2	イ	キャバレー・カフェ等	2	1	1	100.0%
	ロ	遊技場・ダンスホール	17	13	12	92.3%
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	—	—	—	—
	ニ	カラオケボックス等	10	9	9	100.0%
3	イ	待合・料理店	54	46	46	100.0%
	ロ	飲食店	339	204	173	84.8%
4		百貨店・マーケット等	422	316	300	94.9%
5	イ	旅館・ホテル等	165	63	63	100.0%
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	2,207	129	123	95.3%
6	イ	病院・診療所・助産所	127	26	24	92.3%
	ロ	老人短期入所施設等	77	55	52	94.5%
	ハ	老人デイサービスセンター等	262	138	133	96.4%
	ニ	幼稚園・特別支援学校	11	1	1	100.0%
7		小中高等学校・大学等	275	107	107	100.0%
8		図書館・博物館・美術館	29	18	17	94.4%
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	2	1	1	100.0%
	ロ	公衆浴場	3	3	2	66.7%
10		停車場等	2	—	—	—
11		神社・寺院・教会	249	125	118	94.4%
12	イ	工場・作業場	1,787	69	69	100.0%
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	—	—	—	—
13	イ	自動車車庫・駐車場	176	1	1	100.0%
	ロ	飛行機等の格納庫	—	—	—	—
14		倉庫	1,374	11	10	90.9%
15		前各項に該当しない事業場	1,133	195	177	90.8%
16	イ	特定用途のある複合用途	781	474	450	94.9%
	ロ	その他の複合用途	660	215	200	93.0%
16の2		地下街	—	—	—	—
16の3		地下街に準ずるもの	—	—	—	—
17		重要文化財等	5	1	1	100.0%

## 2 中高層建築物棟数

令和6. 4. 1

区 分		総	四	五	六	七	八	九	十	十	十	十	十	十五
政令別表第一区分		数	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階以上
総 数		852	400	181	101	47	35	25	18	6	11	4	19	5
1	イ	劇場・映画館等	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	公会堂・集会場	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	イ	キャバレー・カフェ等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	遊技場・ダンスホール	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ニ	カラオケボックス等	2	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
3	イ	待合・料理店	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	飲食店	8	3	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—
4		百貨店・マーケット等	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	イ	旅館・ホテル等	28	5	2	4	6	5	2	1	—	2	—	1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	268	101	67	26	14	8	9	13	4	5	3	14
6	イ	病院・診療所・助産所	10	1	3	4	—	—	1	—	—	1	—	—
	ロ	老人短期入所施設等	5	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	1	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	ニ	幼稚園・特別支援学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7		小中高等学校・大学等	60	42	8	5	2	1	2	—	—	—	—	—
8		図書館・博物館・美術館	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	公衆浴場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10		停車場等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11		神社・寺院・教会	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	イ	工場・作業場	27	17	7	3	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	イ	自動車車庫・駐車場	8	4	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	飛行機等の格納庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14		倉庫	9	6	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—
15		前各項に該当しない事業場	114	61	22	17	4	5	3	—	—	2	—	—
16	イ	特定用途のある複合用途	187	87	39	24	13	9	6	—	2	1	1	4
	ロ	その他の複合用途	109	58	22	12	8	3	2	4	—	—	—	—

### 3 防火指導・予防広報状況

<各事業所>

令和5年度

政令別表第一区分		区分	防火指導回数	参加人員
		<b>総数</b>	<b>287</b>	<b>29,666</b>
1	イ	劇場・映画館等	—	—
	ロ	公会堂・集会場	18	718
2	イ	キャバレー・カフェ等	—	—
	ロ	遊技場・ダンスホール	—	—
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	—	—
	ニ	カラオケボックス等	—	—
3	イ	待合・料理店	—	—
	ロ	飲食店	2	45
4		百貨店・マーケット等	1	30
5	イ	旅館・ホテル等	2	49
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	—	—
6	イ	病院・診療所・助産所	3	113
	ロ	老人短期入所施設等	24	888
	ハ	老人デイサービスセンター等	38	970
	ニ	保育園	60	6,965
ニ	幼稚園・特別支援学校	2	86	
7		小中高等学校・大学等	39	12,519
8		図書館・博物館・美術館	1	7
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	—	—
	ロ	公衆浴場	—	—
10		停車場等	—	—
11		神社・寺院・教会	—	—
12	イ	工場・作業場	6	493
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	—	—
13	イ	自動車車庫・駐車場	—	—
	ロ	飛行機等の格納庫	—	—
14		倉庫	1	60
15		前各項に該当しない事業場	5	167
16	イ	特定用途のある複合用途	76	4,574
	ロ	その他の複合用途	9	1,982
17		重要文化財等	—	—

<各種団体等>

令和5年度

区分	総数	自主防災会	町内会	老人会	その他
訓練指導回数	<b>34</b>	25	5	—	4
参加人員	<b>2,256</b>	1,865	260	—	131

区 分	総 数	学 校	幼稚園・保育所	そ の 他
回 数	87	50	23	14
参 加 人 員	3,291	2,014	960	317

#### 4 立入検査実施状況

総 数	内 訳	
	建築物・消防用設備	危 険 物
1,347	1,115	232

#### 5 防火訪問指導実施状況

実 施 世 帯 数	1,609
-----------	-------

※ 防火訪問指導は、高齢者（65歳以上）のみの世帯を対象に実施している。

#### 6 幼年・少年・女性消防クラブ結成状況

区 分 及 び 名 称		結 成 数	会 員 数 (人)
幼 年	公 立 保 育 園	16	826
	私 立 保 育 園	14	1,444
少 年	—	—	—
女 性	北 荷 頃 女 性 防 火 ク ラ ブ	1	37
	栃 堀 女 性 防 火 ク ラ ブ	1	25
	大 野 原 女 性 防 火 ク ラ ブ	1	12
総 数		33	2,344



## 7 自主防災組織結成状況

年 度	結 成 数	結成組織数 (累計)
14 ~ 16	8	173
17 ~ 19	211	384
20 ~ 22	410	794
23 ~ 25	16	810
26 ~ 28	7	817
29 ~ 元	12	829
2 ~ 4	6	835
5	1	836

## 8 煙火消費申請状況

区 分 年 度	消 費 許 可 件 数	立 入 検 査 ( 件 )
4	51	24
5	45	22

## 9 防火・防災管理講習実施状況

年 度	3					4					5				
	甲種 (新規)	甲種 (再講習)	乙種	防災 (新規)	防火・ 防災 (再講習)	甲種 (新規)	甲種 (再講習)	乙種	防災 (新規)	防火・ 防災 (再講習)	甲種 (新規)	甲種 (再講習)	乙種	防災 (新規)	防火・ 防災 (再講習)
講 習 回 数	4	1	4	1	1	4	1	4	1	1	3	1	1	1	1
受 講 者 数	232	46	49	8	10	284	63	50	22	11	218	46	17	11	11

## 10 音楽隊の編成

令和6. 4. 1

隊長…1人

副隊長…3人

隊員…29人

楽器名	パーカッション				
隊員数	5				
楽器名	トランペット	フリューゲルホルン	コルネット	トロンボーン	バストロンボーン
隊員数	3	1	1	3	1
楽器名	ホルン	ユーフォニウム	テナーサックス	バリトンサックス	スーザホン(バス)
隊員数	3	2	1	1	2
楽器名	クラリネット	ピッコロ(フルート)	アルトサックス		
隊員数	5	2	2		
	指揮者				

## 11 音楽隊の活動状況

区分 年度	出演回数			練習回数
	総数	消防関係	その他	
元	10	2	8	96
2	4	2	2	96
3	3	1	2	96
4	11	4	7	96
5	9	3	6	96

## 12 月別建築同意取扱件数

令和5年度

月別 処理別		総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
			総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
<b>総数</b>		<b>1,172</b>	<b>110</b>	<b>101</b>	<b>115</b>	<b>112</b>	<b>108</b>	<b>108</b>	<b>87</b>	<b>91</b>	<b>98</b>	<b>60</b>	<b>76</b>	<b>106</b>
確認申請	計	<b>229</b>	25	16	25	22	28	27	14	14	11	10	16	21
	同意	<b>229</b>	25	16	25	22	28	27	14	14	11	10	16	21
	不同意	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計画通知		<b>7</b>	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	4
許可申請	計	<b>18</b>	2	1	3	1	2	1	2	-	2	-	-	4
	同意	<b>18</b>	2	1	3	1	2	1	2	-	2	-	-	4
	不同意	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
確認通知		<b>918</b>	83	84	87	89	77	80	70	77	85	50	59	77

※ 確認通知は、建築基準法第93条第4項（防火・準防火地域以外の区域内における住宅等）に基づく建築主事等からの通知件数です。

## 13 建築同意取扱件数の推移

年度	処理別 総数	確認申請			計画通知	許可申請			確認通知
		計	同意	不同意		計	同意	不同意	
元	<b>1,452</b>	<b>334</b>	334	-	17	<b>17</b>	17	-	1,084
2	<b>1,284</b>	<b>285</b>	285	-	14	<b>21</b>	21	-	964
3	<b>1,243</b>	<b>268</b>	268	-	9	<b>20</b>	20	-	946
4	<b>1,327</b>	<b>298</b>	298	-	18	<b>17</b>	17	-	994
5	<b>1,172</b>	<b>229</b>	229	-	7	<b>18</b>	18	-	918

# 14 用途・工事別建築同意等取扱件数

令和5年度

政令別表第一区分		区分	総数	新築	増築	改築	増改築	用途変更	その他	確認通知
<b>総数</b>			<b>1,172</b>	<b>160</b>	<b>73</b>	<b>17</b>	-	<b>4</b>	-	<b>918</b>
1	イ	劇場・映画館等	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	公会堂・集会場	4	1	1	2	-	-	-	-
2	イ	キャバレー・カフェ等	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-	-	-
3	イ	待合・料理店	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店	4	4	-	-	-	-	-	-
4		百貨店・マーケット等	8	6	2	-	-	-	-	-
5	イ	旅館・ホテル等	3	3	-	-	-	-	-	-
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	9	7	1	1	-	-	-	-
6	イ	病院・診療所・助産所	4	3	1	-	-	-	-	-
	ロ	老人短期入所施設等	2	2	-	-	-	-	-	-
	ハ	老人デイサービスセンター等	5	3	1	1	-	-	-	-
	ニ	幼稚園・特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-	-
7		小中高等学校・大学等	6	-	6	-	-	-	-	-
8		図書館・博物館・美術館	-	-	-	-	-	-	-	-
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-
10		停車場等	-	-	-	-	-	-	-	-
11		神社・寺院・教会	-	-	-	-	-	-	-	-
12	イ	工場・作業場	24	12	11	1	-	-	-	-
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	4	3	1	-	-	-	-	-
	ロ	飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	17	14	2	-	-	1	-	-
15		前各項に該当しない事業場	22	15	7	-	-	-	-	-
16	イ	特定用途のある複合用途	3	1	1	-	-	1	-	-
	ロ	その他の複合用途	22	2	18	1	-	1	-	-
16の2		地下街	-	-	-	-	-	-	-	-
		雁木・アーケード	-	-	-	-	-	-	-	-
		専用住宅・長屋	86	67	11	8	-	-	-	-
		農舎・物置・その他	31	17	10	3	-	1	-	-
		危険物施設	-	-	-	-	-	-	-	-
		確認通知	918							

# 15 月別消防用設備等設置届出受理件数

令和5年度

月別 設備別	総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<b>総数</b>	<b>590</b>	<b>46</b>	<b>51</b>	<b>32</b>	<b>41</b>	<b>43</b>	<b>40</b>	<b>64</b>	<b>64</b>	<b>35</b>	<b>46</b>	<b>55</b>	<b>73</b>
消火器	90	8	10	4	10	3	10	10	12	4	5	5	9
屋内消火栓設備	25	1	1	2	2	1	-	4	2	1	3	3	5
スプリンクラー設備	17	2	2	2	-	2	1	1	1	1	-	3	2
水噴霧消火設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
泡消火設備	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
不活性ガス消火設備	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ハロゲン化物消火設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
粉末消火設備	7	1	1	-	-	1	-	-	2	1	-	1	-
屋外消火栓設備	8	1	1	1	-	-	-	1	2	-	1	-	1
動力消防ポンプ設備	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
自動火災報知設備	243	11	14	12	20	25	14	29	21	17	20	29	31
ガス漏れ火災警報設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消防機関へ通報する 火災報知設備	16	2	2	2	1	1	1	1	1	2	3	-	-
漏電火災警報器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非常警報設備	47	6	6	1	2	2	4	6	4	3	3	3	7
避難器具	16	1	4	-	-	-	2	-	2	2	1	2	2
誘導灯及び誘導標識	98	11	7	5	5	8	6	12	13	3	9	8	11
消防用水	3	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-
排煙設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連結散水設備	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
連結送水管	8	1	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-	2
非常コンセント設備	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
パッケージ型消火設備	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-
総合操作盤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 16 類別危険物施設数

令和6. 4. 1

種 別  製造所等	総  数	単 独						混  在
		第 一 類	第 二 類	第 三 類	第 四 類	第 五 類	第 六 類	
<b>総</b>	<b>952</b>	—	<b>3</b>	—	<b>943</b>	<b>1</b>	—	<b>5</b>
製 造 所	<b>2</b>	—	—	—	2	—	—	—
貯 蔵 所	<b>612</b>	—	3	—	603	1	—	5
屋 内 貯 蔵 所	<b>107</b>	—	3	—	98	1	—	5
屋外タンク貯蔵所	<b>91</b>	—	—	—	91	—	—	—
屋内タンク貯蔵所	<b>11</b>	—	—	—	11	—	—	—
地下タンク貯蔵所	<b>199</b>	—	—	—	199	—	—	—
簡易タンク貯蔵所	<b>2</b>	—	—	—	2	—	—	—
移動タンク貯蔵所	<b>183</b>	—	—	—	183	—	—	—
屋 外 貯 蔵 所	<b>19</b>	—	—	—	19	—	—	—
取 扱 所	<b>338</b>	—	—	—	338	—	—	—
給 油 取 扱 所	<b>176</b>	—	—	—	176	—	—	—
第1種販売取扱所	<b>2</b>	—	—	—	2	—	—	—
第2種販売取扱所	<b>2</b>	—	—	—	2	—	—	—
移 送 取 扱 所	—	—	—	—	—	—	—	—
一 般 取 扱 所	<b>158</b>	—	—	—	158	—	—	—

## 17 月別危険物事務取扱件数

令和5年度

月別 区分	総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<b>総数</b>	<b>310</b>	<b>19</b>	<b>23</b>	<b>29</b>	<b>24</b>	<b>21</b>	<b>33</b>	<b>36</b>	<b>39</b>	<b>32</b>	<b>12</b>	<b>20</b>	<b>22</b>
設置（変更）許可	77	2	12	8	5	5	4	7	10	9	5	5	5
完成検査	70	2	3	4	4	4	5	10	14	11	2	4	7
仮使用承認	35	1	2	4	2	5	4	5	6	3	1	-	2
タンク検査	4	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
廃止届	33	1	-	4	2	1	5	3	3	5	2	6	1
譲渡引渡届	7	4	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
種類数量変更届	7	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	1	3
保安監督者選解任届	61	7	4	6	9	3	9	6	6	3	1	3	4
仮貯蔵・仮取扱承認	16	-	1	3	-	1	3	5	-	1	1	1	-

## 18 危険物施設数の推移

区分 年度	総数	製造所	貯蔵所								取扱所					事業所数	
			計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所		一般取扱所
元	<b>1,014</b>	3	658	109	101	13	220	2	194	19	353	184	2	2	-	165	501
2	<b>997</b>	2	643	107	100	12	213	2	191	18	352	181	2	2	-	167	488
3	<b>998</b>	2	645	108	105	12	207	2	192	19	351	177	2	2	-	170	482
4	<b>977</b>	2	627	106	96	12	203	2	188	20	348	177	2	2	-	167	479
5	<b>952</b>	2	612	107	91	11	199	2	183	19	338	176	2	2	-	158	470

## 19 火災概況

区 分	単位	令和4年		令和5年		増 減
			爆発		爆発	
<b>出火件数</b>	<b>件</b>	<b>55 (1)</b>	<b>— (-)</b>	<b>57 (2)</b>	<b>— (-)</b>	<b>2</b>
建物火災		45 (1)	— (-)	39 (-)	— (-)	△ 6
林野火災		— (-)	— (-)	2 (-)	— (-)	2
車両火災		6 (-)	— (-)	7 (1)	— (-)	1
船舶火災		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
航空機火災		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
その他の火災		4 (-)	— (-)	9 (1)	— (-)	5
<b>焼損棟数</b>	<b>棟</b>	<b>70 (1)</b>	<b>— (-)</b>	<b>69 (-)</b>	<b>— (-)</b>	<b>△ 1</b>
全 焼		21 (-)	— (-)	14 (-)	— (-)	△ 7
半 焼		1 (-)	— (-)	8 (-)	— (-)	7
部 分 焼		14 (1)	— (-)	16 (-)	— (-)	2
ぼ や		34 (-)	— (-)	31 (-)	— (-)	△ 3
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	3,242 (-)	— (-)	2,620 (-)	— (-)	△ 622
建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	157 (7)	— (-)	112 (-)	— (-)	△ 45
林野焼損面積	a	1 (-)	— (-)	8 (-)	— (-)	7
死者	人	6 (-)	— (-)	2 (-)	— (-)	△ 4
負傷者	人	21 (-)	— (-)	14 (-)	— (-)	△ 7
り災世帯数	世帯	32 (-)	— (-)	45 (-)	— (-)	13
全 損		10 (-)	— (-)	12 (-)	— (-)	2
半 損		1 (-)	— (-)	1 (-)	— (-)	—
小 損		21 (-)	— (-)	32 (-)	— (-)	11
り災人員	人	80 (-)	— (-)	99 (-)	— (-)	19
<b>損害額</b>	<b>千円</b>	<b>83,403 (82)</b>	<b>— (-)</b>	<b>140,794 (10)</b>	<b>— (-)</b>	<b>57,391</b>
建 物		79,909 (82)	— (-)	129,967 (-)	— (-)	50,058
林 野		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
車 両		434 (-)	— (-)	6,024 (10)	— (-)	5,590
船 舶		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
航 空 機		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	—
そ の 他		3,060 (-)	— (-)	4,803 (-)	— (-)	1,743
出 火 率	件 / 万人	2.1 (2.5)		2.2 (5.2)		0.1

※1 建物焼損表面積とは、焼損が立体的ではなく、壁、天井、床板等部分的な場合の焼損面積の合計をいう。

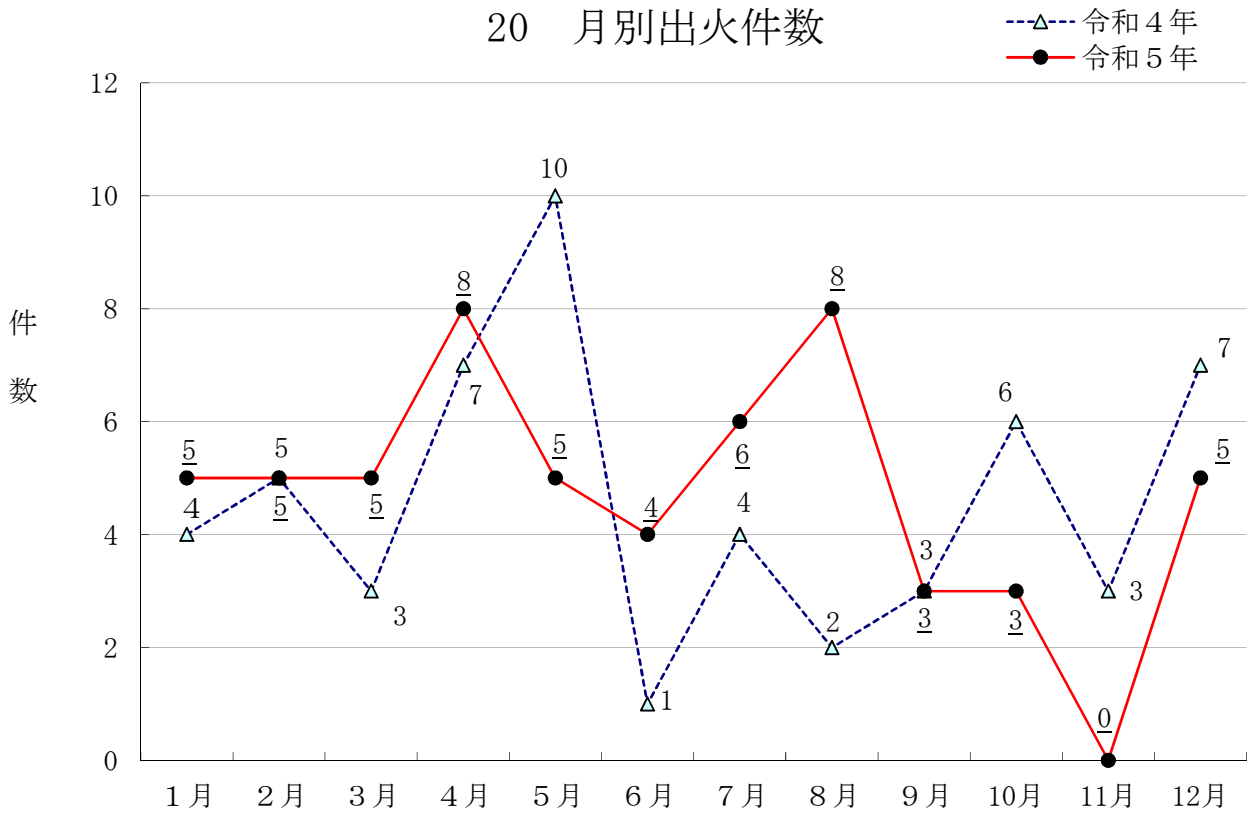
※2 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

※3 出火率算出に用いた人口は、各年12月1日現在の住民基本台帳登録数による。

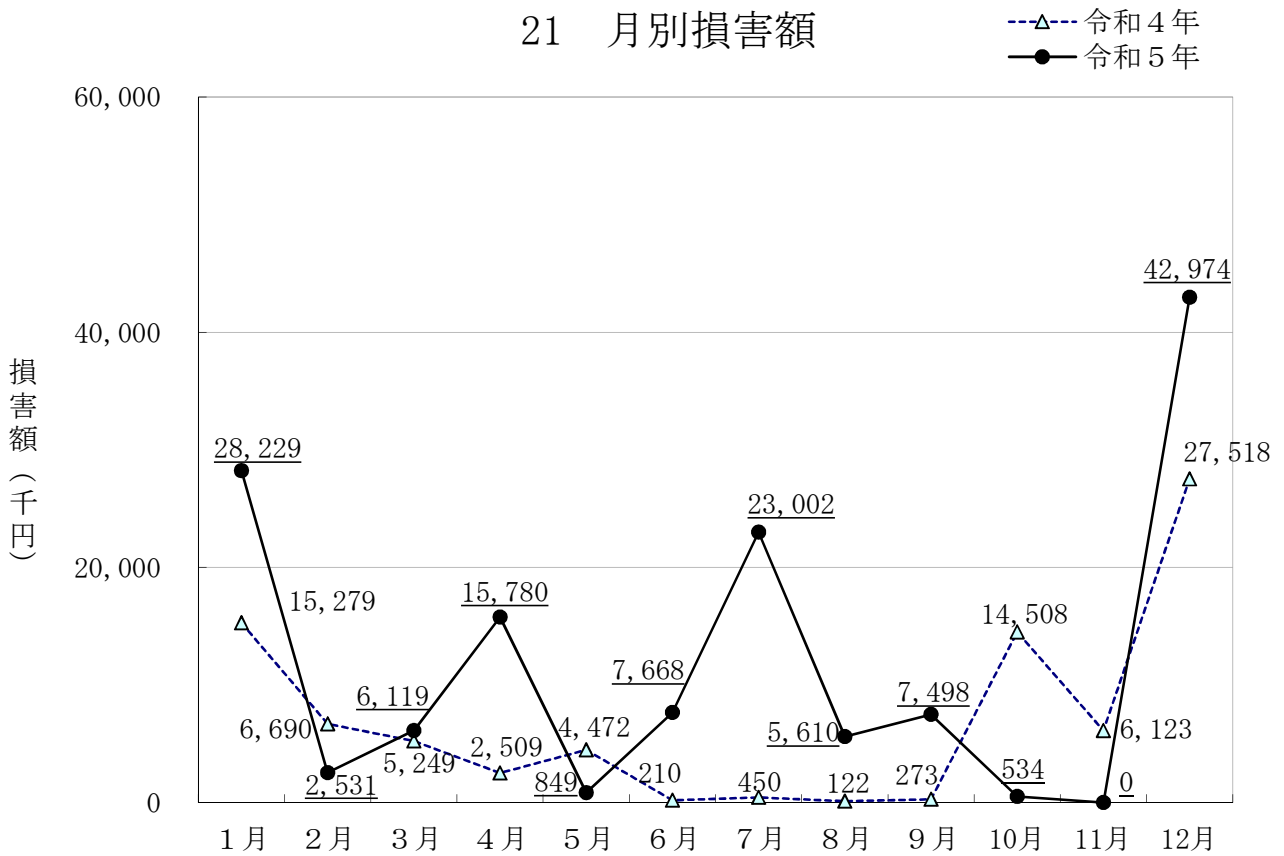
※4 ( ) 内は、川口地域の数値で別掲したもの



20 月別出火件数

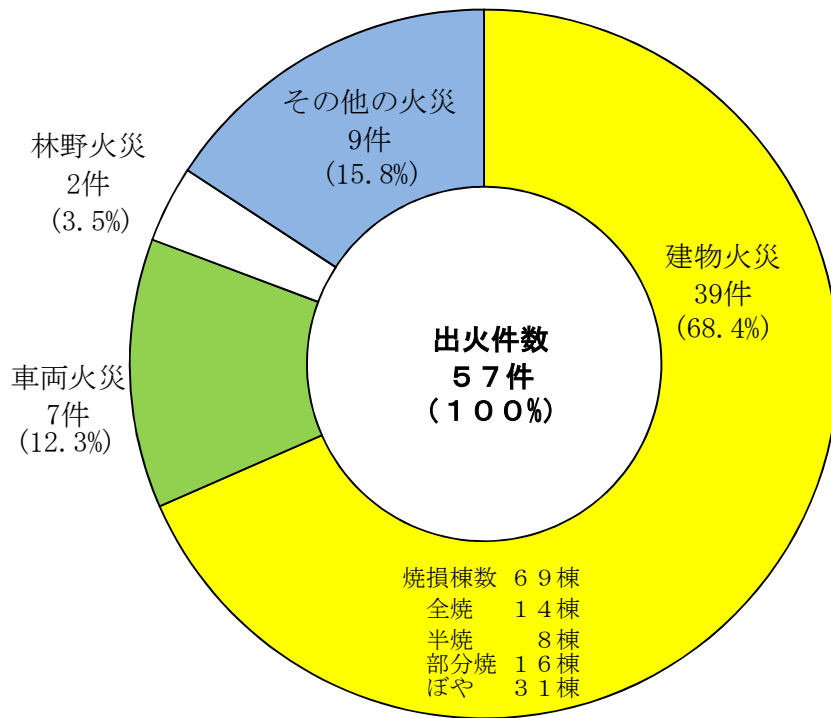


21 月別損害額



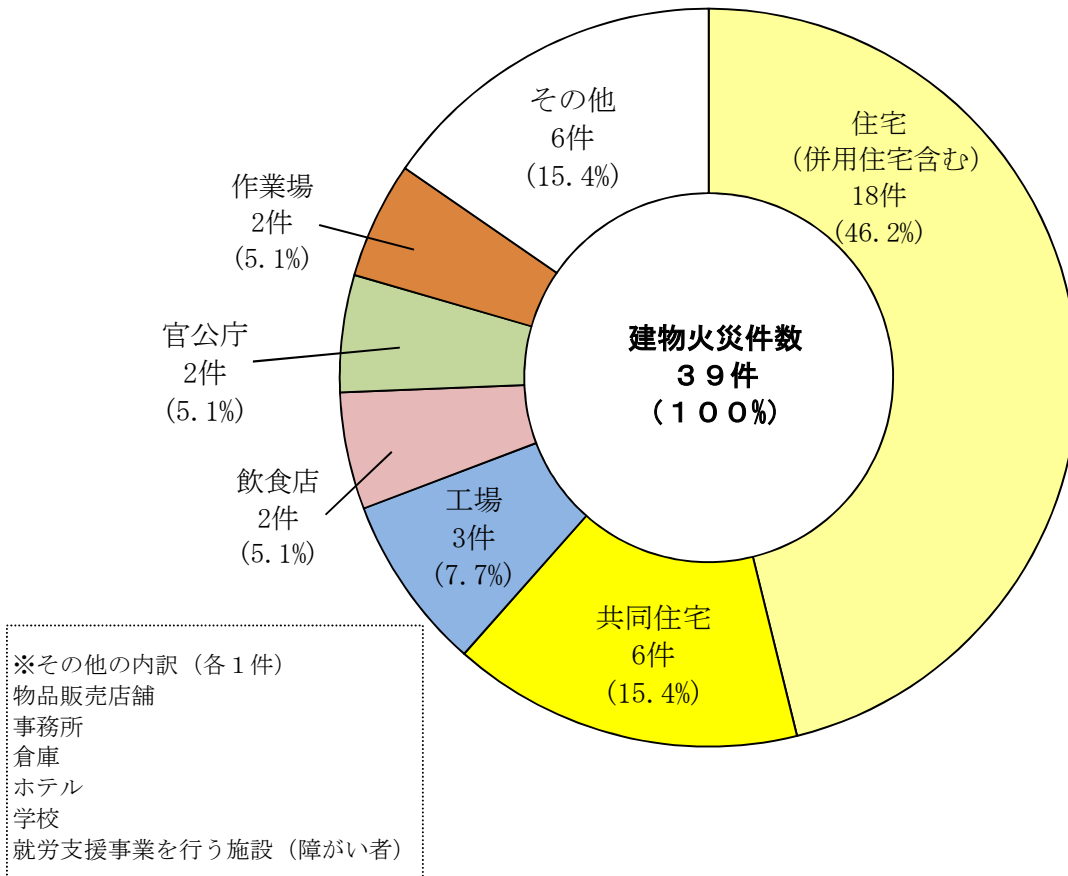
## 22 火災種別構成比

令和5年



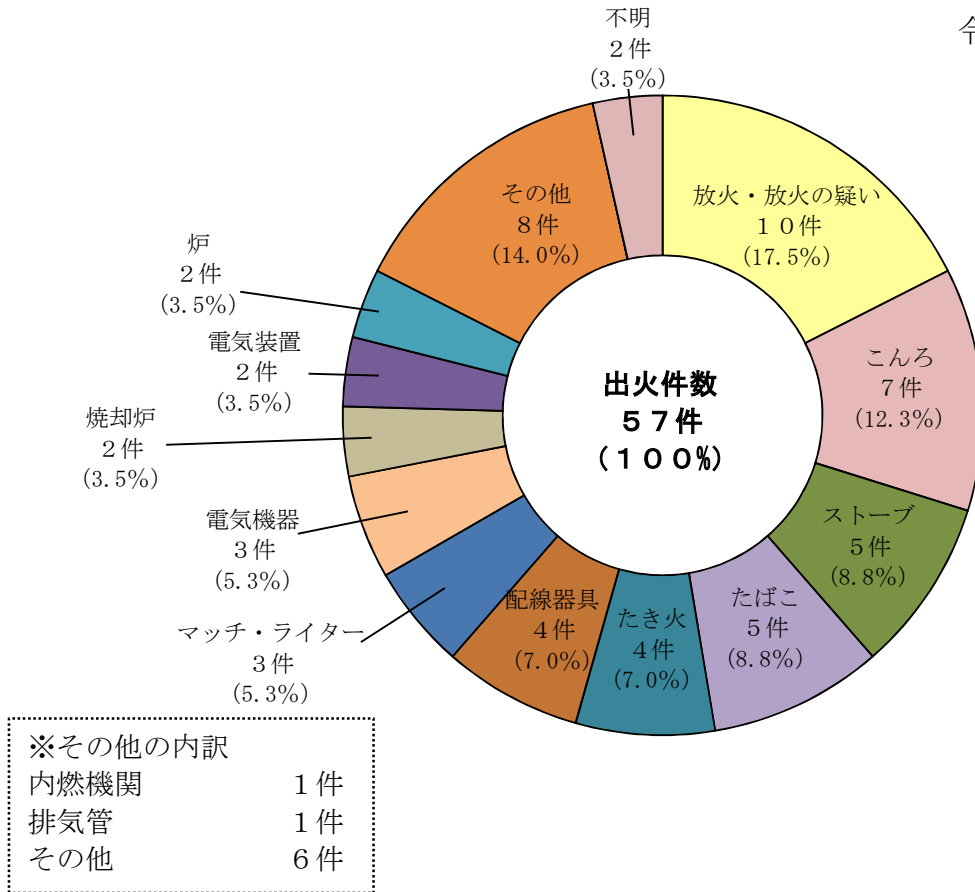
## 23 建物用途別構成比

令和5年



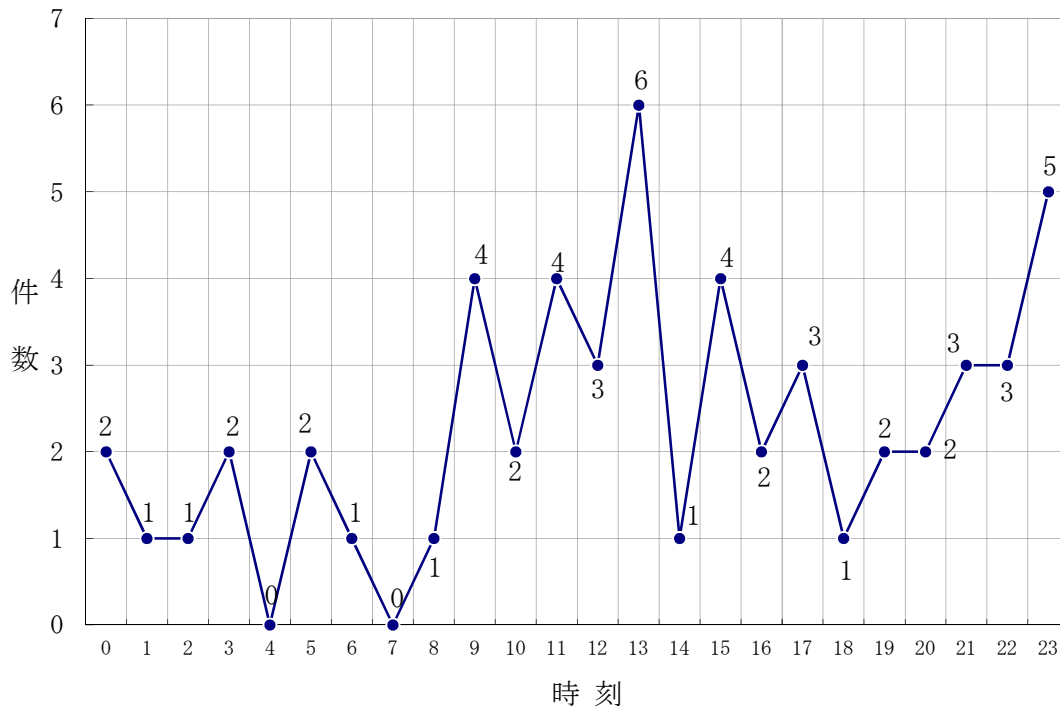
## 24 出火原因

令和5年



## 25 時間別出火件数

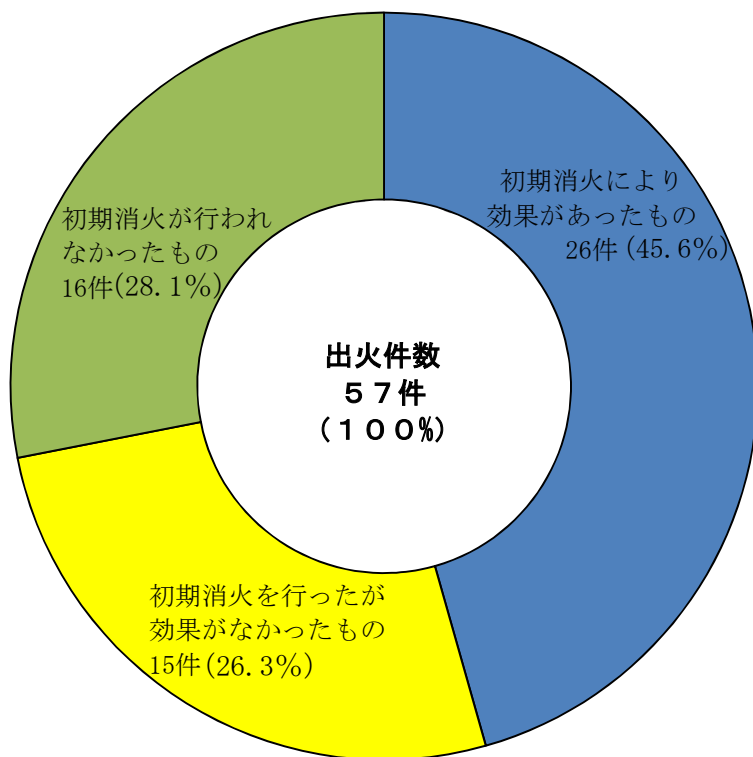
令和5年



不明：2件

## 26 初期消火を行った件数 (消防隊の現場到着以前の初期消火活動状況)

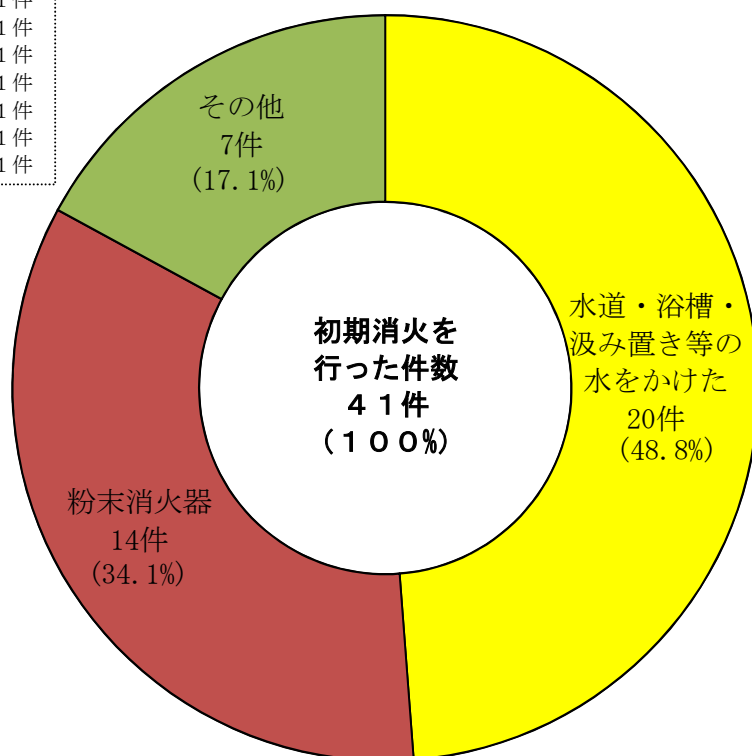
令和5年



## 27 初期消火の方法

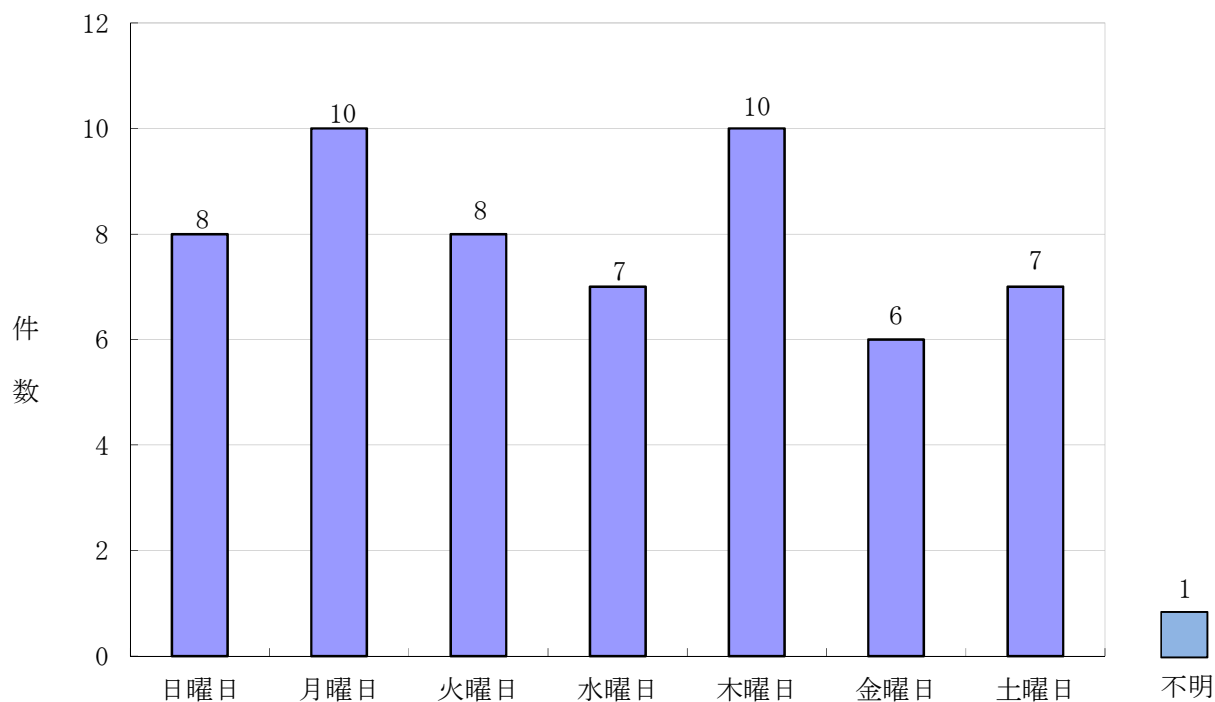
令和5年

※その他の内訳	
重曹をかけた	1件
衣類等で叩き消した	1件
飲み物をかけた	1件
除去する	1件
スプリンクラー設備	1件
簡易消火器具	1件
雪をかけた	1件



## 28 曜日別出火件数

令和5年



## 29 覚知別出火件数

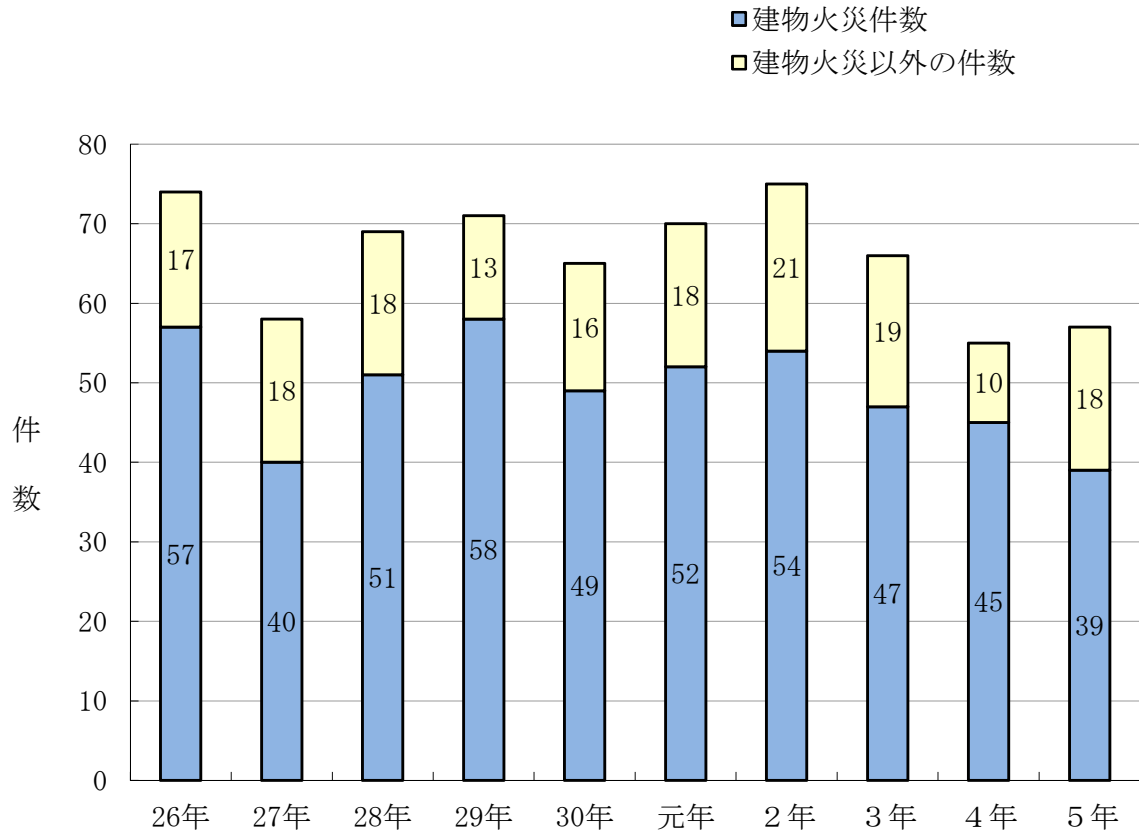
令和5年

種別		覚知方法別						
		総数	119番	加入電話	警察回線	駆け付け通報	事後聞知	その他
出火件数 (件)		<b>57</b>	<b>40</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	—	<b>11</b>	—
内訳	建物火災	<b>39</b>	28	2	2	—	7	—
	林野火災	<b>2</b>	2	—	—	—	—	—
	車両火災	<b>7</b>	4	1	—	—	2	—
	その他の火災	<b>9</b>	6	—	1	—	2	—

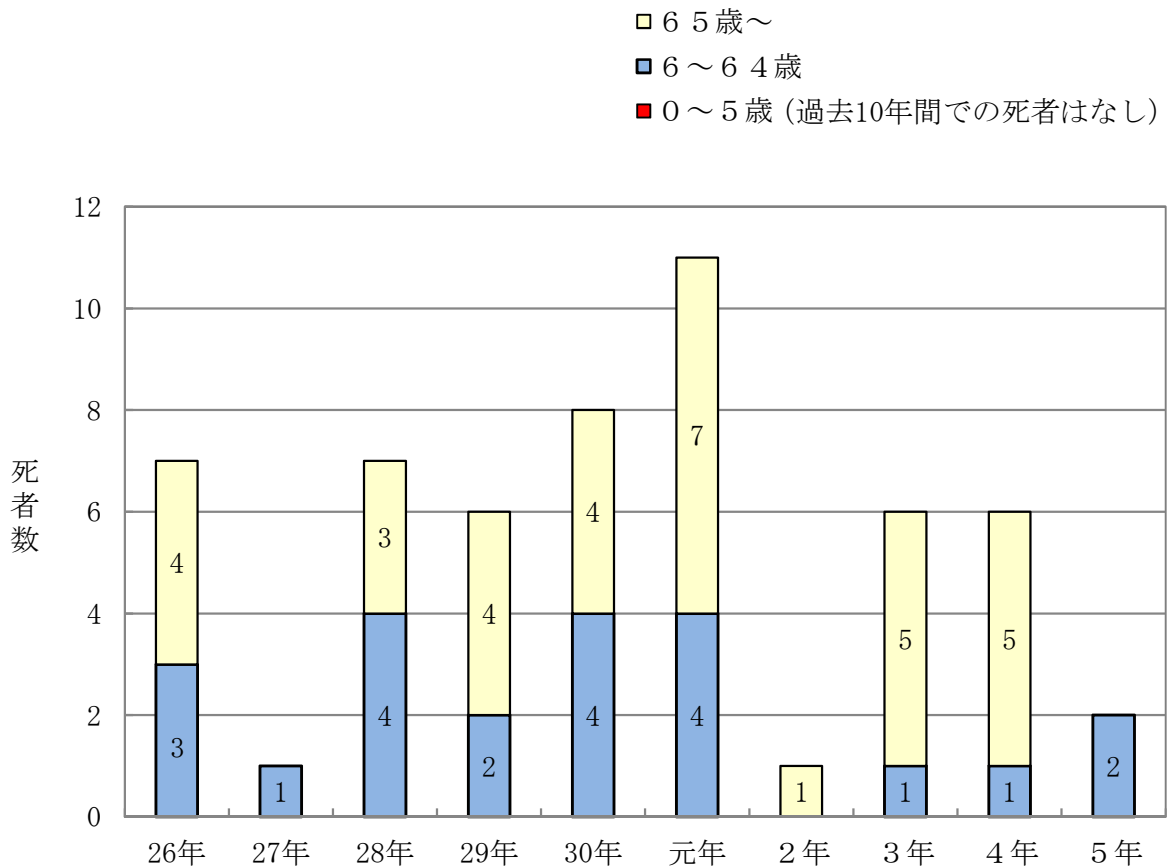
### 30 年別出火原因状況

原 因 年 別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
たばこ	4	4	1	5	5
こんろ	4	2	2	2	7
かまど	—	—	—	—	—
風呂かまど	1	1	—	—	—
炉	—	—	—	—	2
焼却炉	—	—	1	1	2
ストーブ	2	2	3	6	5
こたつ	1	—	—	—	—
ボイラー	—	—	—	—	—
煙突・煙道	3	2	1	—	—
排気管	—	—	3	1	1
電気機器	1	5	4	3	3
電気装置	5	3	4	2	2
電灯・電話等の配線	1	6	3	3	—
内燃機関	—	—	—	1	1
配線器具	2	4	3	—	4
火あそび	—	—	1	—	—
マッチ・ライター	—	—	2	—	3
たき火	11	8	2	1	4
溶接機・切断機	1	—	1	2	—
灯 火	4	2	1	1	—
衝突の火花	—	—	1	—	—
取 灰	—	1	1	—	—
火 入 れ	—	—	1	—	—
放 火	7	19	3	10	9
放火の疑い	—	—	4	1	1
その他	11	15	15	12	6
不明	12	1	9	4	2
<b>合 計</b>	<b>70</b>	<b>75</b>	<b>66</b>	<b>55</b>	<b>57</b>

### 31 火災件数の推移



### 32 火災による死者の推移



### 33 火災状況の推移

区 分	単位	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
<b>出火件数</b>	<b>件</b>	<b>70 (-)</b>	<b>75 (-)</b>	<b>66 (-)</b>	<b>55 (-)</b>	<b>57 (-)</b>
建物火災		52 (-)	54 (-)	47 (-)	45 (-)	39 (-)
林野火災		7 (-)	4 (-)	2 (-)	0 (-)	2 (-)
車両火災		5 (-)	7 (-)	8 (-)	6 (-)	7 (-)
船舶火災		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)
航空機火災		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)
その他の火災		6 (-)	10 (-)	9 (-)	4 (-)	9 (-)
焼損棟数	棟	77 (-)	65 (-)	70 (-)	70 (-)	69 (-)
全 焼		19 (-)	7 (-)	22 (-)	21 (-)	14 (-)
半 焼		9 (-)	3 (-)	— (-)	1 (-)	8 (-)
部 分 焼		21 (-)	17 (-)	18 (-)	14 (-)	16 (-)
ぼ や		28 (-)	38 (-)	30 (-)	34 (-)	31 (-)
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	3,454 (-)	2,037 (-)	3,646 (-)	3,242 (-)	2,620 (-)
建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	330 (-)	281 (-)	591 (-)	157 (-)	112 (-)
林野焼損面積	a	148 (-)	84 (-)	73 (-)	1 (-)	8 (-)
死者	人	11 (-)	1 (-)	6 (-)	6 (-)	2 (-)
負傷者	人	26 (-)	16 (-)	20 (-)	21 (-)	14 (-)
り災世帯数	世帯	45 (-)	26 (-)	37 (-)	32 (-)	45 (-)
全 損		11 (-)	3 (-)	11 (-)	10 (-)	12 (-)
半 損		7 (-)	2 (-)	— (-)	1 (-)	1 (-)
小 損		27 (-)	21 (-)	26 (-)	21 (-)	32 (-)
り災人員	人	129 (-)	62 (-)	112 (-)	80 (-)	99 (-)
損害額	千円	141,068 (-)	121,740 (-)	241,507 (-)	83,403 (-)	140,794 (-)
建 物		138,316 (-)	110,709 (-)	231,995 (-)	79,909 (-)	129,967 (-)
林 野		258 (-)	— (-)	60 (-)	— (-)	— (-)
車 両		1,874 (-)	10,821 (-)	8,964 (-)	434 (-)	6,024 (-)
船 舶		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)
航 空 機		— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)
そ の 他		620 (-)	210 (-)	488 (-)	3,060 (-)	4,803 (-)
出 火 率	件 /万人	2.6	2.9	2.5	2.1	2.2

※1 建物焼損表面積とは、焼損が立体的でなく、壁、天井、床板等部分的な場合の焼損面積の合計をいう。

※2 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

※3 出火率算出に用いた人口は、各年12月1日現在の住民基本台帳登録数による。

※4 川口地域の数値は除く。

※5 ( )内は、爆発を再掲したものである。



警 防 関 係



# 1 災害出動状況

令和5年

出動種別 区分	総 数	火	再	風	焚	油	報自	捜	救	誤	(そ 管外 火災 等) 他
		災	燃 防 止 等	水 害	火 拡 大 等	漏 洩 等	知 動 設 備 火 災	索	急 支 援	・ 虚 報	
出 動 件 数	<b>1,407</b> (11)	57 (2)	83 (-)	2 (-)	37 (2)	148 (2)	149 (-)	0 (-)	871 (-)	32 (-)	28 (5)
出 動 台 数	<b>2,830</b>	308	140	3	69	218	328	0	1,617	104	43
出 動 人 員	<b>10,243</b>	1,130	521	11	263	815	1,273	0	5,692	379	159

※ ( )内は、川口地域の数値で別掲したもの

# 2 事故種別救助活動状況

令和5年

事故等の 種別 区分	総 数	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	る機 械 に 故よ	よ建 る物 事等 故に	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	そ の 他
		建 物	以建 外物								
救助出動件数	<b>152</b> (5)	2 (-)	2 (-)	52 (3)	12 (-)	— (-)	1 (1)	54 (-)	2 (-)	— (-)	27 (1)
救助活動件数	<b>96</b>	2	2	13	8	—	1	53	2	—	15
救 助 人 員	<b>87</b>	1	1	15	8	—	1	44	3	—	14

※1 本表の「火災」とは、救助活動を行う目的で出動した火災のうち、何らかの救助活動を行った火災をいう。

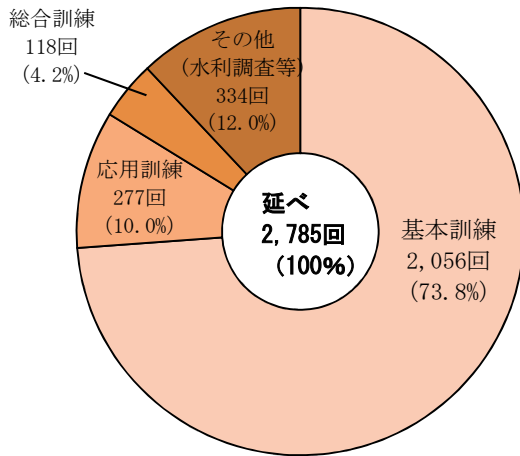
※2 ( )内は、川口地域の数値で別掲したもの

### 3 研修・訓練状況

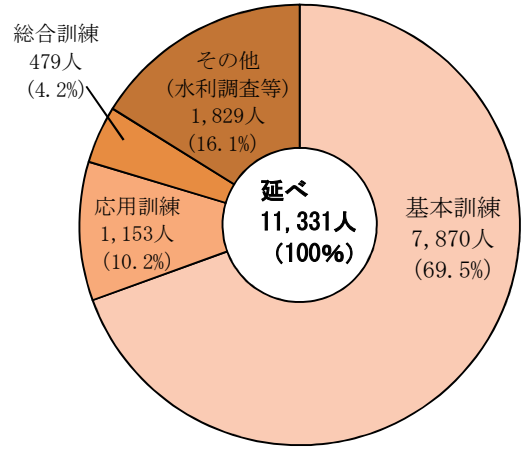
令和5年

#### (1) 消防訓練

##### ア 実施回数

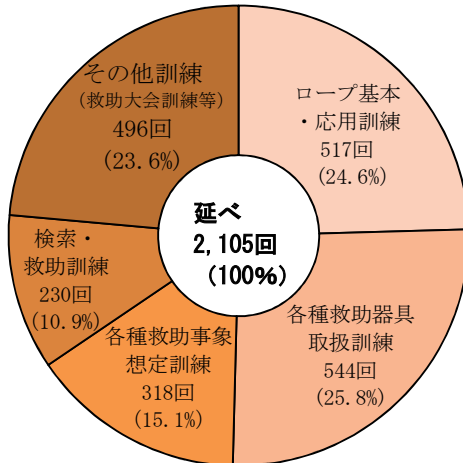


##### イ 実施人員数

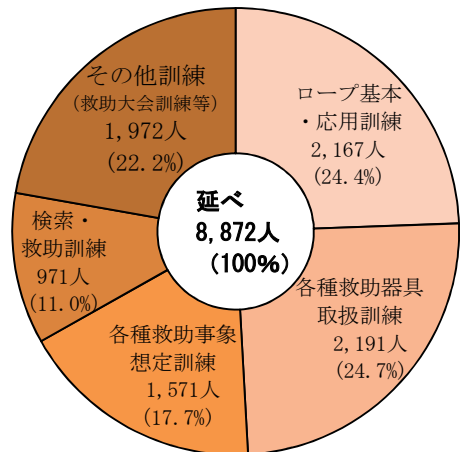


#### (2) 救助訓練

##### ア 実施回数

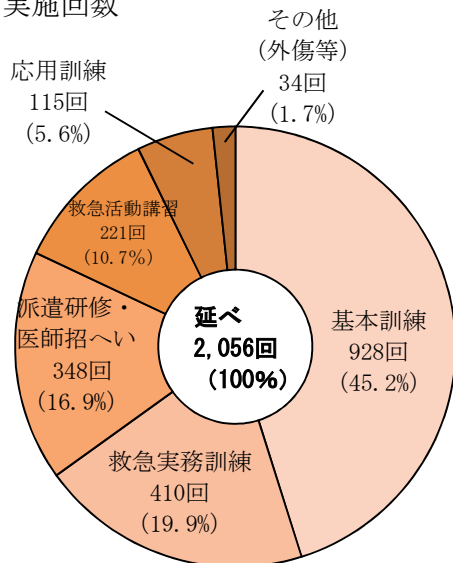


##### イ 実施人員数

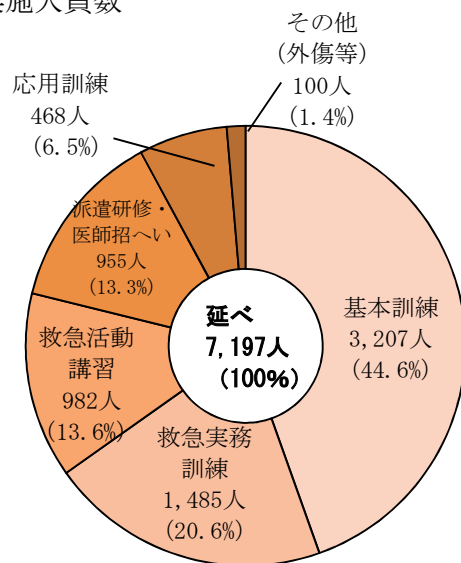


#### (3) 救急研修・訓練

##### ア 実施回数



##### イ 実施人員数



## 4 救急活動状況

比較 区分	4年	5年	増減	増減率(%)	1日平均	
					4年	5年
救急出動件数	11,475 (180)	13,001 (195)	1,526	13.3	31.4	35.6
搬送件数	10,218 (163)	11,666 (180)	1,448	14.2	28.0	32.0
搬送人員	10,292 (163)	11,745 (181)	1,453	14.1	28.2	32.2
不搬送件数	1,257 (17)	1,335 (15)	78	6.2	3.4	3.7

※ ( )内は、川口地域の数値で別掲したもの

## 5 救急出動の推移

区分 年別	人口 (12.31現在)	救急出動件数	搬送人員	出動件数に 対する人口比
元年	264,613 (4,259)	11,379 (190)	10,658 (189)	23.3 (22.4)
2年	262,137 (4,207)	9,788 (183)	9,005 (162)	26.8 (23.0)
3年	259,644 (4,084)	10,533 (169)	9,673 (154)	24.7 (24.2)
4年	257,347 (3,940)	11,475 (180)	10,292 (163)	22.4 (21.9)
5年	258,205 (3,842)	13,001 (195)	11,745 (181)	19.9 (19.7)

※ ( )内は、川口地域の数値で別掲したもの

## 6 事故種別救急出動状況

種別 区分	総数	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
4年	<b>11,475</b> (180)	35 (-)	2 (-)	5 (-)	532 (14)	157 (3)	71 (-)	1,682 (42)	20 (-)	134 (1)	7,982 (118)	855 (2)
5年	<b>13,001</b> (195)	38 (-)	2 (-)	9 (-)	551 (7)	148 (4)	75 (1)	1,796 (19)	30 (3)	134 (8)	9,211 (149)	1,007 (4)
増減	<b>1526</b>	3	0	4	19	△ 9	4	114	10	0	1,229	152
増減率 %	<b>13.3</b>	8.6	0.0	80.0	3.6	△ 5.7	5.6	6.8	50.0	0.0	15.4	17.8
5年 1日 平均	<b>35.6</b>	0.1	0.01	0.02	1.5	0.4	0.2	4.9	0.1	0.4	25.2	2.8

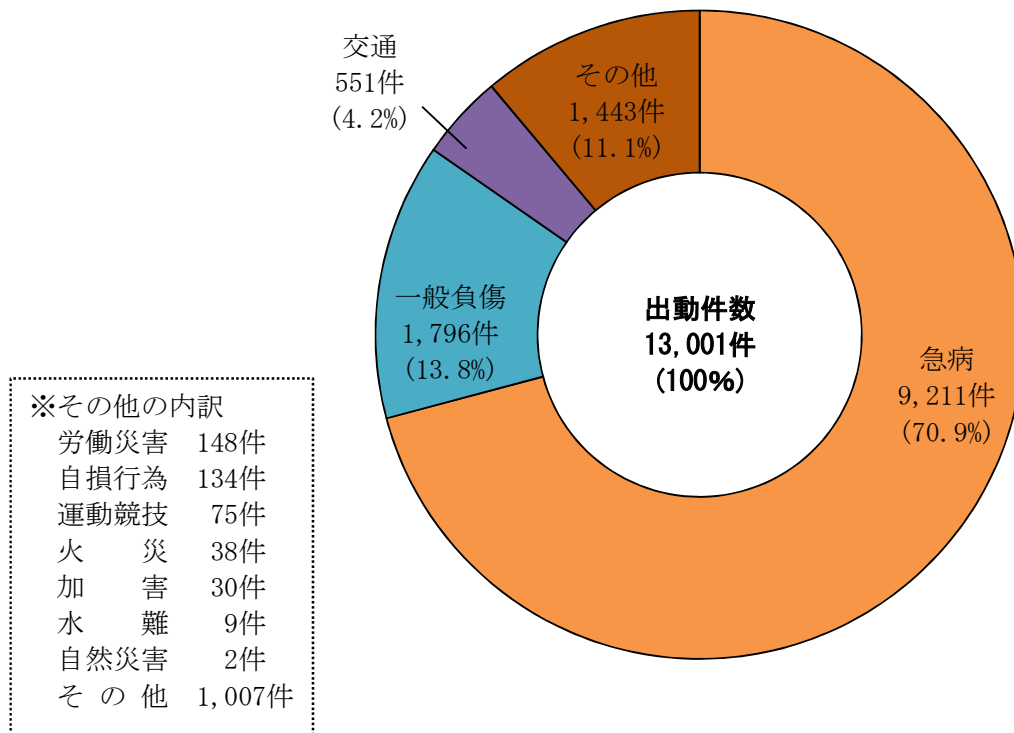
※1 「一般負傷」は、他に分類されない不慮の事故をいう。

※2 「その他」は、転院搬送、医師搬送、資器材輸送、誤報及び虚報等をいう。

※3 ( )内は、川口地域の数値で別掲したもの

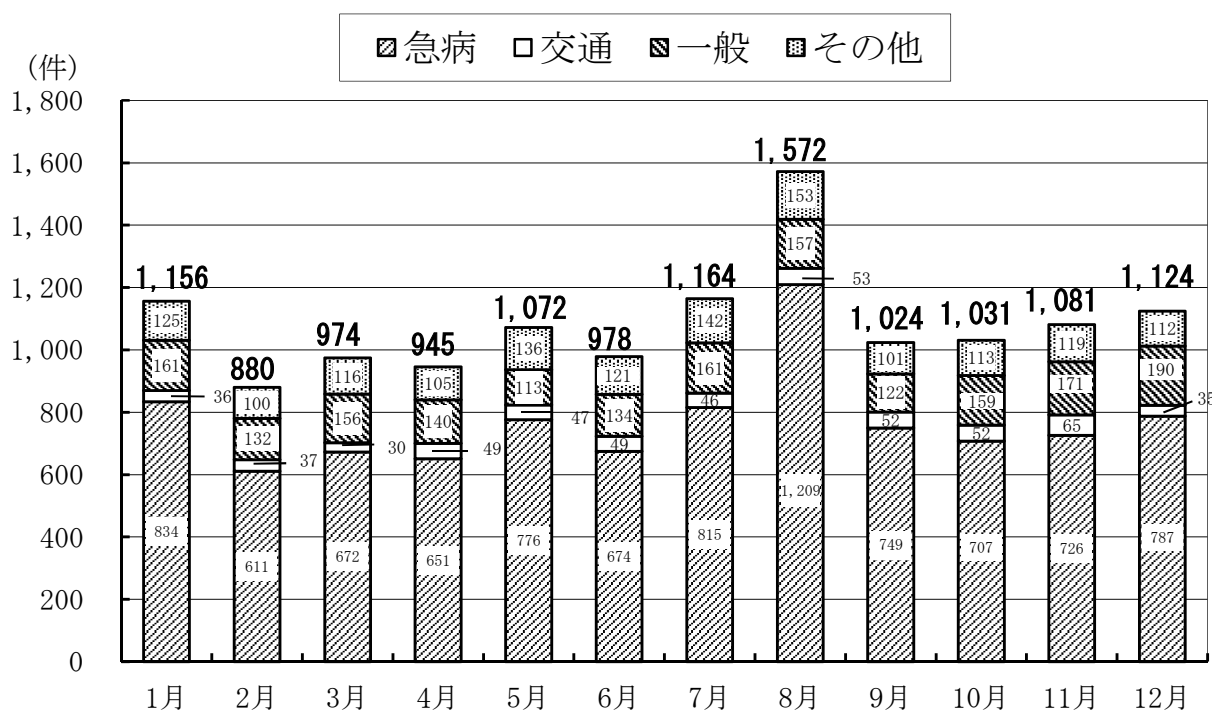
## 7 事故種別救急出動状況の構成比

令和5年



## 8 月別救急出動状況

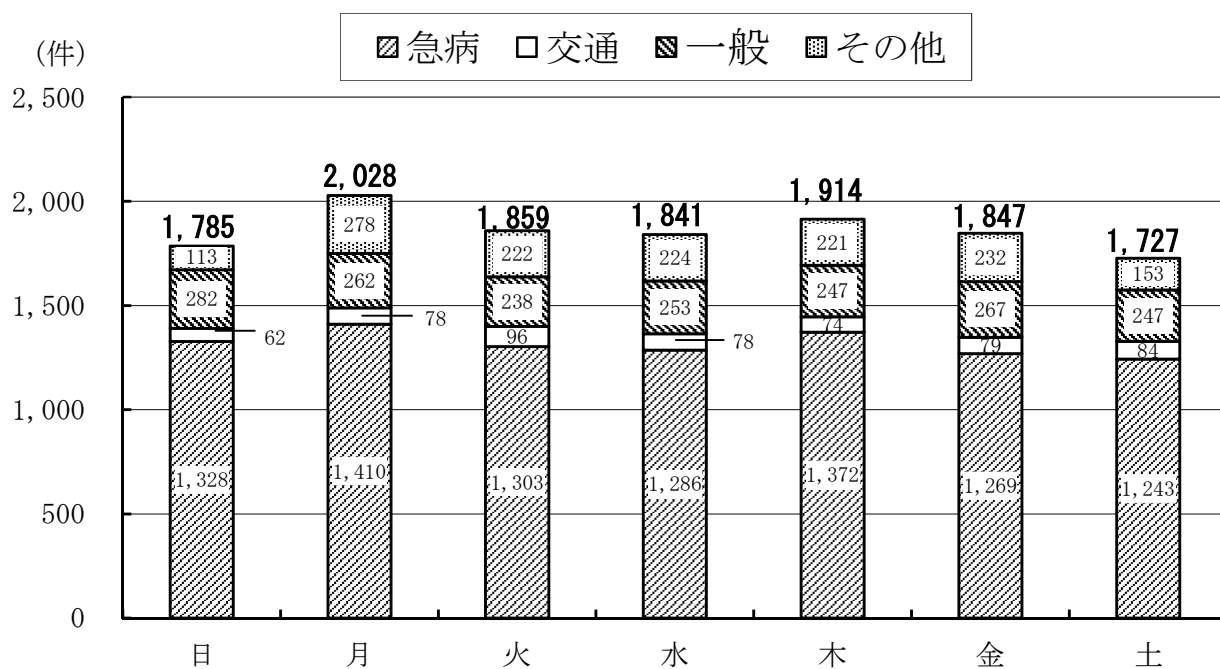
令和5年



※ 「その他」は、急病、交通、一般以外をいう。

## 9 曜日別救急出動状況

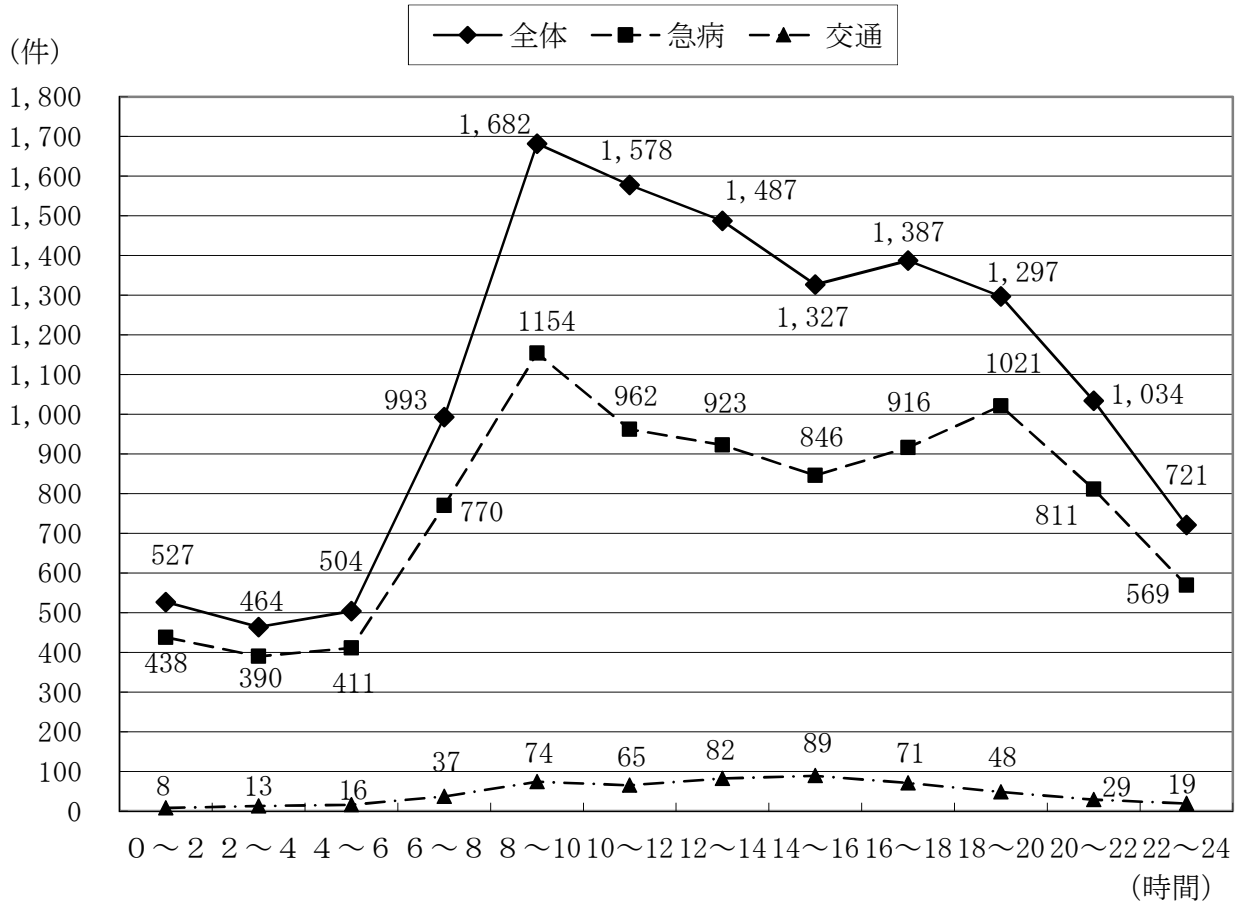
令和5年



※ 「その他」は、急病、交通、一般以外をいう。

## 10 時間帯別事故種別救急出動状況

令和5年

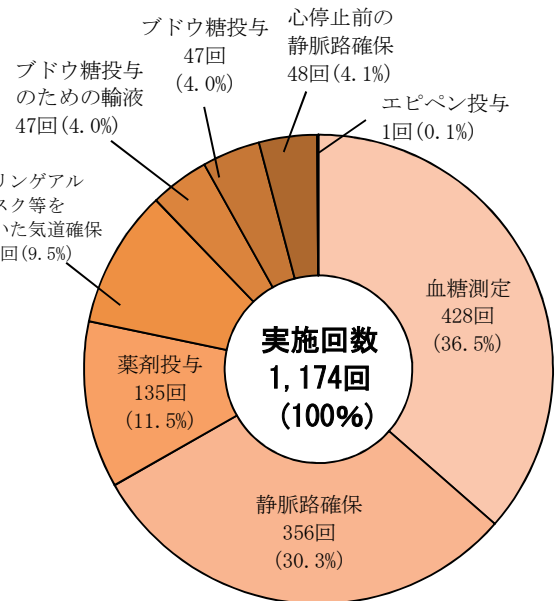
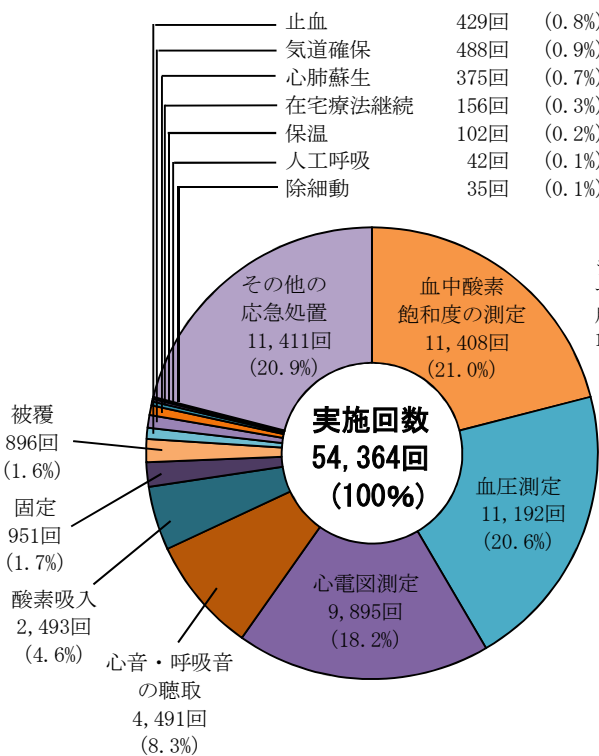


## 11 救急隊員の行った応急処置状況

令和5年

(1) 救急隊員の行った応急処置

(2) 救急救命士が行った特定行為

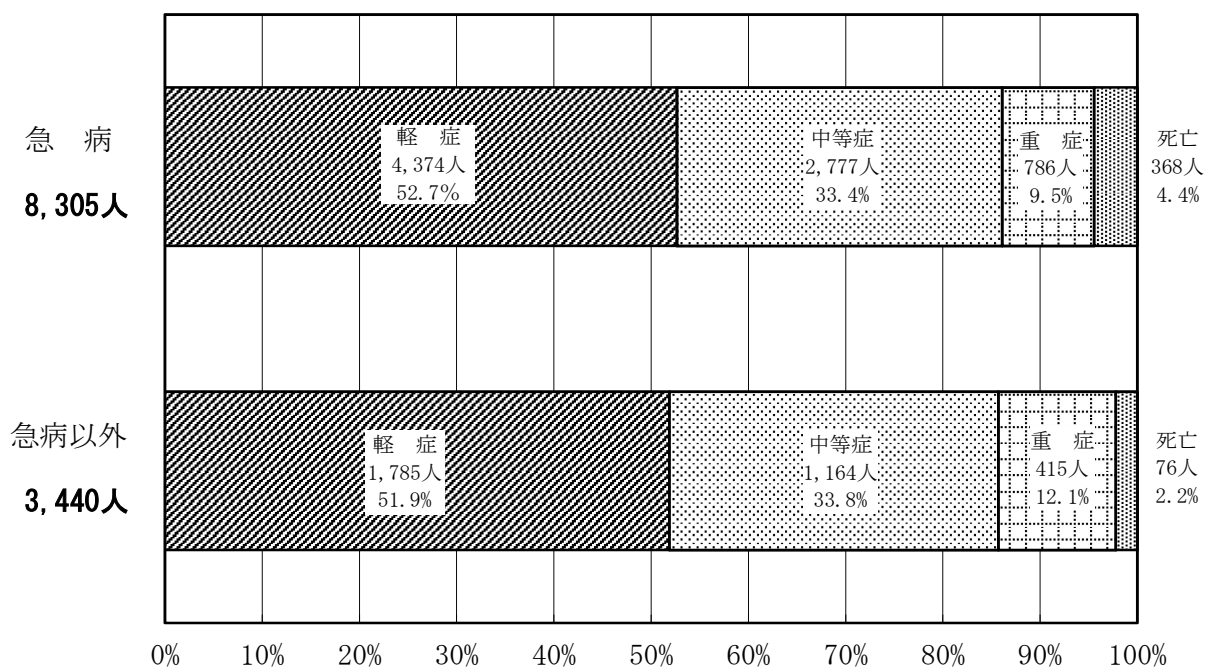


※ 「その他」は、体温測定等をいう。



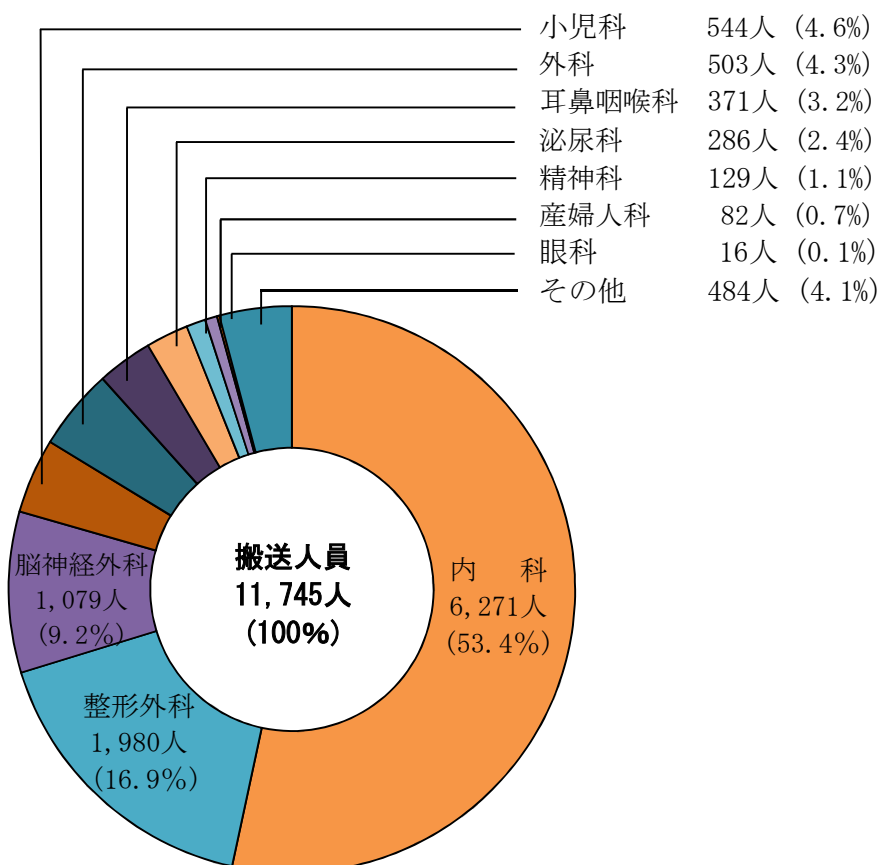
## 12 疾病と負傷の傷病程度状況

令和5年



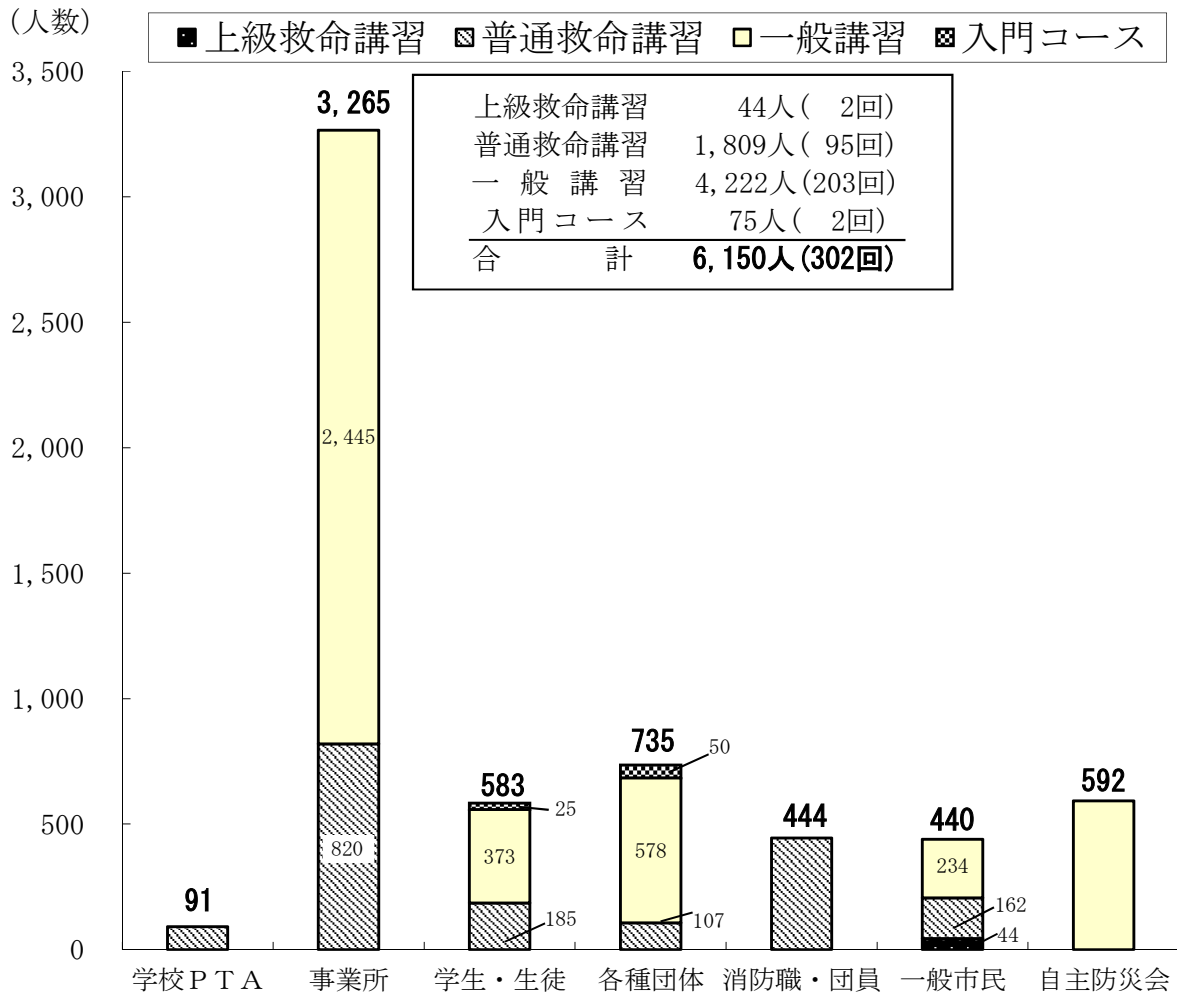
## 13 診療科目別状況

令和5年



## 14 応急手当講習指導実施状況

令和5年



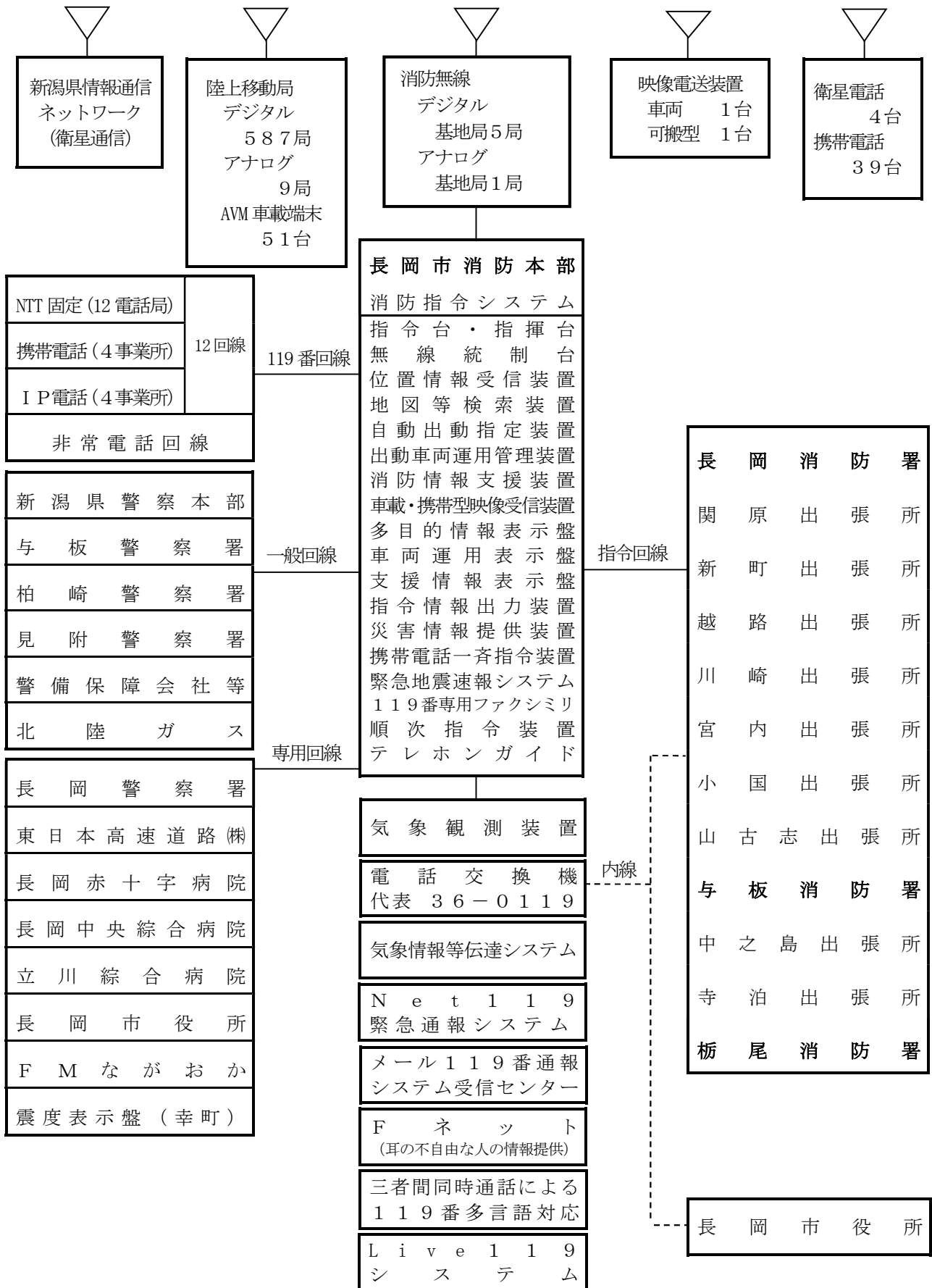
## 15 高速自動車国道の救急出動状況

令和5年

年	場所	救急出動 件数	事故種別			搬送人員	不件搬送数
			交通事故	急病	その他		
4年	関越自動車道	5	1	4	-	5	-
	北陸自動車道	8	6	2	-	8	1
	<b>計</b>	<b>13</b>	<b>7</b>	<b>6</b>	<b>-</b>	<b>13</b>	<b>1</b>
5年	関越自動車道	2	1	0	1	2	0
	北陸自動車道	15	10	4	1	12	4
	<b>計</b>	<b>17</b>	<b>11</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>14</b>	<b>4</b>
増減		4	4	△2	2	1	3

# 16 消防通信系統図

令和6. 4. 1



## 17 消防通信施設（有線系）

令和 6. 4. 1

装 置 の 名 称	装 置 の 機 能 概 要	
消 防 指 令 シ ス テ ム	指 令 台 ・ 指 揮 台	指令台 3 席、指揮台 1 席で構成されている。 各席は、自動出動ディスプレイ、地図ディスプレイ、支援ディスプレイ、多目的ディスプレイの 4 画面で構成され、平常時は 4 席、輻輳時は 8 席に切り替え、同時に 8 本の災害通報を受信できる。
	無 線 統 制 台	基地局無線装置と接続し、無線交信の統制を行う。
	位 置 情 報 受 信 装 置	2 系統の IP・VPN 回線を利用し、各電話事業者から通報者の位置情報を受信する。
	地 図 等 検 索 装 置	119 番の着信と同時に、地図用ディスプレイに位置情報受信装置から得た発信地を表示する。
	自 動 出 動 指 定 装 置	災害場所及び災害種別をもとに自動的に部隊を編成して出動指令を行う。
	出 動 車 両 運 用 管 理 装 置	各車両の位置を GPS で把握し、災害地点に最も近い車両に出動指令を出すことができる。
	消 防 情 報 支 援 装 置	警防、予防、総務の情報管理を各所管事務担当課、出張所等で分担処理を行う。
	車 載 ・ 携 帯 型 映 像 受 信 装 置	携帯端末と接続した車載及び携帯型タブレット端末の映像を、インターネットを利用して指令室及び作戦指令室にリアルタイムに表示する。
	多 目 的 情 報 表 示 盤	気象、災害件数、119 番着信状況、活動事案等を表示する。
	車 両 運 用 表 示 盤	GPS 搭載車両の活動状況及び現在位置を表示する。
	支 援 情 報 表 示 盤	全域及び詳細地図等を表示し、地図上に活動車両の位置を表示する。
	指 令 情 報 出 力 装 置	指令放送及び指令書を出力する。
	災 害 情 報 提 供 装 置	災害情報を自動で長岡市のホームページに掲載する。
	携 帯 電 話 一 斉 指 令 装 置	消防職員、消防団員等に対し、メールで自動的に災害の発生を通知する。
	緊 急 地 震 速 報 シ ス テ ム	地震到達前に自動的に予告放送を行う。
	1 1 9 番 専 用 フ ァ ク シ ミ リ	ファクシミリを利用した 119 番通報を受信する。
順 次 指 令 装 置	消防団幹部に対し、建物火災の情報を電話で自動的に通知する。	
テ レ ホ ン ガ イ ド	災害や休日診療の問い合わせに自動で応答する。	
N e t 1 1 9 緊 急 通 報 シ ス テ ム	聴覚機能、音声機能、言語機能、そしゃく機能に障害を有する者、又はこれらに準ずる者が自ら保有する通信端末を利用し、消防機関へ緊急通報を行う。	
メ ー ル 1 1 9 番 通 報 シ ス テ ム 受 信 セ ン タ ー	聴覚障害者等から携帯電話及びパソコンのメールを利用した火災及び救急等の通報を受信する。	
F            ネ            ット	大規模な災害等が発生した場合、あらかじめ登録してある聴覚障害者等に情報を提供する。	
三 者 間 同 時 通 話 に よ る 1 1 9 番 多 言 語 対 応	外国人からの 119 番通報時、若しくは外国人がいる救急現場での活動時において、電話通訳センターを介して 24 時間 365 日 32 か国の言語で対応する。	
L i v e 1 1 9 シ            ス            テ            ム	音声のみでは実態把握が困難な火災や傷病者等の状況を、映像情報を取得することにより、正確な状況を把握し、的確な消防、救急活動及び部隊運用に繋げる。	

## 18 消防通信施設（無線系）

令和6. 4. 1

### 所属別配置数

型 式		区 分	所 属 別 配 置 数		合 計
デジタル無線基地局			5		<b>5</b>
デジタル無線 移 動 局	車載型	消防署	74	157	<b>587</b>
		消防団	83		
	携帯型	消防署	91	400	
		消防団	309		
	可搬型 卓上型	消防署	5	30	
		消防団	15		
各支所		10			
デジタル無線受令機		消防署	17		<b>18</b>
		アオーレ長岡	1		
トランスシーバー		消防団	1,105		<b>1,105</b>

### 所属別内訳

所 属	型 式	車載型	携帯型	可搬型 卓上型	受令機	トランスシーバー
長岡消防署		22	28	3	5	
関原出張所		4	4	-	1	
新町出張所		4	4	-	1	
越路出張所		4	4	-	1	
川崎出張所		4	3	-	1	
宮内出張所		4	4	-	1	
山古志出張所		3	3	-	1	
小国出張所		3	3	-	1	
与板消防署		9	13	1	1	
中之島出張所		3	3	-	1	
寺泊出張所		6	6	-	1	
栃尾消防署		8	16	1	2	
消防団本部		5	24	-	-	175
長岡中央方面隊		5	19	1	-	48
長岡南部方面隊		5	19	1	-	51
長岡北部方面隊		4	17	1	-	63
長岡川西方面隊		4	17	1	-	54
長岡西部方面隊		5	19	1	-	69
越路方面隊		5	19	1	-	72
山古志方面隊		3	15	1	-	33
小国方面隊		5	15	1	-	35
中之島方面隊		9	25	1	-	126
三島方面隊		5	19	1	-	54
和島方面隊		5	19	1	-	43
寺泊方面隊		8	25	1	-	78
与板方面隊		4	17	1	-	36
栃尾方面隊		6	21	1	-	120
川口方面隊		5	19	1	-	48
各 支 所		-	-	10	1	-
<b>総 数</b>		<b>157</b>	<b>400</b>	<b>30</b>	<b>18</b>	<b>1,105</b>

※ 上記の他、防災相互波を使用するためのアナログ基地局1局、アナログ移動局9局（車載型1台、可搬型3台、携帯型5台）を消防本部、与板消防署及び寺泊出張所に配置

19 119番回線による火災・救急等受信回数

令和5年

月別 区分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総計	17,951 (87)	1,477 (10)	1,174 (2)	1,423 (6)	1,297 (11)	1,457 (4)	1,389 (6)	1,729 (12)	1,972 (6)	1,493 (9)	1,519 (9)	1,514 (5)	1,507 (7)
火災	101 (2)	16	4	5	18 (1)	6	5	9	10	4 (1)	4	5	15
警戒	171 (3)	20	11	13 (2)	19	10	18	14 (1)	11	13	6	10	26
救助	45	3	2	5	4	4	5	7	3	3	2	3	4
救急	12,043 (82)	1,092 (10)	812 (2)	901 (4)	843 (10)	997 (4)	903 (6)	1,089 (11)	1,427 (6)	968 (8)	963 (9)	1,014 (5)	1,034 (7)
番号 違い等	1,839	136	123	200	148	154	156	186	172	166	141	137	120
病院 会	1,077	76	50	88	71	94	87	121	120	100	85	88	97
通報 訓練等	1,049	32	53	99	66	86	91	54	61	120	182	149	56
災害 会	233	20	15	14	16	10	22	25	17	17	18	30	29
回線 テスト 等	1,393	82	104	98	112	96	102	224	151	102	118	78	126
1日 平均	49.2	47.6	41.9	45.9	43.2	47.0	46.3	55.8	63.6	49.8	49.0	50.5	48.6

※1 この表は、指令室の受信回数のため、火災・救急件数等とは合致しない。

※2 ( )内は、管外の受信(携帯119番転送、管外119番)回数の再掲。

※3 通報訓練等の回数は、非常通報装置による試験通報を含む。

## 20 消防自動車等配置及び車齢状況

令和6. 4. 1

車種別		総 数	ポン プ 車	タン ク 車	化 学 車	は し ご 車	屈 折 車	救 助 工 作 車	司 令 車	救 急 車	査 察 広 報 車	連 絡 車	指 揮 隊 車	資 機 材 搬 送 車 等	ボ ー ト ト レ ー ラー	訓 練 指 導 車
所 属 別	車 齢 別															
<b>総 数</b>		<b>78</b>	<b>12</b>	<b>9</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>18</b>	<b>14</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>6</b>	<b>3</b>	<b>1</b>
消防本部	計	6	—	—	—	—	—	—	2	—	1	1	—	1	—	1
	総務課	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	予防課	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
	警防課	3	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	1	—	—
長岡消防署	計	44	9	6	1	1	1	2	—	10	8	—	2	3	1	—
	本署	18	3	1	1	1	—	1	—	4	1	—	2	3	1	—
	関原出張所	4	(※)1	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	新町出張所	4	1	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	越路出張所	4	1	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	川崎出張所	4	—	1	—	—	1	1	—	—	1	—	—	—	—	—
	宮内出張所	4	1	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	山古志出張所	3	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
小国出張所	3	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	
与板消防署	計	20	2	3	—	—	—	1	1	6	3	—	—	2	2	—
	本署	10	1	1	—	—	—	1	1	3	1	—	—	1	1	—
	中之島出張所	3	—	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	寺泊出張所	7	1	1	—	—	—	—	—	2	1	—	—	1	1	—
栃尾消防署	8	1	—	1	—	—	—	1	1	2	2	—	—	—	—	—
1年未満	4	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	1	—	—	
1年以上～2年未満	4	—	1	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	
2年以上～3年未満	4	1	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	
3年以上～4年未満	5	1	1	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	
4年以上～5年未満	4	(※)1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	1	—	
5年以上～6年未満	3	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—	—	—	—	
6年以上～7年未満	6	2	—	—	—	—	—	—	—	1	2	1	—	—	—	
7年以上～8年未満	4	—	1	—	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	
8年以上～9年未満	2	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	
9年以上～10年未満	4	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1	1	
10年以上～11年未満	3	1	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	
11年以上～12年未満	2	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	
12年以上～13年未満	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	
13年以上～14年未満	2	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	
14年以上～15年未満	3	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	
15年以上	27	5	5	1	1	—	—	—	2	2	5	—	—	3	2	1

※ 関原出張所の救助車はポンプ車として計上した。

## 21 消防自動車等性能現況

(78台)

令和6. 4. 1

所属別	車名	車台製作所	型別	登録年月	経過年数	公称馬力(ps)	ポンプ				摘要	
							製作所	型式	規格放水量	級別		
消防本部	総務課	長岡総務 1	トヨタ	小型乗用	H29. 6. 14	6年9月	109					
	予防課	長岡予防 2	スズキ	軽4輪	R5. 3. 28	1年0月	46					リース車両 (4WD)
		長岡予防 3	マツダ	普通貨物	H18. 8. 30	17年7月	100					日本宝くじ協会寄贈車 (4WD)
	警防課	長岡司令 1	日産	普通乗用	H17. 10. 31	18年5月	186					4WD
		長岡司令 2	三菱	普通乗用	H28. 10. 21	7年5月	148					4WD
		長岡支援 3	三菱	普通乗合	H5. 6. 24	30年9月	155					マイクロバス
長岡消防署	本署	長岡ポンプ 1	日野	CDⅡ型	H8. 11. 22	27年4月	215	モリタ	ME-5	2,500	A-2	
		長岡ポンプ 2	日野	CDⅡ型	H5. 9. 30	30年6月	185	〃	〃	2,480	〃	
		長岡ポンプ 3	いすゞ	Ⅱ型	H4. 8. 26	31年7月	185	モリタ	MEV-52	2,550	A-2	タンク容量2t
		長岡タンク 1	日野	Ⅱ型	H14. 2. 21	22年1月	220	長野ポンプ	NF-75	2,800	A-1	日本損害保険協会寄贈車 タンク容量2t
		長岡化学 1	日野	Ⅱ型	H25. 12. 26	10年3月	220	モリタ	MZI	2,390	A-2	タンク容量1.5t (4WD) CAFS
		長岡はしご 1	日野	38m級	H7. 3. 15	29年0月	340	〃	MS-1	2,230	〃	地上高40m
		長岡救助 1	日野	Ⅲ型	H24. 3. 8	12年0月	220					4WD
		長岡救急 1	トヨタ	高規格	R3. 1. 12	3年2月	151					4WD
		長岡救急 2	日産	高規格	R6. 3. 8	0年0月	147					4WD
		長岡救急 3	トヨタ	高規格	H21. 2. 25	15年1月	151					4WD
		本部救急 1	日産	高規格	R6. 3. 7	0年0月	147					4WD
		長岡広報 1	スズキ	軽4輪	R5. 3. 28	1年0月	46					リース車両 (4WD)
		長岡指揮 1	トヨタ	普通	H22. 3. 26	14年0月	151					4WD
		長岡指揮 2	日産	普通	R6. 2. 14	0年1月	145					4WD
		長岡支援 1	日野	普通	R6. 3. 18	0年0月	150					2.75t積載 (4WD)
		長岡支援 2	日野	普通	H26. 12. 9	9年3月	220					4t積載 (4WD)
	長岡支援 4	三菱	普通	R2. 3. 30	4年0月	270					総務省無償貸与	
	長岡ボートトレー 1	SUNTREX	普通	H17. 10. 27	18年5月							
	関原出張所	関原救助 1	日野	Ⅱ型	R1. 12. 20	4年3月	240	モリタ	MZI	2,460	A-2	ポンプ付き (4WD)
		関原タンク 1	日野	Ⅱ型	H20. 12. 19	15年3月	230	日本機械	R-3	2,250	〃	タンク容量3t (4WD) CAFS
関原救急 1		トヨタ	高規格	R4. 11. 25	1年4月	160					4WD	
関原広報 1		スズキ	軽4輪	R3. 10. 1	2年6月	49					リース車両 (4WD)	
新町出張所	新町ポンプ 1	日野	CDⅡ型	H30. 2. 6	6年1月	240	モリタ	MZI	2,480	A-2	タンク容量0.9t (4WD) CAFS	
	新町タンク 1	日野	Ⅱ型	H18. 11. 24	17年4月	230	長野ポンプ	NF-75	2,520	〃	タンク容量3t (4WD)	
	新町救急 1	トヨタ	高規格	H26. 11. 14	9年4月	151					4WD	
	新町広報 1	三菱	軽4輪	R1. 10. 16	4年5月	48					リース車両 (4WD)	
越路出張所	越路ポンプ 1	日野	CDⅠ型	H21. 11. 27	14年4月	150	モリタ	ME-5	2,110	A-2	4WD	
	越路タンク 1	日野	Ⅱ型	H23. 1. 28	13年2月	230	長野ポンプ	NF-75	2,516	〃	タンク容量2.5t (4WD)	
	越路救急 1	日産	高規格	R2. 2. 7	4年1月	151					4WD	
	越路広報 1	日産	軽4輪	H30. 9. 3	5年6月	49					リース車両 (4WD)	
川崎出張所	川崎救助 1	日野	Ⅱ型	H31. 2. 15	5年1月	240	モリタ	MZI	2,460	A-2	ポンプ付き (4WD)	
	川崎タンク 1	日野	Ⅱ型	H18. 3. 20	18年0月	230	〃	〃	2,500	〃	タンク容量3t (4WD)	
	長岡屈折 1	日野	20m級	H28. 1. 18	8年2月	320					地上高25m	
	川崎広報 1	三菱	軽4輪	H17. 1. 26	19年2月	35					長岡悠久ライオンズクラブ 寄贈車 (4WD)	



所属別	車名	車台 製作所	型別	登録年月	経過年数	公称 馬力 (ps)	ポンプ				摘 要	
							製作所	型式	規格放水 量	級別		
長岡 消防署	宮内出張所	宮内ポンプ1	日野	CDI型	H26.3.4	10年0月	150	モリタ	MZI	2,400	A-2	タンク容量0.6t(4WD) CAFS
		宮内タンク1	日野	II型	H14.2.26	22年1月	300	〃	ME-5	2,500	〃	タンク容量3t
		宮内救急1	トヨタ	高規格	H29.10.4	6年5月	151					4WD
		宮内広報1	三菱	軽4輪	H19.10.17	16年5月	48					4WD
	山古志出張所	山古志ポンプ1	日野	CDI型	H20.3.18	16年0月	150	長野ポンプ	NF-75	2,489	A-2	タンク容量0.55t(4WD)
		山古志救急1	トヨタ	高規格	H28.9.27	7年6月	151					4WD
		山古志広報1	スズキ	軽4輪	H29.8.10	6年7月	49					リース車両(4WD)
	小国出張所	小国ポンプ1	日野	CDI型	R2.12.18	3年3月	150	モリタ	MZI	2,000	A-2	4WD CAFS
		小国救急1	トヨタ	高規格	H28.9.29	7年6月	151					4WD
		小国広報1	日産	軽4輪	H17.11.25	18年4月	48					4WD
本 署	与板ポンプ1	日野	CDI型	H29.12.15	6年3月	150	モリタ	MZI	2,450	A-2	タンク容量0.6t(4WD) CAFS	
	与板タンク1	日野	I-B型	R5.3.24	1年0月	240	モリタ	MZI	2,410	〃	タンク容量1.5t(4WD) CAFS	
	与板救助1	日野	II型	H24.12.19	11年3月	220	モリタ	ME-5	2,300	〃	ポンプ付き(4WD)	
	与板救急1	トヨタ	高規格	H27.10.9	8年5月	151					4WD	
	与板救急2	トヨタ	高規格	H18.11.21	17年4月	151					4WD	
	与板救急3	トヨタ	高規格	H22.11.18	13年4月	151					4WD	
	与板広報1	スズキ	軽4輪	H29.8.10	6年7月	49					リース車両(4WD)	
	与板司令1	日産	普通乗用	R2.10.1	3年6月	109					リース車両(4WD)	
	水難支援2	トヨタ	普通	H15.7.29	20年8月	180					4WD	
	与板ボートトレーラー1	SUNTREX	普通	H18.6.12	17年9月							
中之島出張所	中之島タンク1	日野	II型	R3.1.28	3年2月	240	モリタ	MZI	2,000	A-2	タンク容量2t(4WD) CAFS	
	中之島救急1	トヨタ	高規格	H25.11.13	10年4月	151					4WD	
	中之島広報1	日産	軽4輪	H17.11.25	18年4月	48					4WD	
寺泊出張所	寺泊ポンプ1	日野	CDI型	R3.12.27	2年3月	150	モリタ	MZI	2,380	A-2	タンク容量0.6t(4WD) CAFS	
	寺泊タンク1	日野	II型	H28.12.28	7年3月	220	モリタ	MZI	2,000	A-2	タンク容量2t(4WD) CAFS	
	寺泊救急1	トヨタ	高規格	R4.2.24	2年1月	151					4WD	
	寺泊救急2	トヨタ	高規格	H19.11.16	16年4月	220					4WD	
	寺泊広報1	スズキ	軽4輪	R3.3.1	3年1月	64					リース車両(4WD)	
	水難支援1	トヨタ	普通	H17.3.10	19年0月	180					4WD	
	寺泊ボートトレーラー1	SUNTREX	普通	H26.7.28	9年8月							
栃尾 消防署	栃尾ポンプ1	いすゞ	CDI型	H17.2.15	19年1月	130	モリタ	ME-5	2,100	A-2	タンク容量0.3t (4WD)	
	栃尾化学1	日野	II型	H20.11.17	15年4月	220	長野ポンプ	NF-75	2,450	〃	タンク容量1.5t (4WD)	
	栃尾救助1	日野	II型	H27.2.24	9年1月	220	日本機械	ALR-3	2,310	〃	4WD	
	栃尾救急1	トヨタ	高規格	H30.9.21	5年6月	151					4WD	
	栃尾救急2	トヨタ	高規格	H21.11.25	14年4月	151					4WD	
	栃尾広報2	トヨタ	普通	H15.7.29	20年8月	175					4WD	
	栃尾広報3	スズキ	軽4輪	R3.10.1	2年6月	49					リース車両(4WD)	
	栃尾司令1	日産	小型乗用	H13.8.2	22年7月	125					4WD	

## 22 消火薬剤備蓄状況

令和6. 4. 1

所属別 消火薬剤		総量 (ℓ)	長岡消防署							与板消防署			栃尾	
			本署	関原出張所	新町出張所	越路出張所	川崎出張所	宮内出張所	山古志出張所	小国出張所	本署	中之島出張所	寺泊出張所	消防署
<b>総量 (ℓ)</b>		<b>10,530</b>	<b>2,740</b>	<b>1,080</b>	<b>1,320</b>	<b>1,400</b>	<b>860</b>	<b>680</b>	<b>80</b>	<b>320</b>	<b>690</b>	<b>320</b>	<b>400</b>	<b>640</b>
スーパーフォーム 3%等 合成界面活性剤	車載	1,140	340	100	80	160	100	80	60	40	—	40	80	60
	在庫	4,420	1,460	380	520	720	220	320	—	100	200	100	—	400
メガフォーム 水性膜泡	車載	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	在庫	200	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アンガストリドール 水性膜泡	車載	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	在庫	100	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
耐アルコール消火薬剤		2,900	520	520	520	520	520	160	—	—	—	—	60	80
ミラクルα+ 合成界面活性剤泡	車載	320	40	20	60	—	—	60	—	—	100	40	—	—
	在庫	220	40	40	100	—	20	—	—	—	—	20	—	—
マルチA 合成界面活性剤泡	車載	210	—	—	—	—	—	—	—	60	30	—	120	—
	在庫	780	20	20	—	—	—	—	—	120	360	120	140	—
フレックスA S フオレックスA パン	車載	120	20	—	40	—	—	—	20	—	—	—	—	40
	在庫	120	—	—	—	—	—	60	—	—	—	—	—	60

## 23 救助工作車装備品

令和6. 4. 1

分 類	品 名	長岡 救助1	関原 救助1	川崎 救助1	与板 救助1	栃尾 救助1	合 計
一 般 救助器具	かぎ付はし	1	1	1	1	1	5
	三連はし	1	1	1	1	1	5
	折りたたみはし	1	1	1	1	1	5
	空気式救助マッ	1	1	1	1	1	5
	救命索発射銃	1	1	1	1	1	5
	救助用縛	6	4	4	4	5	23
滑力ラビ	31	30	41	30	37	169	
		6	5	5	4	5	25
重量物排除 用 器 具	油圧式ジャッキ	2	2	2	2	2	10
	可搬式ウインチ	1	1	1	1	1	5
	大型油圧スプレッダ	2	2	2	2	1	9
	マッソット空気ジャッキ	7	10	9	7	7	40
ワイヤロープ	9	9	6	6	10	40	
切断用器具	エンジンカッター	1	1	1	1	1	5
	ダイヤモンドチェーンソー	1	—	—	—	—	1
	ディスクグラインダ	1	1	1	1	1	5
	鉄線カッタ	2	1	1	2	3	9
	充電式鉄筋カッタ	1	—	—	—	—	1
	エアーソナー	1	1	1	1	1	5
大型油圧切断機	2	2	2	2	1	9	
破壊用器具	万能おドリ	4	2	3	4	4	17
	ハンのマゴリ	2	1	—	1	1	5
	ハンのマゴリ	1	1	1	1	1	5
	ハンのマゴリ	2	1	1	1	1	6
	携帯コンクリート破砕器具	1	1	1	1	1	5
削岩機	1	—	—	1	1	3	
測定用器具	可燃性ガス測定器	3	1	1	1	1	7
	酸素濃度測定器	6	1	1	1	1	10
	放射線測定器	5	1	—	2	—	8
呼吸保護用 器 具	空気呼吸器	4	4	4	4	4	20
	酸素呼吸器	5	4	4	4	4	21
	簡易呼吸器	1	1	2	2	2	8
	送風機	2	—	—	1	1	4
	防塵マスク	5	5	5	5	5	25
高度救助用 資 機 材	画像探査機 I 型	1	—	—	—	—	1
	画像探査機 II 型	1	—	1	1	1	4
	地中音響探知機	1	—	—	—	—	1
	熱画像直視装置	2	2	2	1	1	8
	夜間暗視装置	1	—	—	—	—	1
地震警報器	1	—	—	—	—	1	
隊員保護用 器 具	耐電ゴム手袋	5	4	3	5	5	22
	耐電衣	2	2	2	2	2	10
	防圧式化学防護服	5	—	—	—	—	5
	放射線保護服	5	4	4	4	4	21
	放射線防護服	4	5	—	—	—	10
	フルボディー型墜落制止用器具	4	4	—	—	—	8
水難救助用 器 具	救命胴浮	5	4	4	4	4	21
	救命ボート	1	1	1	1	1	5
	船外機	3	—	—	1	1	5
山岳救助器具						3	
	バスケット型担架	2	1	1	2	1	7
その他の 救助用器具	発動発電機	3	1	1	1	1	7
	投光器	2	1	2	2	2	9
	携帯帯拡声器	2	1	2	2	1	8
	携帯無線機	2	2	2	2	2	10
	応急処置用セット	1	1	1	1	1	5
	携帯救助器具	1	—	—	1	—	2
	緩降機	1	1	1	1	1	5
	ロープ登降機	1	—	—	1	—	2
	マシホル救助器具	1	1	1	1	1	5
救助用支柱器具	2	1	—	—	1	4	

※ ポンプ車として取扱っている関原救助1も記載した。

24 消防ポンプ

区分		放水器具										放水補助器具				発泡器具					
		小型動力ポンプ	ホース			普通管	無反動管	特殊管	やり管	可変ノズル	二又分岐管	スタンダパイプ	自在接手	ストツバルブ	定流量器	ホースブリッジ	ピクアップ式泡ノズル	ラインプロポーションナー	ラインプロポーションナー		
			65ミ	50ミ	25ミ																
車名		12	494	287	15	12	75	62	3	124	45	27	4	29	2	33	2	2	21		
長岡消防署	本署	長岡ポンプ 1	1	14	12	—	3	3	2	—	7	1	1	1	1	—	1	—	—	1	
		長岡ポンプ 2	1	15	3	—	1	3	—	1	4	1	1	—	—	—	1	—	—	1	
		長岡ポンプ 3	—	11	—	—	1	2	1	—	3	2	1	—	—	—	1	—	1	—	
		長岡タンク 1	1	20	13	—	1	4	2	—	7	2	1	—	1	—	1	—	—	1	
		長岡化学 1	—	24	18	—	—	3	6	—	8	2	1	1	2	—	1	—	—	1	
		長岡はしご 1	—	3	4	—	—	1	—	—	1	—	1	—	1	—	1	—	—	—	
	関原出張所	関原救助 1	1	17	3	—	—	2	1	—	3	1	1	—	—	—	1	—	—	1	
		関原タンク 1	—	19	16	—	—	2	4	—	6	2	1	—	3	—	1	—	—	1	
	新町出張所	新町ポンプ 1	1	21	14	—	—	2	3	—	4	2	1	—	2	—	1	—	—	1	
		新町タンク 1	—	21	13	—	—	3	2	—	4	2	1	1	1	—	1	—	—	1	
	越路出張所	越路ポンプ 1	1	18	10	—	—	3	2	—	5	1	1	—	1	—	1	—	—	1	
		越路タンク 1	—	29	16	—	—	3	3	—	6	2	1	—	1	—	2	—	—	1	
	川崎出張所	川崎救助 1	1	15	7	—	—	2	1	—	3	1	1	—	2	—	2	—	—	1	
		川崎タンク 1	—	24	17	—	1	4	1	—	5	2	1	—	1	—	2	—	—	1	
		長岡屈折 1	—	1	4	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	—	—	—	
	宮内出張所	宮内ポンプ 1	1	13	9	—	—	2	3	—	4	2	1	—	2	—	1	—	—	—	
		宮内タンク 1	—	24	17	—	—	6	1	—	6	1	1	1	—	2	1	—	—	1	
	山古志出張所	山古志ポンプ 1	1	16	14	—	—	2	3	—	4	2	1	—	2	—	1	—	1	—	
	小国出張所	小国ポンプ 1	1	16	9	—	—	2	3	—	5	2	1	—	1	—	1	—	—	1	
	与板消防署	本署	与板タンク 1	—	20	12	4	—	4	3	1	7	2	1	—	—	—	1	—	—	1
			与板ポンプ 1	1	16	7	5	—	2	2	1	4	2	1	—	2	—	1	—	—	1
与板救助 1			—	11	5	—	—	2	1	—	3	2	1	—	—	—	1	—	—	—	
寺泊出張所		寺泊ポンプ 1	1	18	8	—	—	2	3	—	5	2	1	—	2	—	1	—	—	1	
		寺泊タンク 1	—	22	10	6	—	2	3	—	5	2	1	—	2	—	1	—	—	1	
中之島出張所	中之島タンク 1	—	23	11	—	—	3	2	—	6	2	1	—	2	—	1	—	—	1		
栃尾消防署	本署	栃尾ポンプ 1	—	20	9	—	3	3	1	—	3	1	1	—	—	—	1	2	—	—	
		栃尾化学 1	—	27	21	—	1	6	6	—	6	2	1	—	—	—	2	—	—	2	
		栃尾救助 1	—	16	5	—	—	2	3	—	—	1	1	—	—	—	1	—	—	—	

# 自動車装備品一覧表

令和6. 4. 1

車 体 固 定 型	照 明 器 具					保 安 器 具				破 壊 器 具								は し ご							
	携 帯 発 電 機 5 5 0 W 以 上	携 帯 発 電 機 3 0 0 W 以 上	投 光 器 ・ 5 0 0 W 以 上	投 光 器 ・ 3 0 0 W 以 上	投 光 器 ・ 3 0 0 W 未 満	強 力 ラ イ ト	空 気 呼 吸 器	空 気 ボ ン ベ	酸 素 呼 吸 器	酸 素 ボ ン ベ	鉄 線 鉄	ド ア オ ー プ ナ ー	か け や	手 お の	大 ハ ン マ ー	つ る は し	バ ー ル	と び 口	の こ ぎ り	三 連 は し ご ・ 鉄 製	三 連 は し ご ・ アル ミ 製	三 連 は し ご ・ チ タ ン 製	か ぎ 付 は し ご ・ 鉄 製	か ぎ 付 は し ご ・ チ タ ン 製	二 つ 折 り は し ご ・ 鉄 製
23	26	0	12	7	12	89	107	205	22	27	28	57	12	18	26	24	39	63	28	19	—	7	3	20	—
—	1	—	—	1	—	3	4	8	—	—	1	1	1	1	1	1	3	2	3	1	—	—	—	—	—
—	1	—	1	—	—	—	4	6	—	—	1	—	1	1	1	1	1	1	—	1	—	—	1	—	—
—	1	—	1	—	—	—	4	4	—	—	—	—	—	1	1	—	2	2	—	1	—	—	1	—	—
—	1	—	1	—	—	3	4	7	—	—	1	2	1	1	1	1	1	2	2	1	—	—	—	—	—
1	1	—	1	—	—	4	4	8	—	—	1	2	—	—	1	1	3	2	2	1	—	—	—	1	—
—	1	—	2	—	—	3	3	7	—	—	—	1	—	—	—	—	1	3	—	—	—	—	—	1	—
1	1	—	—	—	1	4	4	8	4	6	1	2	1	1	1	1	4	2	1	—	—	1	—	1	—
1	1	—	—	1	—	4	4	8	—	—	1	2	—	—	1	1	2	2	1	1	—	—	—	1	—
2	1	—	—	—	1	3	4	8	—	—	1	2	—	1	1	1	2	2	1	1	—	—	—	1	—
1	1	—	—	1	—	3	4	8	2	2	1	2	—	1	1	1	2	2	1	1	—	—	—	1	—
—	1	—	—	1	—	3	3	7	—	—	1	2	1	1	1	1	1	2	2	1	—	—	—	1	—
1	1	—	—	—	1	3	6	10	4	5	1	1	—	1	1	1	1	2	1	1	—	—	—	1	—
1	1	—	2	—	—	4	4	10	4	6	1	3	1	—	1	1	2	4	1	—	—	1	—	1	—
1	1	—	—	1	—	4	4	8	—	—	1	4	—	—	1	1	1	2	—	1	—	—	—	1	—
—	—	—	—	—	—	3	3	6	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
—	1	—	1	—	—	3	3	6	—	—	1	2	1	1	1	1	1	2	1	—	—	1	—	1	—
—	1	—	1	—	—	3	4	6	—	—	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	—	—	1	—	—
—	1	—	—	1	—	2	3	4	—	—	1	2	1	1	2	1	1	3	1	1	—	—	—	—	—
2	1	—	—	—	1	4	4	8	—	—	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	—	—	—	1	—
2	1	—	—	—	1	4	4	8	—	—	1	2	—	1	1	1	1	2	1	—	—	1	—	1	—
—	1	—	—	—	1	3	4	8	—	—	1	2	—	1	1	1	2	2	1	1	—	—	—	1	—
1	1	—	—	—	2	3	4	10	4	4	2	4	1	1	1	1	1	4	2	—	—	1	—	1	—
2	—	—	—	—	1	4	4	8	—	—	1	3	—	—	1	1	—	2	1	—	—	1	—	1	—
2	1	—	1	—	—	3	4	8	—	—	1	3	—	—	1	1	1	2	1	1	—	—	—	1	—
2	1	—	—	—	1	4	4	8	—	—	1	2	—	1	1	1	1	2	1	1	—	—	—	1	—
—	1	—	1	—	—	3	3	3	—	—	1	1	—	—	—	—	1	3	—	1	—	—	—	—	—
1	1	—	—	1	—	5	3	7	—	—	1	2	—	—	1	1	1	3	—	1	—	—	—	1	—
2	1	—	—	—	2	4	4	8	4	4	2	4	1	1	1	1	1	4	1	—	—	1	—	1	—

## 25 消防水利状況

(1) 消火栓

令和6. 4. 1

種別 地域別		総 数	上 水 道		簡 易 水 道		
			地下式	地上式	地下式	地上式	
<b>総 数</b>		<b>6,277</b>	<b>1,995</b>	<b>3,991</b>	<b>11</b>	<b>280</b>	
長	A 地 区	<b>1,104</b>	805	299	—	—	
	大 島 地 区	<b>262</b>	138	124	—	—	
	宮 内 地 区	<b>416</b>	213	203	—	—	
	十 日 町 地 区	<b>69</b>	15	54	—	—	
	六 日 市 地 区	<b>72</b>	7	65	—	—	
	山 通 地 区	<b>70</b>	43	27	—	—	
	栖 吉 地 区	<b>161</b>	65	96	—	—	
	富 曾 亀 地 区	<b>176</b>	59	117	—	—	
	山 本 地 区	<b>128</b>	12	116	—	—	
	新 組 地 区	<b>90</b>	2	88	—	—	
	黒 条 地 区	<b>196</b>	50	146	—	—	
	下 川 西 地 区	<b>95</b>	8	87	—	—	
	上 川 西 地 区	<b>158</b>	82	76	—	—	
	岡	福 戸 地 区	<b>46</b>	1	45	—	—
		王 寺 川 地 区	<b>22</b>	3	19	—	—
		日 越 地 区	<b>291</b>	72	219	—	—
		深 才 地 区	<b>102</b>	22	80	—	—
		太 田 地 区	<b>10</b>	—	10	—	—
		関 原 地 区	<b>159</b>	43	116	—	—
		宮 本 地 区	<b>59</b>	4	55	—	—
大 積 地 区		<b>48</b>	1	47	—	—	
青 葉 台 地 区		<b>94</b>	48	46	—	—	
小 計		<b>3,828</b>	1,693	2,135	—	—	
中 之 島	<b>359</b>	165	194	—	—		
越 路	<b>294</b>	8	286	—	—		
三 島	<b>169</b>	22	147	—	—		
山 古 志	<b>128</b>	—	—	—	128		
小 国	<b>199</b>	—	192	—	7		
和 島	<b>179</b>	4	175	—	—		
寺 泊	<b>442</b>	86	356	—	—		
栃 尾	<b>374</b>	1	324	—	49		
与 板	<b>198</b>	16	182	—	—		
川 口	<b>107</b>	—	—	11	96		

## (2) 防火水槽等

令和6. 4. 1

種別 地域別		防 火 水 槽						学 校 プー ル等 取 水 設 備
		計	100m <sup>3</sup> 以上	40m <sup>3</sup> ~ 100m <sup>3</sup> 未 満	20m <sup>3</sup> ~ 40m <sup>3</sup> 未 満	20m <sup>3</sup> 未 満		
<b>総 数</b>		<b>1,375 (593)</b>	<b>6 (4)</b>	<b>958 (526)</b>	<b>269 (59)</b>	<b>142 (4)</b>	<b>31</b>	
長 岡	A 地 区	31 (30)	2 (2)	29 (28)	— —	— —	6	
	大 島 地 区	18 (18)	1 (1)	17 (17)	— —	— —	2	
	宮 内 地 区	21 (19)	— —	21 (19)	— —	— —	2	
	十 日 町 地 区	5 (5)	— —	5 (5)	— —	— —	—	
	六 日 市 地 区	11 (9)	— —	9 (8)	1 (1)	1 —	—	
	山 通 地 区	10 (10)	— —	8 (8)	2 (2)	— —	1	
	栖 吉 地 区	12 (12)	— —	9 (9)	3 (3)	— —	—	
	富 曾 亀 地 区	12 (12)	— —	10 (10)	2 (2)	— —	—	
	山 本 地 区	9 (8)	— —	9 (8)	— —	— —	1	
	新 組 地 区	17 (16)	— —	17 (16)	— —	— —	—	
	黒 条 地 区	12 (12)	— —	12 (12)	— —	— —	1	
	下 川 西 地 区	21 (19)	— —	20 (18)	1 (1)	— —	1	
	上 川 西 地 区	18 (18)	— —	18 (18)	— —	— —	2	
	福 戸 地 区	13 (13)	— —	13 (13)	— —	— —	—	
	王 寺 川 地 区	8 (8)	— —	8 (8)	— —	— —	—	
	日 越 地 区	26 (24)	— —	25 (23)	1 (1)	— —	1	
	深 才 地 区	18 (15)	— —	16 (13)	2 (2)	— —	—	
	太 田 地 区	6 (6)	— —	6 (6)	— —	— —	—	
	関 原 地 区	28 (20)	— —	21 (19)	5 (1)	2 —	1	
宮 本 地 区	8 (7)	— —	8 (7)	— —	— —	—		
大 積 地 区	18 (16)	— —	16 (15)	2 (1)	— —	1		
青 葉 台 地 区	8 (8)	— —	8 (8)	— —	— —	1		
小 計	330 (305)	3 (3)	305 (288)	19 (14)	3 —	20		
中 之 島		185 (5)	1 —	44 (5)	62 —	78 —	—	
越 路		97 (16)	— —	88 (16)	7 —	2 —	2	
三 島		116 (3)	— —	99 (3)	16 —	1 —	—	
山 古 志		70 (60)	— —	70 (60)	— —	— —	1	
小 国		110 (61)	— —	70 (61)	24 —	16 —	1	
和 島		42 (6)	— —	31 (6)	7 —	4 —	1	
寺 泊		70 (9)	1 —	36 (9)	15 —	18 —	—	
枳 尾		185 (83)	— —	67 (35)	106 (45)	12 (3)	5	
与 板		63 (40)	1 (1)	47 (38)	7 —	8 (1)	1	
川 口		107 (5)	— —	101 (5)	6 —	— —	—	

※ ( ) 内は、消防取水口（立上がり吸水管）付防火水槽の再掲



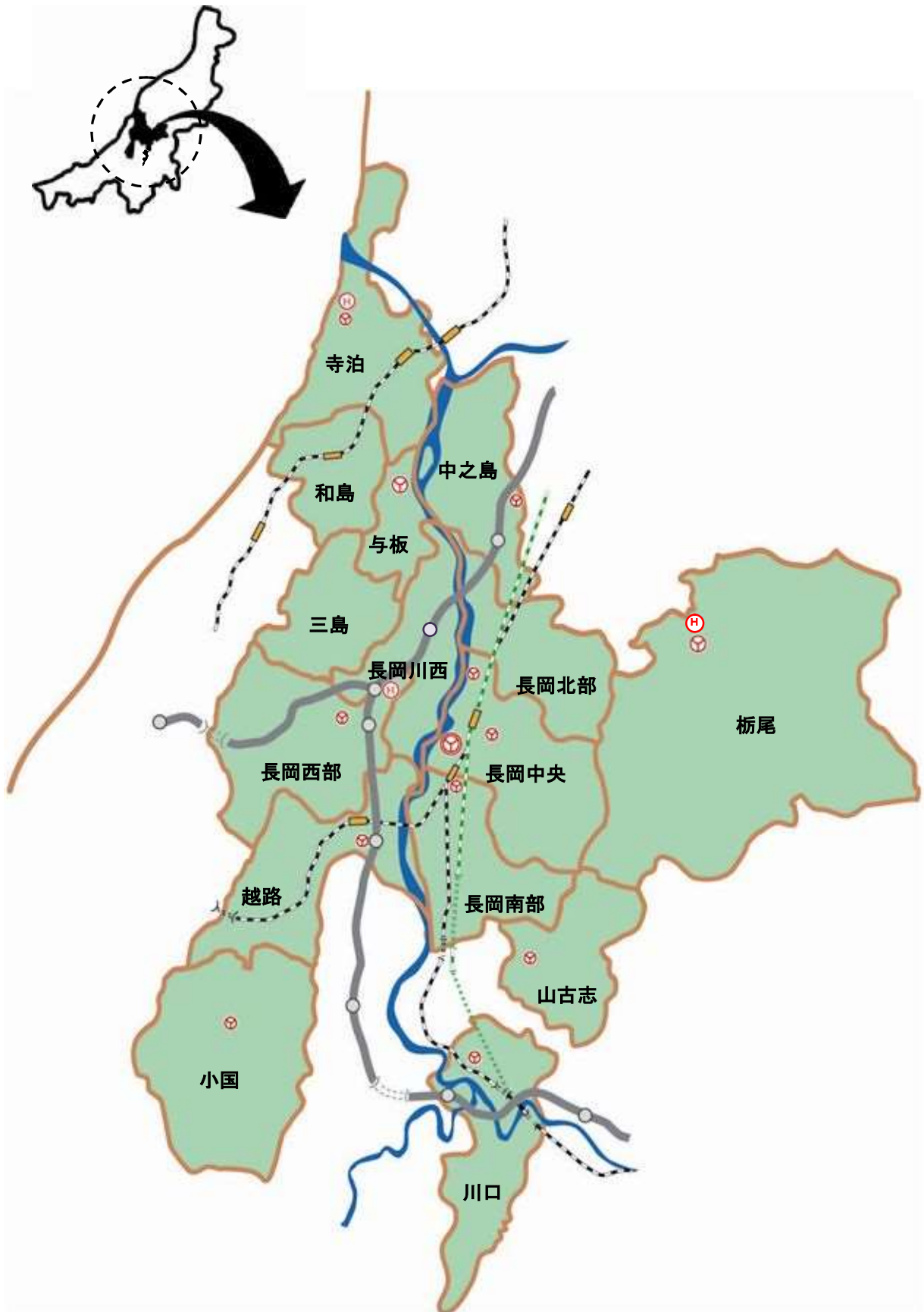


# 消防団関係



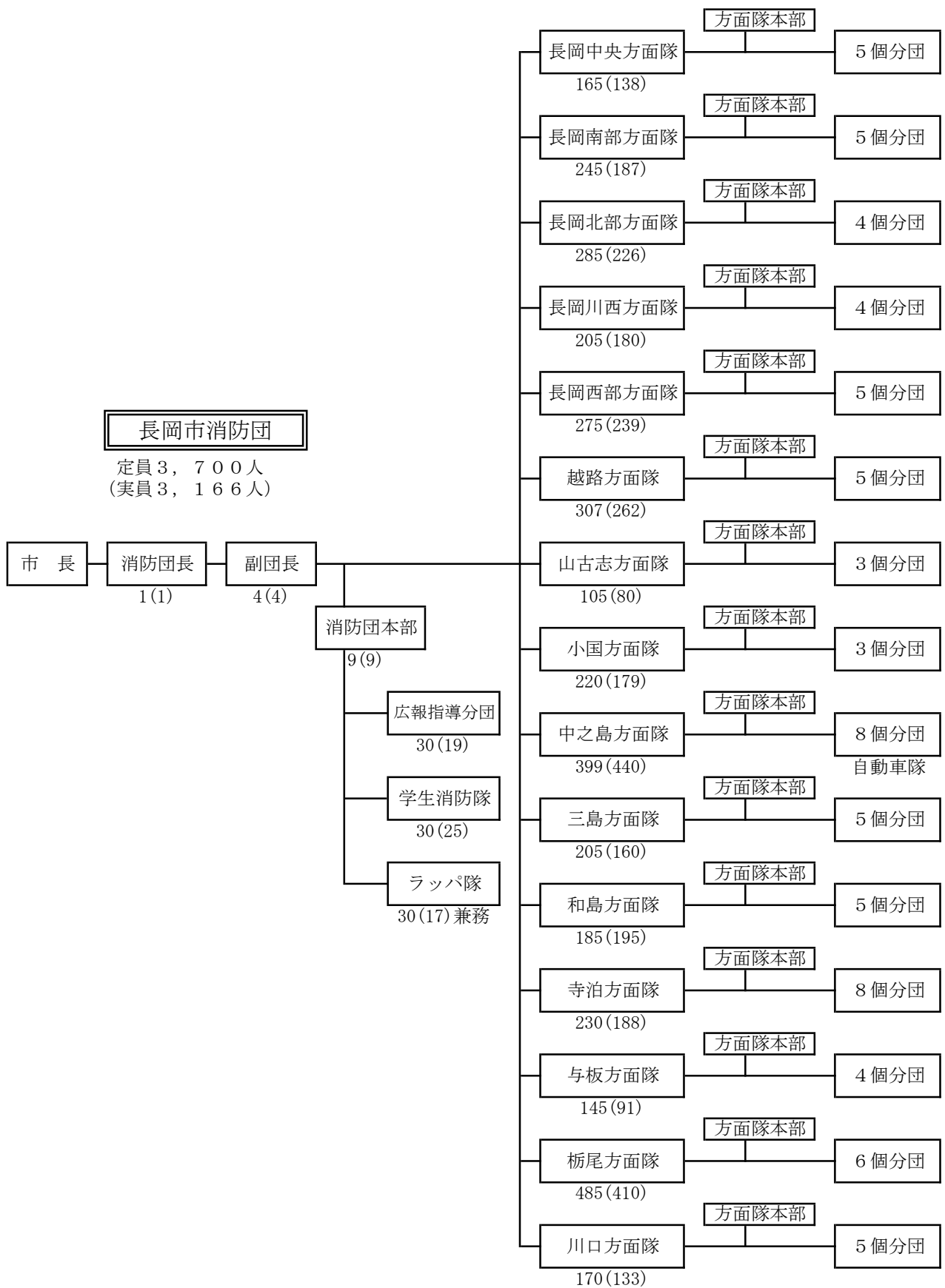
# 1 長岡市消防団管轄区域図

令和 6. 4. 1



## 2 長岡市消防団組織図

令和6. 4. 1



※ ( ) 内の数値は実員数

### 3 消防団員の年額報酬及び出動報酬

令和6. 4. 1

#### (1) 年額報酬

階 級	報 酬 額
団 長	96,000円
副 団 長	69,000円
分 団 長	50,500円
副分団長	45,500円
部 長	41,000円
班 長	37,000円
団 員	36,500円
特別団員	7,300円

#### (2) 出動報酬

区 分	支給額（1回当たり）	備 考
火災の予防、警戒、鎮圧及び風水害その他災害の防御等の消防活動	4,000円	左の支給額は、職務に従事した時間が4時間までである場合の額とし、職務に従事した時間が4時間を超え8時間までの場合は4,000円を左の支給額に加算するものとし、以後、4時間ごとに4,000円を加算するものとする。この場合において、4時間に満たない時間があるときは、これを4時間に切り上げるものとする。
会議、研修、訓練等	2,800円	
分団ごとの会議等で別に定めるもの	1,700円	
機関点検	1,700円	

## 4 消防団の出動状況

令和5年

区分 (所属)	出動別	総 数	火 災	風 水 害 等	演 習 ・ 訓 練 等	救 助 活 動	広 報 ・ 指 導	警 防 調 査	特 別 警 戒	捜 索	誤 報 等	そ の 他
総 数	回数	905	55	—	481	—	353	—	—	—	—	16
	人員	8,391	549	—	5,926	—	1,798	—	—	—	—	118
消防団本部	回数	72	23	—	28	—	18	—	—	—	—	3
	人員	205	72	—	67	—	60	—	—	—	—	6
長岡中央	回数	15	2	—	3	—	10	—	—	—	—	—
	人員	165	11	—	81	—	73	—	—	—	—	—
長岡南部	回数	20	1	—	5	—	14	—	—	—	—	—
	人員	247	4	—	139	—	104	—	—	—	—	—
長岡北部	回数	213	2	—	172	—	36	—	—	—	—	3
	人員	1,159	19	—	984	—	140	—	—	—	—	16
長岡川西	回数	43	3	—	27	—	13	—	—	—	—	—
	人員	761	24	—	672	—	65	—	—	—	—	—
長岡西部	回数	103	4	—	70	—	28	—	—	—	—	1
	人員	793	25	—	627	—	138	—	—	—	—	3
越 路	回数	42	3	—	18	—	20	—	—	—	—	1
	人員	530	16	—	350	—	163	—	—	—	—	1
山古志	回数	23	3	—	7	—	12	—	—	—	—	1
	人員	185	10	—	123	—	48	—	—	—	—	4
小 国	回数	37	3	—	10	—	24	—	—	—	—	—
	人員	327	23	—	210	—	94	—	—	—	—	—
中之島	回数	49	3	—	23	—	23	—	—	—	—	—
	人員	741	123	—	478	—	140	—	—	—	—	—
三 島	回数	52	—	—	30	—	22	—	—	—	—	—
	人員	470	—	—	384	—	86	—	—	—	—	—
和 島	回数	29	—	—	5	—	24	—	—	—	—	—
	人員	293	—	—	211	—	82	—	—	—	—	—
寺 泊	回数	78	4	—	28	—	43	—	—	—	—	3
	人員	884	120	—	489	—	248	—	—	—	—	27
与 板	回数	24	—	—	9	—	14	—	—	—	—	1
	人員	469	—	—	388	—	65	—	—	—	—	16
栃 尾	回数	63	3	—	20	—	37	—	—	—	—	3
	人員	827	98	—	474	—	210	—	—	—	—	45
川 口	回数	42	1	—	26	—	15	—	—	—	—	—
	人員	335	4	—	249	—	82	—	—	—	—	—

## 5 消防団員の階級別年齢表

令和6. 4. 1

階級別 年齢別	総 数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
<b>総 数</b>	<b>3,166</b>	<b>1</b>	<b>20</b>	<b>195</b>	<b>76</b>	<b>307</b>	<b>476</b>	<b>2,091</b>
20歳以下	25	—	—	—	—	—	—	25
21～25	29	—	—	—	—	—	1	28
26～30	148	—	—	—	1	3	11	133
31～35	329	—	—	3	2	18	54	252
36～40	713	—	—	8	15	80	124	486
41～45	793	—	—	39	21	99	143	491
46～50	651	—	2	65	23	68	98	395
51～55	297	—	3	57	9	26	30	172
56～60	144	—	10	21	5	11	10	87
61歳以上	37	1	5	2	—	2	5	22
平均年齢	<b>42.7</b>	62.0	58.0	49.1	45.3	43.6	42.5	41.7

## 6 消防団員の職業構成及び就業形態別の状況

令和6. 4. 1

職業構成・就業形態別	総計	職業構成					就業形態				
		国家公務員	地方公務員	郵便職員	特殊法人等公務員に準ずる職員	その他	被雇用者	自営業者	家族従業者	その他 うち学生	
団員数	<b>3,166</b>	6	103	22	85	2,950	2,719	244	148	55	25

## 7 消防団機械施設一覧表

令和6. 4. 1

区分 方面隊等別	指揮車等	消防ポンプ自動車	積小型動力ポンプ付車	軽小型動力ポンプ積載車	軽小型動力ポンプ付車	軽小型動力ポンプ付車	小型動力ポンプ	車庫	機械器具置場	ホース乾燥柱
<b>総数</b>	<b>4</b>	<b>6</b>	<b>33</b>	<b>142</b>	<b>10</b>	<b>52</b>	<b>191</b>	<b>52</b>	<b>69</b>	
消防団本部	3	—	—	—	—	—	—	—	—	
長岡中央方面隊	—	—	2	7	2	—	11	—	2	
長岡南部方面隊	—	—	—	10	2	—	12	—	4	
長岡北部方面隊	—	—	1	12	2	2	15	2	4	
長岡川西方面隊	—	1	1	7	1	4	10	4	1	
長岡西部方面隊	—	1	3	11	1	2	16	2	5	
越路方面隊	—	—	—	19	—	—	19	—	3	
山古志方面隊	—	—	—	8	—	—	8	—	—	
小国方面隊	—	—	—	8	1	—	9	—	9	
中之島方面隊	—	1	7	9	—	17	17	17	4	
三島方面隊	—	—	—	13	—	—	13	—	13	
和島方面隊	—	—	1	7	—	2	8	2	8	
寺泊方面隊	—	—	2	16	—	—	18	—	1	
与板方面隊	—	1	2	5	—	—	8	—	8	
栃尾方面隊	—	2	9	6	1	23	18	23	—	
川口方面隊	1	—	5	4	—	2	9	2	7	







◇ 市章

魅力ある地方中核都市として限りなく発展する長岡市を、  
不撓不屈の不死鳥の姿に託して表現しました。



◇ 消防ナッチャン

消防をイメージした放水するナッチャンです。



◇ 長岡市消防本部エンブレム

長岡造形大学の学生の協力により、「燃え盛る炎すら覆い貫く、勇気、希望をまとった矢（消防士）」をイメージしてデザインされました。

令和6年7月 発行

## 長岡市消防本部

〒940-0082 新潟県長岡市千歳1丁目3番100号

電話：(0258) 36-0119 (代)

FAX：(0258) 36-8320

e-mail: syosomu@city.nagaoka.lg.jp (総務課)

syoyobou@city.nagaoka.lg.jp (予防課)

syokeibou@city.nagaoka.lg.jp (警防課)

ngk-syobo@city.nagaoka.lg.jp (長岡消防署)

yit-syobo@city.nagaoka.lg.jp (与板消防署)

tco-shoubou@city.nagaoka.lg.jp (栃尾消防署)